

507.1-Te24

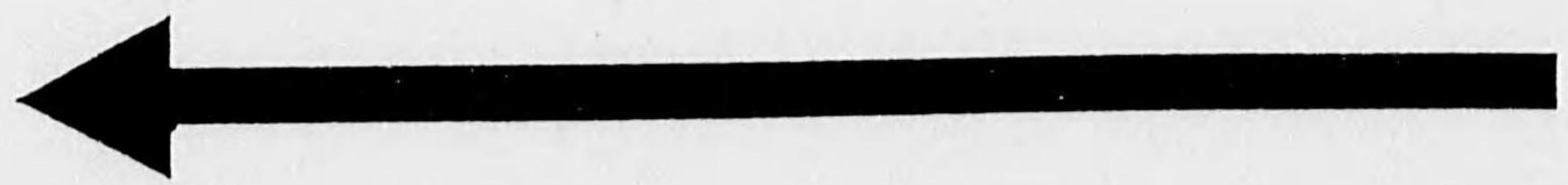


1200500744579

507.1
TE 24



始



2/850
き

507.1
T 24



帝國發明家名鑑

社團
法人 大阪發明協會



正 為
後 卷



松 者



字題下閣郎太郷川小 臣大工商

序

太古蒙昧時代から今日の文明世界を形成する迄の人文發達の迹を探ねる時は、如何なる場合にも發明創造が生活改造、社會革新の急先鋒たらざるものは無い、光と熱と力との利用率を増大し、時間と距離とを極度に短縮し、空中を飛び地下を走り海底を航し、人間が萬物の靈長たることを如實に示現するに至つたのは、殆んど其全般を舉げて之を發明家の創意創造に歸せねばならぬ、若し人類世界に發明家なる先覺者が無かつたなれば吾等人類は猛獸毒蛇の好餌となり天變地異に抗し得ず、最早地球上より形體を喪失したかも知れぬ、發明創造の撓まざる努力は常に萬難を排除して人類共同の幸福を増進し、國家社會の安寧を擁護する事に専念したればこそ、現時の絢爛たる文化が生れたのである、即ち世界の文明は發明創造の總和であると云ふ事が出来ると同時に人類の進化過程は甲の發明より乙の創造へ遷つて行く状態そのものであるとも言ひ得るのである、發明の無い處に進歩は無い、發明家を有たぬ國家は常に衰滅の悲運を辿らねばならぬ、年々輩出する發明考案家の人數と其發明考案の件數を見れば大抵其國の文野、強弱、貧富等の程度を測定する事が出来る。

我國は徳川氏三百年の長きに亘る鎖國政策に禍ひされ發明創造の精神は寧ろ虐げられて來たが、明治維新以來歐米の文物を輸入してからは勃然として發明精神を作興し、明治十八年特許制度が發布せられてから僅に五十有二年の短期間に於て驚嘆すべき進展を遂げ、今や發明特許と實用新案登録とを合算する時は其件數實に三十四萬に上らんとする盛觀を示して居る、そして年々出現する發明考案の

數は五萬件以上に達し獨逸、亞米利加に次いで世界の第三位を占める事が出來た、我發明界の此の如き異常なる發展は本邦人の發明的才能が如何に俊秀卓越せるかを證明すると同時に我國の文化が世界の文明に寄與すること決して尠少で無いといふ事を立派に物語つて居るのである。

斯く迄に我發明界を向上させ我國威國力を中外に顯揚したる功績は洵に發明家諸士の苦心と犠牲との結晶的賜物と言はねばならぬ、然るに今日に至る迄是等尊敬すべき發明家の氏名と其發明の一斑とは僅に特許公報に依てのみ時々發表せらるゝに止まり、未だ曾て多數發明家の芳名を蒐録し其發明考案の要旨と経歴とを併記したる文献の發刊せられなかつた事は誠に聖代の恨事として本會の夙に遺憾とした處である、茲に於て本會は進んで之が刊行を企圖し發明家諸士の協力共助を得て茲に本書の出版を見るに至つたことは衷心より欣快に堪へぬ處である。

本書は明治大正昭和の三年代に亘る一部の日本文明史であると共に將來本邦の發明史を探らんとする者への好箇の資料たることを疑はぬ、幸に本書に依り我國現代の文化に貢獻する處多き發明家考案家の事蹟を後昆に傳へ後進者をして奮起せしめ、より偉大なる發明家を續出することが出來たなれば望外の幸慶である。

昭和十一年十月

社団法人 大阪發明協會

會長 菊池恭三

編者の言葉

我々の生活して居る現代の世界から「發明」を取去つて見たら何が残るであらうか、紡織機が無かつたら衣服が出來ない、衣服が無かつたら人間は裸體で暮さねばならぬ、火を作る道具が無かつたら生のまゝで飲食せねばならぬ、家を造ることを知ら無かつたら雨風を凌ぐことが出來ない、車の發明が無かつたら物を運ぶのに蟻が餌を曳くやうな眞似をせねばならぬ、時計が無かつたら時間を極めることが出來ぬ、鐵砲や武器が無かつたら猛獸惡鬼を防ぐことが出來ない、從て今頃は世界の何處にも人間の影はあるまい、寫眞が無かつたら過去の眞相が保存出來ない、我等の身邊は總て「發明」で取圍まれて居る、汽車、汽船、電信、電話、飛行機、自動車、「トーカー」、「ラヂオ」の近代的發明は勿論、紙、蠟燭、陶器、望遠鏡、活字、磁石の古い發明が無かつたら世界は暗黒である、國も無ければ家も無い、全人類はロビンソフ、クルーソーの境遇に甘んぜねばなるまい、「發明」あつてこそ、否、發明家あつてこそ我等人類社會は安全に自由に豐潤なる生活を續けて行けるのである、人類の限り無き慾望を充足するものは發明家であり、秘藏されたる自然の寶庫を開く鍵は發明家の手にのみ握られて居るのである、全智全能の神は其萬物創造の力を一半は發明家に授け給ふたのである、發明家は即ち第二の造物主であるといふのは此意味に外な

らぬ、我等の生活を擴充向上し、我等の社會を醇化利導し我等の國家を富強安寧にするものは物的方面から觀て發明家の努力に待つの外は無い、産業革命を招來するものは發明家の劃期的發明であると同時に座ながらにして他國家國民を指導征服するものも亦世界的發明を完成した發明家の功績と云はねばならぬ、發明精神の旺盛なる國民は常に世界の尖端に立て日進月歩の範を示して居るが發明家を有せざる國は何日迄も夫等進歩的國家に引摺られて後塵を拜せねばならぬ、現時の世界的非常時局を克服して國家を泰山の安きに置かんとするには軍備の充實兵力の強化は無論のことであるが、發明創造の力に依り一步でも世界各國より先んじたる施設を用意して置かねばならぬ、征服と被征服とは實に發明の優劣に依て決せられるのである。

世界の發明界に於ける我國の位地は已に英佛を凌駕して第三位を占めて居る、洵に偉なりと云はねばならぬ、明治年代から今日迄に出現した發明考案の数は三十四萬件に上つて居り其發明家の人數は二十萬人を下らぬと思ふ、昭和文明の大半は是等の發明家に依て築き上げられたのである、衣食住は勿論交通、衛生、治安、殖産等有らゆる方面に亘つて國力の發展充實に貢献したる發明家の血と膏と涙との結晶が現時の燦然たる文化の花を咲かせたのである、泰西文明の劇烈なる壓迫を物ともせず天然資源に恵まれざる難境に立ちて堂々發明日本の大旗を海外に掲揚したのは是等發明界の勇士である我等は滿腔の誠意を捧げて此文化の恩人、國利民福の開發者たる發明

家の恩恵を感謝せねばならぬ、そして其德澤を後世に傳へねばならぬ。

本書刊行の目的は叙上の趣旨に基き一は現代日本を象徴する發明家の事績を輯録して其功業を永遠に表頌せんとする爲であり、他面發明に志す者の爲に己存發明を識らしめる典籍たらしめんとするものである、幸に本書に據り發明精神を鼓舞奨励し偉大なる發明家を續々出現せしむる動機を作ることが出来たなれば編者の微衷も酬ひらるゝ次第である。

昭和十一年初秋

社団法人 大阪發明協會に於て

専務理事 牧野榮次郎

凡 例

- 一、本書に収録したる發明考案家は特許と實用新案とを合せて九千九百四十六人に上つて居る、其發明考案の件数は壹萬六拾四件を算して居る。
- 一、本書は及ぶ可き丈け明治年代から昭和時代に至る著名な發明家を網羅して其發明の要旨と知れたる發明者の小傳とを採録して置いた、勿論已に物故された發明家でも有名な方々は、大抵集録して遺漏なきを期した。
- 一、本書の刊行はもと／＼會員組織になつて居るので會員以外の方は芳名と其發明の内容だけ掲載して置いた、自然其住所は特許局の公報に依て調査したものであるから其後轉居されたものも尠からず出來て居るかも知れ無い。
- 一、本書の編纂方は發明の種類に依り配列することにした、従て同種類の發明は其分類別に依り一目すれば判明することが出来る、そして其分類法は特許局所定の特許實用新案分類表に據ることゝした、此分類表は特に卷首に添へて置いたから参照せられたい。
- 一、特許發明は總て特許篇に、又實用新案登録のものは實用新案篇に編別し各々前記の分類法に依て掲載した、従て一人にして特許と實用新案とを併有される方は特許篇と實用新案篇とに分ち夫々掲載して置いた、又一人にして數個の特許と實用新案とを有せらるゝ方は其氏名索引の下に頁數を表示して置いたから之に就て通覽せられたい。

● 理學的裝置			
機械工業之部			
特許及實用新案分類總目錄			
<p>第一類 測定器</p> <p>イ 度 器 一 直尺曲尺及疊尺 二 卷 尺 三 挾 尺 四 身 長 計 五 網繩類計長器 六 度 器 雜 七 秤 八 流 水 計 量 器 九 瓦 斯 計 量 器 〇 自 働 量 器 一 量 器 雜 二 量 器 雜 三 秤 四 天 秤</p>	<p>五 自 働 秤 六 衡 器 雜 七 日 時 計 八 曆 時 計 九 勤 務 時 間 記 錄 器 〇 懷 中 時 計 一 文 字 盤 及 側 二 報 時 裝 置 三 時 計 雜 ホ 測 量 器 ハ 經 緯 儀 及 水 準 儀 ニ 平 板 測 量 器 三 基 線 有 ス ル 距 離 四 測 量 器 五 距 離 測 量 器 六 三 脚 七 元 標 杆 八 測 量 器 雜</p>	<p>ヘ 羅 針 器 一 磁 氣 羅 針 器 二 廻 轉 儀 型 羅 針 器 三 羅 針 器 雜 ト 航 路 記 録 及 指 示 チ 航 路 記 録 及 指 示 リ 測 深 器 ニ 測 深 器 三 汽 缸 水 面 計 類 四 液 面 計 類 五 液 面 計 類 六 水 平 器 及 傾 斜 計 七 水 平 器 及 傾 斜 計 八 壓 力 計 九 ブ ロ ン 壓 力 計 〇 氣 壓 計 一 壓 力 計 試 驗 機 二 壓 力 計 雜 三 測 力 器 四 測 力 計</p>	<p>器 體 力 計 一 測 力 器 雜 二 材 料 試 驗 機 三 材 料 試 驗 機 四 回 轉 計 五 回 轉 計 六 速 度 計 七 速 度 計 八 速 度 計 九 速 度 計 〇 速 度 計 一 個 數 計 二 個 數 計 三 行 程 計 四 行 程 計 五 選 別 機 六 選 別 機 七 選 別 機 八 選 別 機 九 選 別 機 〇 選 別 機 一 選 別 機 二 選 別 機 三 選 別 機 四 選 別 機 五 選 別 機 六 選 別 機 七 選 別 機 八 選 別 機 九 選 別 機 〇 選 別 機</p>
<p>第二類 寫真器</p> <p>一 寫真攝影裝置 (寫真攝影兼活動寫真) 二 寫真暗箱 三 寫真シャッター 四 取 枠 五 印 畫 器 六 閃 光 器 七 暗 函 用 臺 脚</p>	<p>ナ 濕 度 計 一 濕 度 計 二 濕 度 計 三 濕 度 計 四 濕 度 計 五 濕 度 計 六 濕 度 計 七 濕 度 計 八 濕 度 計 九 濕 度 計 〇 濕 度 計 一 濕 度 計 二 濕 度 計 三 濕 度 計 四 濕 度 計 五 濕 度 計 六 濕 度 計 七 濕 度 計 八 濕 度 計 九 濕 度 計 〇 濕 度 計</p>	<p>ハ 寫真處理用具 (洗滌、現象、定着、乾燥其他處理具一切) 九 寫真器雜(鏡玉其他雜具) 一 透鏡及反射鏡 二 顯 微 鏡 三 望 遠 鏡 四 雙 眼 鏡 五 眼 鏡(メガネ) (防塵眼鏡ハ第三類ヲ水 中眼鏡ハ第三類ヲ見ヨ) 六 視 鏡 七 幻 燈 器 八 天 然 色 活 動 寫 真 器 九 實 體 活 動 寫 真 器 〇 連 續 映 寫 活 動 寫 真 器 一 發 聲 活 動 寫 真 器 二 活 動 寫 真 器 雜 三 活 動 寫 真 附 屬 具 四 光 學 實 驗 裝 置 五 光 學 器 械 雜</p>	<p>第四類 音響記錄及音響復生</p>

一、本書の索引はいろは順に依る氏名索引と特許又は登録番號順による番號索引と分類別に依る所屬發明考案の番號索引との三種に分つて巻頭に置き索出の便に供した。

一、所載人名の中には讀方の難かしい氏名が少くなかつた、是は如何なる人名録にも遭遇する困難であるが、夫等稱呼不明の分は常識的に判斷して氏名索引に配列して置いたから之が爲に生る過誤は幸に寛容せられたい。

一、本書の刊行は本邦出版界最初の企圖である、從て其編纂排列方に就ては相當苦心を拂ひ完璧と便利とを期した譯であるが、尙不十分な點も尠く無い事と思ふから讀者の氣附かれた點は注意を與へられんことを切望する。

一、本書は特許法施行滿五十年に相當する昨昭和十年に發刊の豫定であつたが、調査やら材料蒐集やら編纂やらで意外に手間取つた爲め甚だ出版が遅れた事を會員諸氏に謝せねばならぬ。

一、本書は漸時改版して出来る丈全體の發明家を網羅した完全なものに仕上げたいと思ふから本書に漏れた發明家諸士は其編纂資料を豫め本會へ寄送して置いて頂きたい、さすれば第二版、第三版と版を重ねるに従ひ完璧なものに成る譯である。

一、本書は明治、大正並昭和の三年代を通して主なる發明考案を網羅し昭和九年を以て打切り特に最近の三ヶ年に亘り比較的精細の調査をして置いた。

第三類 捕獲及驅除

- 六 植物育成器
- 七 山林及園藝雜
- 一 捕鼠器
- 二 捕獸器
- 三 捕鳥器
- 四 捕蟲器
- 五 農用捕蟲器
- 六 農用驅除器
- 七 捕蟲燈及燈用捕蟲器
- 八 捕獲及驅除雜

第六類 養蠶

- 一 催青器及人工孵器
- 二 蠶架
- 三 給桑除沙臺
- 四 養蠶紙帳
- 五 掃立器
- 六 蠶座
- 七 蠶箔
- 八 蠶箔
- 九 蠶網
- 〇 除沙器
- 一 桑摘器
- 二 桑拔器
- 三 桑容籠
- 四 桑葉乾燥器
- 五 桑葉貯藏器

第七類 水產

- 一 一定置漁網
- 二 運用漁網
- 三 漁網附屬具
- 四 釣具
- 五 採集器

第八類 紗綢及紡績

- 一 撚絲機
- 二 撚紙機
- 三 撚網機
- 四 撚繩機
- 五 撚繩機
- 六 撚繩機
- 七 撚繩機
- 八 撚繩機
- 九 撚繩機
- 〇 撚繩機

織維加工

- 一 撚絲機
- 二 撚紙機
- 三 撚網機
- 四 撚繩機
- 五 撚繩機
- 六 撚繩機
- 七 撚繩機
- 八 撚繩機
- 九 撚繩機
- 〇 撚繩機

第九類 染色機

- 一 撚絲機
- 二 撚紙機
- 三 撚網機
- 四 撚繩機
- 五 撚繩機
- 六 撚繩機
- 七 撚繩機
- 八 撚繩機
- 九 撚繩機
- 〇 撚繩機

第十類 布帛整理機

- 一 撚絲機
- 二 撚紙機
- 三 撚網機
- 四 撚繩機
- 五 撚繩機
- 六 撚繩機
- 七 撚繩機
- 八 撚繩機
- 九 撚繩機
- 〇 撚繩機

第四類 馬具

- 一 鞍
- 二 蹄鐵
- 三 轡
- 四 籠
- 五 拍車
- 六 危險防止裝置
- 七 馬具雜

第五類 養畜

- 一 孵卵器
- 二 飼雞器

第六類 製絲機

- 一 撚絲機
- 二 撚紙機
- 三 撚網機
- 四 撚繩機
- 五 撚繩機
- 六 撚繩機
- 七 撚繩機
- 八 撚繩機
- 九 撚繩機
- 〇 撚繩機

第七類 纖維取拔

- 一 撚絲機
- 二 撚紙機
- 三 撚網機
- 四 撚繩機
- 五 撚繩機
- 六 撚繩機
- 七 撚繩機
- 八 撚繩機
- 九 撚繩機
- 〇 撚繩機

第八類 絲條取拔

- 一 撚絲機
- 二 撚紙機
- 三 撚網機
- 四 撚繩機
- 五 撚繩機
- 六 撚繩機
- 七 撚繩機
- 八 撚繩機
- 九 撚繩機
- 〇 撚繩機

第九類 絲條取拔

- 一 撚絲機
- 二 撚紙機
- 三 撚網機
- 四 撚繩機
- 五 撚繩機
- 六 撚繩機
- 七 撚繩機
- 八 撚繩機
- 九 撚繩機
- 〇 撚繩機

第三類 編織機

- 一 杓子編針圓形メ
- 二 杓子編針橫式メ
- 三 彈性編針圓形メ
- 四 彈性編針橫式メ
- 五 彈性編針圓形メ
- 六 彈性編針橫式メ
- 七 彈性編針圓形メ
- 八 彈性編針橫式メ
- 九 彈性編針圓形メ
- 〇 彈性編針橫式メ

第四類 製網機

- 一 經編製網機
- 二 緯編製網機
- 三 雜製網機
- 四 製網機
- 五 製網機

第五類 組機

- 一 打製組機
- 二 打製組機
- 三 打製組機
- 四 打製組機
- 五 打製組機
- 六 打製組機
- 七 打製組機
- 八 打製組機
- 九 打製組機
- 〇 打製組機

第六類 織物

- 一 織物
- 二 織物
- 三 織物
- 四 織物
- 五 織物
- 六 織物
- 七 織物
- 八 織物
- 九 織物
- 〇 織物

第七類 織機

- 一 織機
- 二 織機
- 三 織機
- 四 織機
- 五 織機
- 六 織機
- 七 織機
- 八 織機
- 九 織機
- 〇 織機

第八類 斷片織機

- 一 斷片織機
- 二 斷片織機
- 三 斷片織機
- 四 斷片織機
- 五 斷片織機
- 六 斷片織機
- 七 斷片織機
- 八 斷片織機
- 九 斷片織機
- 〇 斷片織機

第九類 染色機

- 一 撚絲機
- 二 撚紙機
- 三 撚網機
- 四 撚繩機
- 五 撚繩機
- 六 撚繩機
- 七 撚繩機
- 八 撚繩機
- 九 撚繩機
- 〇 撚繩機

三型 ロール (捺染ロール)	四浸 染機 (染桿ヲ含ム)	五緋 絲製造機 (板締捺染等ヲ含ム)	六防 染裝置	七額 緋機	八緋 絲括機 (括方ヲ含ム)	九霜 降染裝置	〇精 練漂白裝置 (シルケット製 造機ヲ含ム)	二型 紙及型版	三雜 染色具 (刷毛、筥等)	三脫 水機 (一般脫水機ヲ含ム)	四染 色機雜	第九類 裁縫及刺繡	一單 絲裁縫機 (鎖縫裁縫機)	二復 絲裁縫機	三波 狀縫裁縫機	四靴 縫機	五足 袋裁縫機	六甲 馳縫綴機	七雜 種裁縫機	八刺 繡機及刺繡 (ミシンニ屬スルモノヲ 除ク、刺繡桿ヲ含ム)	九火 熨斗	〇裁 縫箱 (箱臺ヲ含ム)	二裁 縫型	三裁 縫器具 針、針器、布夾、 縫針、縫線、縫用 糸、縫用針、縫 用鉄等ヲ含ム)	三裁 縫及刺繡雜	第九類 製紙機	一抄 紙機	二製 紙原料打摧機	三葉 節切除機	四製 紙用乾燥機	五パ ルプ凝集裝置	六紙 剪斷機 (抄紙機ニ附屬セザルモ ノハ第五七類ヲ見ヨ)	七雜 紙製機雜	八製 紙機雜	第四類 印刷機	一活 版印刷機	二木 版印刷機	三石 版印刷機	四金 屬版印刷機	五複 寫機	六壓 印機	七印 版製機	八雜 種印刷機	九活 字及印刷附屬具	〇印 刷機雜	第五類 製粉機	一粉 挽機	二粉 碎機	三製 粉機用漏斗	四製 粉機雜	第六類 飲食物製造機	一菓 子製機	二麵 類製機	三澱 粉製機	四清 涼品製機	五穀 類壓展機 (平麥製機ヲ含ム)	六飲 食物搗碎機 (家用搗碎器ハ第 二九類ヲ見ヨ)	七飲 食物削刻機	八煎 穀機	九飲 食物製機雜	一茶 葉蒸熱機	二茶 葉打機	三茶 葉揉捻機	四茶 葉焙乾機	五製 茶用選別機	六茶 整製機	七抹 茶機	八製 茶機用爐	九製 茶機雜	第八類 煙草製機	一紙 卷煙草製機 (吸口製機ハ第 一〇〇類ヲ見ヨ)	二葉 卷煙草製機	三刻 煙草製機	四葉 煙草整理機	五煙 草包裝機	六煙 草製機雜	第九類 燐寸製機	一燐 寸軸製機	二燐 寸軸精選機	三燐 寸軸排列機	四燐 寸軸整揃機	五燐 寸箱木地製機	六燐 寸箱木地筋付機	七燐 寸箱貼機	八燐 寸塗裝裝置	九燐 寸箱詰機	〇燐 寸製機雜	第十類 紙品製機	一狀 袋製機	二煙 草袋製機	三蛾 袋製機	四雜 種袋製機	五紙 函製機	六紙 函隔止機	七紙 札製機	八紙 管製機	九ダ ンボール製機 (紙卷煙草吸口 製機ヲ含ム)	〇縮 紙製機	二元 結及水引製機	三紙 紐製機	三防 水紙製機	四雜 種紙品製機	五紙 品製機雜	第十類 靴及皮革品製機	一製 靴機	二靴 切拔型	三靴 脚皮成形機	四靴 底施工機	五靴 底釘挿入機	六靴 底取付機	七靴 踵釘付機	八釘 及鳩目取付機	九鈎 皮製機	〇皮 革押型機	二雜 皮革品加工具	三靴 及皮革品製機 雜	第十類 藥草品製機	一折 疊簇製機	二網 簇製機	三百 足簇製機	四疊 床製機	五草 鞋及草鞋製機	六履 物表製機 (藤表製機ヲ含ム)	二貝 釘製機	三碁 石製機	四帽 子製機	五丸 藥製機	六オ ブラート製機	七カ プセル製機	八擬 革製機	九鼻 緒製機	〇爪 掛製機	二布 管製機	三針 布製機	三線 香製機	四鉛 筆製機	五筆 製機	六團 扇及扇子製機	七提 燈製機	八漆 液精製機 (第五三類ヲ見ヨ)	九平 紐製機 (第八一類ヲ見ヨ)	〇充 填機 (塊燻灰製機及 袋詰機ヲ含ム)	三壘 詰機	三雜 種製機雜
----------------------	---------------------	--------------------------	-----------	----------	----------------------	------------	----------------------------------	------------	----------------------	------------------------	-----------	------------------	-----------------------	------------	-------------	----------	------------	------------	------------	------------------------------------------	----------	---------------------	----------	---------------------------------------------------------	-------------	----------------	----------	--------------	------------	-------------	--------------	----------------------------------------	------------	-----------	----------------	------------	------------	------------	-------------	----------	----------	-----------	------------	---------------	-----------	----------------	----------	----------	-------------	-----------	-------------------	-----------	-----------	-----------	------------	-------------------------	------------------------------------	-------------	----------	-------------	------------	-----------	------------	------------	-------------	-----------	----------	------------	-----------	-----------------	------------------------------------	-------------	------------	-------------	------------	------------	-----------------	------------	-------------	-------------	-------------	--------------	---------------	------------	-------------	------------	------------	-----------------	-----------	------------	-----------	------------	-----------	------------	-----------	-----------	-----------------------------------	-----------	--------------	-----------	------------	-------------	------------	--------------------	----------	-----------	-------------	------------	-------------	------------	------------	--------------	-----------	------------	--------------	-------------------	------------------	------------	-----------	------------	-----------	--------------	-------------------------	-----------	-----------	-----------	-----------	--------------	-------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	--------------	-----------	-------------------------	------------------------	--------------------------------	----------	------------

● 製 造 機

七棧 依製機	八菓 苞製機	九雜 種菓草品製機	〇菓 草品製機雜	第十類 木竹品製造機	一木 管製機	二杆 製機	三栓 製機	四經 木製機	五薄 板製機 (屋根板、折箱板等ニシテ 細木ヨリモ分厚ノモノ)	六合 板製機 (ベニア板等)	七コ ルク板製機	八箸 製機	九楊 枝及竹釘製機	〇木 箱製機	二圓 筒及曲物製機	三下 駄製機	三下 駄目付機	四梯 製機	五和 傘製機	六和 傘骨製機	七團 扇骨製機	六盤 算珠及珠數球 製機	元竹 パイプ製機 (喫煙用竹パイプノ類)	二〇 雜種木竹品製機	三木 竹品製機雜	第四類 可塑品製造機	一石 鹼製機	二蠟 燭製機	三煉 炭製機	四護 謨毬製機	五護 謨靴及護謨底 製機	六護 謨管製機	七護 謨タイヤ製機	八護 謨雜品製機 (前記四種ニ屬セザル 護謨品ニ關スルモノ)	九コ ンクリート管 製機	〇コ ンクリート柱 製機	二コ ンクリート塊 製機	三コ ンクリート板 製機	三セ ルロイド櫛製 機	四セ ルロイド雜品 製機	五錠 劑製機	六白 墨製機	七雜 可塑品製機	八可 塑品製機雜	第十類 窯業品製造機	一硝 子壘製機	二魔 法壘製機	三硝 子壘口成形機	四硝 子栓製機	五硝 子コップ製機	六硝 子環製機 (環切斷機ヲ含ム)	七硝 子球製機 (電球製機ヲ含ム 但外部ノ球ノミラ 製造スルモノ)	八硝 子線製機	九硝 子板製機	〇硝 子釘製機	二時 計硝子製機	三圓 筒硝子製機	三電 燈製機 (例ハ電球ノ頭部ト 幹トヲ熔着シテ電 燈ヲ製造スルノ類、第 二〇〇類參照)	四雜 種硝子品製機	五土 管製機	六煉 瓦製機	七五 製機	八碍 子製機	九陶 磁器製機	二卅 埧製機	三球 壘品製機	三雜 窯業品製機	三土 練機 (第五三類ヲ見ヨ)	二窯 業品製機雜	第十類 金屬品製造機	一鉛 管製機	二金 屬剛管製機	三罐 製機 (罐密閉器ヲ含ム)	四螺 旋管製機	五彎 管製機	六藥 業及目無管製 機	七金 屬帽狀體體 製機	八雨 樋製機	九金 屬板成形機	〇板 金網製機	二轉 壓機 (第五九類參照)	三金 屬線製機	三洋 傘骨製機	四蹄 鐵製機	五鏈 鎖製機	六螺 狀彈簧製機	七螺 子製機	八銀 釘製機	元針 製機	〇金 屬球製機	三鑄 製機	三利 器製機	三卸 製機	四車 輪製機	五齒 輪製機	六甲 馳製機	七毛 箔製機	元金 屬粉製機	元金 屬粉製機	元金 屬粉製機	三金 屬品製機	三金 屬品製機	第十類 雜種製機	一刷 子製機	二貝 釘製機	三碁 石製機	四帽 子製機	五丸 藥製機	六オ ブラート製機	七カ プセル製機	八擬 革製機	九鼻 緒製機	〇爪 掛製機	二布 管製機	三針 布製機	三線 香製機	四鉛 筆製機	五筆 製機	六團 扇及扇子製機	七提 燈製機	八漆 液精製機 (第五三類ヲ見ヨ)	九平 紐製機 (第八一類ヲ見ヨ)	〇充 填機 (塊燻灰製機及 袋詰機ヲ含ム)	三壘 詰機	三雜 種製機雜
-----------	-----------	--------------	-------------	-------------------	-----------	----------	----------	-----------	------------------------------------------	----------------------	-------------	----------	--------------	-----------	--------------	-----------	------------	----------	-----------	------------	------------	--------------------	----------------------------	---------------	-------------	-------------------	-----------	-----------	-----------	------------	--------------------	------------	--------------	-----------------------------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	--------------------	-----------	-----------	-------------	-------------	-------------------	------------	------------	--------------	------------	--------------	-------------------------	-----------------------------------------------	------------	------------	------------	-------------	-------------	-------------------------------------------------------------	--------------	-----------	-----------	----------	-----------	------------	-----------	------------	-------------	-----------------------	-------------	-------------------	-----------	-------------	-----------------------	------------	-----------	-------------------	-------------------	-----------	-------------	------------	----------------------	------------	------------	-----------	-----------	-------------	-----------	-----------	----------	------------	----------	-----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	--------------	-------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	--------------	-----------	-------------------------	------------------------	--------------------------------	----------	------------

●表示及販賣

第二〇類 表示具及札

- 一 荷札
- 二 標札
- 三名札
- 四 自轉車鑑札
- 五 車輛番號札
- 六 雜表示具
- 七 雜札
- 八 表示具及札雜

- 六 幻燈廣告機
- 七 燈光利用廣告機
- 八 活動及發音廣告機
- 九 看板
- 〇 廣告文字
- 一 雜廣告機
- 二 雜廣告架
- 三 陳列架
- 四 陳列箱
- 五 陳列櫃
- 六 陳列架
- 七 陳列架
- 八 陳列架
- 九 陳列架
- 〇 陳列架

第二〇類 廣告機

- 一 卷取廣告機
- 二 無端帶廣告機
- 三 迴轉廣告機
- 四 展開廣告機
- 五 組合畫廣告機

第二〇類 販賣機

- 一 自働物品販賣機
- 二 自働液體販賣機
- 三 自働視眼鏡
- 四 販賣機雜

●文

第二二類 文具

- 一 墨汁囊附萬年筆
- 二 卍子附萬年筆
- 三 墨汁止附注入萬年筆

●具

- 四 雜萬年筆
- 五 筆類
- 六 筆軸用クリップ
- 七 筆類
- 八 筆類

- 九 文
- 〇 圖
- 一 鉛筆
- 二 硯
- 三 墨汁
- 四 墨水
- 五 筆
- 六 圖
- 七 書寫
- 八 書寫
- 九 吸墨器
- 〇 濕潤器
- 一 文房具
- 二 文房具
- 三 文房具
- 四 文房具
- 五 文房具
- 六 文房具
- 七 文房具
- 八 文房具
- 九 文房具
- 〇 文房具

第二三類 計算器

第二四類 運動及娛樂

第二五類 運動及娛樂

第二六類 運動及娛樂

- 一 歐文印字機
- 二 邦文印字機
- 三 回轉捺印機
- 四 消印機
- 五 印及肉池
- 六 印字機

- 一 歐文印字機
- 二 邦文印字機
- 三 回轉捺印機
- 四 消印機
- 五 印及肉池
- 六 印字機

- 一 歐文印字機
- 二 邦文印字機
- 三 回轉捺印機
- 四 消印機
- 五 印及肉池
- 六 印字機

- 一 歐文印字機
- 二 邦文印字機
- 三 回轉捺印機
- 四 消印機
- 五 印及肉池
- 六 印字機

- 一 歐文印字機
- 二 邦文印字機
- 三 回轉捺印機
- 四 消印機
- 五 印及肉池
- 六 印字機

- 一 歐文印字機
- 二 邦文印字機
- 三 回轉捺印機
- 四 消印機
- 五 印及肉池
- 六 印字機

- 一 歐文印字機
- 二 邦文印字機
- 三 回轉捺印機
- 四 消印機
- 五 印及肉池
- 六 印字機

●裝身具

第二七類 被服

- 一 和服
- 二 洋服
- 三 外套
- 四 襦袢
- 五 襦袢
- 六 襦袢
- 七 襦袢
- 八 襦袢
- 九 襦袢

- 一 腹
- 二 腹
- 三 首卷及肩掛
- 四 三襟
- 五 三襟
- 六 三襟
- 七 三襟
- 八 三襟
- 九 三襟

- 一 腹
- 二 腹
- 三 首卷及肩掛
- 四 三襟
- 五 三襟
- 六 三襟
- 七 三襟
- 八 三襟
- 九 三襟

第二六類 樂器

- 一 洋琴類
- 二 鍵盤附單絃琴
- 三 琴

- 一 洋琴類
- 二 鍵盤附單絃琴
- 三 琴

- 一 洋琴類
- 二 鍵盤附單絃琴
- 三 琴

第二八類 帶及紐

- 一 帶
- 二 帶
- 三 帶
- 四 帶
- 五 帶
- 六 帶
- 七 帶
- 八 帶
- 九 帶

- 一 帶
- 二 帶
- 三 帶
- 四 帶
- 五 帶
- 六 帶
- 七 帶
- 八 帶
- 九 帶

- 一 帶
- 二 帶
- 三 帶
- 四 帶
- 五 帶
- 六 帶
- 七 帶
- 八 帶
- 九 帶

第二九類 冠物

- 一 布製冠物
- 二 學帽、軍帽及鳥打帽
- 三 鍔付夏帽子

- 一 布製冠物
- 二 學帽、軍帽及鳥打帽
- 三 鍔付夏帽子

- 一 布製冠物
- 二 學帽、軍帽及鳥打帽
- 三 鍔付夏帽子

第三〇類 容飾具及理髮具

- 一 簪
- 二 櫛
- 三 簪
- 四 髮型及前髮、鬢
- 五 髮
- 六 髮
- 七 髮
- 八 髮
- 九 髮

- 一 簪
- 二 櫛
- 三 簪
- 四 髮型及前髮、鬢
- 五 髮
- 六 髮
- 七 髮
- 八 髮
- 九 髮

- 一 簪
- 二 櫛
- 三 簪
- 四 髮型及前髮、鬢
- 五 髮
- 六 髮
- 七 髮
- 八 髮
- 九 髮

第三一類 傘及杖

- 一 和傘
- 二 洋傘
- 三 杖
- 四 傘
- 五 傘
- 六 傘
- 七 傘
- 八 傘
- 九 傘

- 一 和傘
- 二 洋傘
- 三 杖
- 四 傘
- 五 傘
- 六 傘
- 七 傘
- 八 傘
- 九 傘

- 一 和傘
- 二 洋傘
- 三 杖
- 四 傘
- 五 傘
- 六 傘
- 七 傘
- 八 傘
- 九 傘

第三二類 履

- 一 靴
- 二 靴
- 三 靴
- 四 靴
- 五 靴
- 六 靴
- 七 靴
- 八 靴
- 九 靴

- 一 靴
- 二 靴
- 三 靴
- 四 靴
- 五 靴
- 六 靴
- 七 靴
- 八 靴
- 九 靴

- 一 靴
- 二 靴
- 三 靴
- 四 靴
- 五 靴
- 六 靴
- 七 靴
- 八 靴
- 九 靴

●容

器

- 第三類 金庫及貨幣容器**
- 一金庫
 - 一金庫壁及內箱
 - 二金庫保護裝置
 - 三信號機附金庫
 - 四金庫雜
 - 貨幣容器
 - 五記錄機附貨幣容器
 - 六信號機附貨幣容器
 - 七固着裝置附貨幣容器
 - 八層附貨幣容器
 - 九時計附貨幣容器
 - 〇貯金器
 - 一貨幣分納器
 - 二貨幣投出器
 - 三貨幣容器雜

- 第二類 靴及袋物**
- 一旅行靴
 - 二手提靴
 - 三學生靴
 - 四自轉車靴
 - 五組立靴
 - 六雜種靴
 - 七手提提籠
 - 八行李
 - 九手提袋
 - 〇蓋
 - 一紙
 - 二紙
 - 三雜種紙袋
 - 四雜種袋
 - 五靴及袋物金具
 - 六靴及袋物雜

- 第三類 箱**
- 一化粧用具箱
 - 二化粧用品箱
 - 三折箱
 - 四藥品箱
 - 五綠箱
 - 六陳列用又ハ裝飾用箱
 - 七物品整理收納箱
 - 八荷箱
 - 九塵箱
 - 〇路上郵便函
 - 一雜種受函
 - 二刺刀箱
 - 三時計箱
 - 四物品保護箱
 - 五柱懸及臺所備付
 - 六雜種燐寸入及其外箱
 - 七淨齒具入
 - 八妻楊枝入
 - 九石鹼入
 - 〇化粧用具入兼用ノモノ
 - 一箱摺擦兼用ノモノ
 - 二箱摺擦兼用ノモノ
 - 三箱摺擦兼用ノモノ
 - 四箱摺擦兼用ノモノ
 - 五箱摺擦兼用ノモノ
 - 六箱摺擦兼用ノモノ
 - 七箱摺擦兼用ノモノ
 - 八箱摺擦兼用ノモノ
 - 九箱摺擦兼用ノモノ
 - 〇箱摺擦兼用ノモノ

- 第二類 壺罐及樽**
- 一化粧用品壺
 - 二玉ラムネ壺
 - 三盃付壺
 - 四飲食品壺
 - 五藥液壺
 - 六瓦斯壺
 - 七陳列及裝飾用壺
 - 八德利
 - 九水筒
 - 〇壺
 - 一壺
 - 二壺
 - 三壺
 - 四壺
 - 五壺
 - 六壺
 - 七壺
 - 八壺
 - 九壺
 - 〇壺

- 第三類 庖廚及喫煙**
- 一庖廚器具
 - 二庖廚器具
 - 三庖廚器具
 - 四庖廚器具
 - 五庖廚器具
 - 六庖廚器具
 - 七庖廚器具
 - 八庖廚器具
 - 九庖廚器具
 - 〇庖廚器具
 - 一喫煙具
 - 二喫煙具
 - 三喫煙具
 - 四喫煙具
 - 五喫煙具
 - 六喫煙具
 - 七喫煙具
 - 八喫煙具
 - 九喫煙具
 - 〇喫煙具

- 第三類 儀禮具及裝飾具**
- 一儀禮具
 - 二儀禮具
 - 三儀禮具
 - 四儀禮具
 - 五儀禮具
 - 六儀禮具
 - 七儀禮具
 - 八儀禮具
 - 九儀禮具
 - 〇儀禮具
 - 一裝飾具
 - 二裝飾具
 - 三裝飾具
 - 四裝飾具
 - 五裝飾具
 - 六裝飾具
 - 七裝飾具
 - 八裝飾具
 - 九裝飾具
 - 〇裝飾具

- 第三類 煮炊具**
- 一釜及蓋
 - 二鍋及蓋
 - 三鍋釜提手
 - 四蒸器
 - 五鍋釜數器
 - 六飯汁採集器
 - 七炊飯防焦器
 - 八炊車
 - 九煮炊具雜

- 第三類 廚爐**
- 一廚爐
 - 二廚爐上置及廚爐緣
 - 三廚爐爐格
 - 四廚爐薪架及廚爐焚口
 - 五完全燃燒爐
 - 六廚爐餘熱利用裝置
 - 七廚爐岳手及廚爐臺
 - 八蒸燒器
 - 九石油廚爐
 - 〇瓦斯廚爐
 - 一瓦斯廚爐
 - 二廚爐雜

- 第三類 飲食具**
- 一煎茶土瓶及煎茶用具
 - 二行廚
 - 三盃及盃洗
 - 四食膳及盆
 - 五箸及箸立
 - 六洋盆
 - 七碗、茶碗、湯呑、皿及鉢
 - 八匙、肉刺及洋食ナイフ
 - 九皿敷、土瓶敷及茶托

- 第二類 家具**
- 一單筍
 - 二棚及戸棚
 - 三服架
 - 四帽子掛架
 - 五手拭掛架
 - 六傘掛架
 - 七團扇掛架
 - 八書架
 - 九雜掛架
 - 〇脇息架
 - 一屏風及衝立
 - 二日覆及窓掛
 - 三簾
 - 四浴場用具
 - 五洗面場用具
 - 六手洗器
 - 七團扇及扇子
 - 八被服整形具
 - 九靴整形具
 - 〇履靴脫臺
 - 一插花器
 - 二額及掛軸

- 第三類 鎖鑰**
- 一符號錠
 - 二固定錠
 - 三可動錠
 - 四封鎖錠
 - 五封鎖錠
 - 六封鎖錠
 - 七假錠
 - 八鎖鑰
 - 九鎖鑰
 - 〇鎖鑰

- 第三類 燈具**
- 一燈
 - 二燭臺及燭插
 - 三蠟燈
 - 四燈籠
 - 五提燈
 - 六洋燈
 - 七街燈
 - 八下向燈
 - 九燈
 - 〇燈

● 燐寸及火藥

- 第二四類 燐寸**
- 一 發火劑
 - 二 燐寸軸木
 - 三 燐寸雜
- 第二五類 火藥及爆發物**
- 一 火藥製造法
 - 二 爆發藥製造法
 - 三 火藥及爆發藥製造裝置
 - 四 火藥處理法
 - 五 雷
 - 六 煙
 - 七 藥
 - 八 火藥及爆發物雜

● 纖維及染料

- 第二六類 纖維**
- 一 植物性纖維彈解精練及漂白法
 - 二 糊付及仕上法
 - 三 繭解舒法(真綿ヲモ含ム)
 - 四 絹精練及仕上法
 - 五 獸毛精練漂白及仕上法
 - 六 雜纖維及雜處理法(真綿加工品等)
 - 七 人造絹糸及模造纖維
 - 八 フエルト
 - 九 織維雜
- 第二七類 紙**
- 一 製紙原料處理法
 - 二 抄紙法
 - 三 色紙
 - 四 雜紙
 - 五 加工紙
 - 六 製紙雜
- 第二八類 染料**
- 一 コーラル染料
 - 二 硫化染料
 - 三 動物植物染料
 - 四 染料處理法
 - 五 染料雜
- 第二九類 染色**
- 一 製紙原料處理法
 - 二 抄紙法
 - 三 色紙
 - 四 雜紙
 - 五 加工紙
 - 六 製紙雜

● 印刷及寫真

- 第三〇類 印刷**
- 一 寫真製版
 - 二 轉寫及複寫
 - 三 膠印
 - 四 印刷法
 - 五 製版法
- 第三一類 寫真**
- 一 乾板及フィルム
 - 二 着色寫真
 - 三 寫真雜

● 飲食物及嗜好物

- 第三二類 製糖**
- 一 糖汁搾取
 - 二 糖汁清澄
 - 三 精糖
 - 四 雜糖
 - 五 製糖雜
- 第三三類 製鹽**
- 一 製鹽裝置
 - 二 製鹽用具
 - 三 製鹽釜
 - 四 製鹽竈
 - 五 食鹽製造方法
 - 六 食鹽精製
 - 七 製鹽雜

● 衛生材料

- 第三四類 醫藥**
- 一 化學的醫藥
 - 二 血清類及細菌類
 - 三 醫藥雜
- 第三五類 化粧品**
- 一 白粉
 - 二 洗料
- 第三六類 化妝料**
- 一 防腐
 - 二 網絲防腐

● 雜化學工業

- 第三七類 皮革**
- 一 鞣革法
 - 二 皮革仕上法
- 第三八類 可塑物**
- 一 可塑物製造法
 - 二 玩具素地
 - 三 擬寶石
 - 四 リノリウム
 - 五 音譜盤
 - 六 ビスコリス及セルロイド製造法
 - 七 ビスコリス及セルロイド製品處理
 - 八 充填料
 - 九 可塑物雜

● 可塑物

- 第三九類 可塑物**
- 一 可塑物製造法
 - 二 玩具素地
 - 三 擬寶石
 - 四 リノリウム
 - 五 音譜盤
 - 六 ビスコリス及セルロイド製造法
 - 七 ビスコリス及セルロイド製品處理
 - 八 充填料
 - 九 可塑物雜

- 第四〇類 木竹品處理**
- 一 木竹材處理
 - 二 人造木竹材
 - 三 コルク及其代用品
 - 四 ベニヤ板
 - 五 木竹材防腐
 - 六 上下水道用木管
 - 七 紡績用木管化學的處理
 - 八 木竹材ノ蝕彫、顯色及着色
 - 九 木竹品處理雜

● 電氣磁氣材料

- 第四一類 電氣傳導**
- 一 電導物
 - 二 裸電線
 - 三 絕緣電線
 - 四 電氣抵抗物
 - 五 電氣抵抗物
 - 六 電線接續
 - 七 電氣傳導雜
- 第四二類 電氣絕緣**
- 一 電氣絕緣物
 - 二 磁物
 - 三 磁性物
 - 四 磁氣雜
- 第四三類 磁氣**
- 一 磁物
 - 二 磁性物
 - 三 磁氣雜
- 第四四類 變電**
- 一 變成器
 - 二 誘導線輪
 - 三 廻轉變流機
 - 四 整流機
 - 五 變相機
 - 六 進相機
 - 七 周波數變換機
 - 八 變電雜

- 第四五類 電氣工業之部**
- 一 調帶ノ化學的處理
 - 二 洗滌、研磨、艶出及減摩
 - 三 オブライト
 - 四 着色用カラメル

● 電氣工業之部

- 第四六類 電氣傳導**
- 一 電導物
 - 二 裸電線
 - 三 絕緣電線
 - 四 電氣抵抗物
 - 五 電氣抵抗物
 - 六 電線接續
 - 七 電氣傳導雜
- 第四七類 電氣絕緣**
- 一 電氣絕緣物
 - 二 磁物
 - 三 磁性物
 - 四 磁氣雜
- 第四八類 磁氣**
- 一 磁物
 - 二 磁性物
 - 三 磁氣雜
- 第四九類 變電**
- 一 變成器
 - 二 誘導線輪
 - 三 廻轉變流機
 - 四 整流機
 - 五 變相機
 - 六 進相機
 - 七 周波數變換機
 - 八 變電雜

●送電及電氣制御

第二類 送電及配電

- 一 配電裝置
- 二 電氣保安裝置
- 三 電路遮斷裝置
- 四 電流制限裝置
- 五 電壓加減壓機
- 六 電氣抵抗器
- 七 インダクタンス
- 八 蓄電器
- 九 電纜吊
- 一〇 送電及配電雜

- 五 交流電動機制御
- 六 船舶電氣推進
- 七 兵器電氣制御
- 八 雜電氣制御裝置
- 九 電氣調整裝置
- 一〇 電氣的制御及電氣的調整裝置
- 一一 電氣制御及電氣調整雜

●電氣通信

第二七類 電話及電

- 一 電信送受裝置
- 二 電信中繼裝置
- 三 二重電信裝置
- 四 四重電信裝置
- 五 多重電信裝置
- 六 雙信裝置
- 七 自動電信裝置
- 八 書字電信裝置
- 九 書寫電信裝置
- 一〇 印刷電信裝置
- 一一 同期電信裝置
- 一二 電信用雜具
- 一三 送話器
- 一四 受話器
- 一五 電話機

第二九類 高周波電氣通信

- 二 電氣表示器
- 三 電氣警報裝置
- 四 鐵道用電氣信號
- 五 電氣時計
- 六 雜電氣信號
- 七 電氣信號及電氣表示雜

●電熱應用

第三〇類 電燈

- 一 弧光燈
- 二 弧光燈用電極
- 三 瓦斯又ハ蒸氣電燈
- 四 白熱電燈
- 五 白熱電燈
- 六 電球真空封緘
- 七 電球承口
- 八 電燈支持具

第三一類 電熱

- 一 電熱器
- 二 電氣的接合及電氣的被斷
- 三 電熱用電極
- 四 電熱雜

●電氣磁氣測定

第三二類 電氣及磁氣計器

- 一 電流計及電壓計
- 二 電力計
- 三 電氣抵抗測定器

- 四 電氣及磁氣計器雜
- 五 電氣的及磁氣的測定裝置

- 六 電話用信號器
- 七 電話裝置
- 八 電話交換裝置
- 九 電話交換機用雜具
- 一〇 電話自動交換裝置
- 一一 電話交換中繼裝置
- 一二 電話中繼器
- 一三 電話荷線輪
- 一四 通話度數計
- 一五 電話機ト關聯シテ働カサルモノハ第一類ヲ見ヨ
- 一六 電話料金收納裝置
- 一七 電話消毒器
- 一八 電信及電話雜
- 一九 電氣信號及表示
- 二〇 電鈴

●電力應用

●電氣化學

第三三類 電氣鐵道

- 一 電氣制動
- 二 トロリ
- 三 電氣鐵道裝置
- 四 吊線器具
- 五 集電裝置

第三四類 電動機應用

- 一 電氣扇風機
- 二 電動機應用雜

- 六 車輛電氣點燈
- 七 レールボンド
- 八 電氣鐵道雜
- 五 電氣的捕獲具
- 六 電氣的兵器
- 七 電氣及磁氣教習具
- 八 電氣及磁氣玩具
- 九 電氣雜工雜

第三四類 電池

- 一 一次電池
- 二 乾電池
- 三 二次電池
- 四 電槽
- 五 充電裝置

第三五類 電氣爐

- 一 弧光式電氣爐
- 二 抵抗式電氣爐
- 三 電氣爐用電極
- 四 電氣爐雜

●雜電氣應用

第三六類 電氣治療

- 一 感應電器
- 二 電氣振動機
- 三 電熱治療具
- 四 エツキス線裝置
- 五 高周波電氣治療機

第三七類 電氣雜工

- 六 電氣治療雜
- 一 電氣分離裝置
- 二 電氣的屏閉閉裝置
- 三 靜電中和裝置
- 四 電磁機構

帝國發明家名鑑

特許篇

社團
法人 大阪發明協會

磯部作次郎	磯部純一	磯貝喜太郎	磯野七平	磯崎眼龜	磯部源次郎	和泉幾治郎	和泉長太郎	泉水信雄	泉水利宗	泉水康治郎	同	稻井健太郎	稻葉豐英	稻葉好造	稻葉卓一	稻島庄次郎	稻垣健造	稻垣健治	稻垣重信	稻吉兼作	稻田勇太郎	同	稻田美穂	稻玉信吾
三三	二五	九	二二	一五	一七	一三	二〇	二五	二五	二五	二五	二七	二九	二二	二二	二五	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二五
稻積豊二	稻村理助	生田六郎	生田二一	同	生田末作	生熊鏡司	今井義雄	今井太五郎	同	今井丑之助	今井彌右衛門	今井萬治	今井禧四郎	今井美材	今井實太郎	今井博	今井秀夫	今井壽雄	今井茂吉	今泉雄二郎	今泉辰造	今橋芳松	今岡賀雄	同
三三	三三	三九	三〇	三〇	三〇	三三	三三	三三	三三	三三	三三	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八
今川唯市	今田房雄	今中京一	今村政輝	今村品太郎	同	今村十太郎	今野富三郎	今野幸助	今野繁藏	今野繁藏	今野繁藏	今木政次郎	今城龜之助	今城剛介	池邊瀧三郎	同	池邊瀧太郎	池貝喜四郎	池貝杉二	池上富三郎	池上勝太郎	池上憲次郎	池田二右衛門	
四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三
池田篤三郎	池田宇野	池田鐵五郎	池田鐵作	池田菊苗	同	池田三三雄	池田光雄	池田信一郎	池田信一郎	池田信一郎	池田信一郎	池田清一	池田清次郎	池田善吉	池内正雄	同	池内是憲	池内榮吉	池内幸親	池野滿太	池木隆	出原仙	出野惠	
一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六
石井逸平	石井富藏	同	石井勝治郎	石井太吉	石井	石井榮一	石井穎一郎	石井四郎	石井祥吉	石井淳二郎	石井茂吉	石原辰治	石原萬次郎	石原繁行	石原進三	石橋貞次	同	石橋作太郎	石橋弘毅	石動弘	石渡繁胤	石川巖夫	石川盤彦	
一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六

井口泰輔	井口在屋	井口正一	井口清内	井深大	井出耕作	井澤利一郎	井下田正	井本德之助	同	井本加三郎	猪飼博	猪狩滿和	五十嵐録郎	五十嵐勘治	五十嵐正次	五十嵐四郎	壹岐敏夫	以後崎角之助	飯沼忠衛	飯沼元	飯尾達次郎	同	飯尾藤太郎	飯田岩郎
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
飯田鶴吉	飯田常治郎	飯田歌吉	飯田源太郎	飯田光太郎	飯田清	飯田廣	飯田彦十郎	飯高一郎	同	飯塚忠雄	飯塚竹三郎	飯塚政太	飯塚四郎	飯野烈男	飯倉節養	飯作大吉郎	飯島歳雄	同	飯島福二郎	飯島佐内	飯島彰芳	市場彰芳	市川藤藏	市川克巳
三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六
市川良正	同	同	市川正	市川小吉	市川榮一	市川榮次郎	市川秀次郎	市田文吾	市田道太郎	市瀨猛雄	一島久右衛門	一色安茂	入江定男	犬塚伊三郎	同	犬塚藤四郎	乾和三	戌法師鶴吉	岩井久吉	岩原清道	岩橋貞男	岩橋貞男	岩男虎之助	岩岡保作
三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九
同	同	同	岩上吉次郎	岩田敏子	岩田芳三	岩田喜通	同	岩田辰雄	岩田繼清	同	岩谷勝弘	岩谷まつ	岩谷松藏	岩野平三郎	岩間政雄	岩松卯一	岩淵德助	岩淵繁樹	岩佐大治郎	岩佐傳一	岩佐守三	岩狭與三郎	岩崎一高	岩崎忠吉
三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九
岩崎喜昌	岩崎辰二	岩崎小四郎	岩崎讓	同	岩崎清連	岩崎勝美	岩城勝太郎	岩城道也	岩城道也	岩下章一	岩本保治	岩本嘉平	同	岩本種吉	岩本敬太郎	岩本傳五郎	岩元熊雄	岩瀬慶三	板垣專藏	板谷勝三郎	磯部英治	磯部甫	磯部惠太郎	磯部作次郎
一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七

石川平藏	石川透	石川豐治	石川德三	石川得三	石川登喜治	石川留吉	石川勝治	石川正之助	石川源二	石川源三郎	石川幸二	石川綾太郎	石川清季	石川周作	石川正一	石川彦四郎	石川壽	石垣清一郎	石垣專之助	石田良一	石田了三	同		
同	石田音三郎	石田與之助	石田条光	石田彌	同	石田敬三	石田英輔	石田永生	石田輝	石田榮	石田清直	石田豐	石田美喜藏	石田末吉	石谷爲吉	石津寅吉	石津作次郎	石津信一	石塚音吉	石塚常吉	石塚幸七	石黒伊太郎		
石黒九一	石黒精夫	石黒安之助	石黒圭助	石黒榮一	石山龍雄	石丸忠男	石丸康幸	石丸榮吉	同	同	石松甚平	石崎守	石崎悦夫	石木光三郎	茨木蘇之吉	碓井伊佐吉	家田政男	因幡藤三郎	〔ろノ部〕	呂陸	六角注多良	六角英通		
〔はノ部〕	馬場条夫	同	馬場日出男	馬場節夫	埴生保	芳賀高丈	波田強一	羽生龍郎	羽田峯夫	羽田次郎	同	羽城萬次郎	羽毛田榮次郎	土師寅造	長谷慎一	長谷善一	同	長谷川利彦	長谷川太祐	長谷川三郎	長谷川清治	長谷川規矩		
幅野頼太郎	鳩原海治	蜂谷一輝	同	同	八馬爲吉	八卷竹次	八卷惣藏	針谷錦次	春誠道	春木榮	春木儀一	袴田常次郎	畑鐵太郎	嶋山兵作	嶋山孝吉	嶋山惠	秦山乙治	幡中靜太	肌勢萬吉	服部長九郎	服部宗三	服部彌八	服部文治	服部孝平
一七	一八	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇	四一

服部勤成堂	服部丈三郎	同	服部重右衛門	初谷長太郎	花井嘉夫	花井四郎藏	花田政明	花田貞造	花村謙介	花村淳介	花房政秀	花房明治	花木松太郎	花島新太郎	龍三郎	金市	健	駿四郎	白	重太郎	廣吉	英	盛平	
原田一郎	原田良雄	原田九郎	原田保之助	原田健治	原田梧樓	原田恭介	原田廣一	原田弘	原田彦市	原口長太郎	同	同	原口猷一	原口進	早生種四郎	早川千賀三郎	早川山吉	早野常雄	林友吉	林理夫	同	同		
林大作	林龍雄	林宇吉	林國治	林寛之	林八重吉	林松造	林兼吉	林榮三	林才一	林作雄	林清明	林喬	林菊巖	林繁	林靜太郎	林田勝一	同	林田好藏	林田政左衛門	林内環太郎	濱太八	濱新太郎	濱井次朗	
濱井幸一	濱部壽次	同	濱田八之助	濱田初次郎	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
濱島種式	濱本芳友	箱木一郎	萩原篤太郎	萩原中衛	萩原鐵藏	同	萩尾善次郎	萩野勝夫	萩野茂十郎	萩野靜二	橋田豐志	橋爪甚之助	橋口巳二	橋本德造	橋本德三郎	橋本嘉平	橋本安吉	橋本松藏	橋本金太郎	橋本道之助	同	橋本繁造	橋本重郎	橋本潤躬
四一	四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四	五五	五六	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三	六四	六五

藤堂 良讓	三六	富田 寛次	三六	千葉 四郎三郎	一七	沼田 峰春	一四	小川 久門	一六
同 藤堂 裕吉郎	三五	富田 眞雄	三三	千葉 壬驥	三九	沼倉 三郎	一七	小川 政太郎	三四
藤堂 裕吉郎	三五	富田 英之助	四三	千々和 壽	三	沼澤 辰次郎	一五	小川 雅也	三四
洞澤 力	三六	富塚 清	一四	千布 義雄	三	同 沼尻 清一	一五	小川 光一	一五
徳川 武定	三三	同 富久 力松	三〇	千代 清次	三六	同 沼尻 清一	一五	小川 照若	一三
徳田 時二	三〇	同 富山 泰夫	三六	千代田 藤吉	四三	同 千秋 録治	一〇	小川 作助	一五
徳田 嘉久	三三	同 富澤 信	三六	同 千代田 藤吉	四三	同 知久 健夫	一〇	小川 實一	一五
徳田 治三郎	三三	富坂 卯三郎	一六	同 千秋 録治	一〇	同 筑紫 信男	一〇	小川 吉平	一五
徳永 芳治郎	三六	歳森 享一	一五	同 知久 健夫	一〇	同 忠田 久三郎	三五	小川 金三郎	一五
徳永 達生	三三	友田 三三二	三三	同 筑紫 信男	一〇	同 中國合同電氣株 式會社大阪支店	一〇	同 小川 順造	一三
徳永 延之	三六	友龍 正一	三三	同 張 錫 本	一六	同 陳 其 祥	一七	同 同	一三
徳永 晋作	三六	友成 用三	三三	同 李 泰 圭	一六	同 同	一六	同 同	一三
特殊商車製作所	一五	友成 正	一〇	同 李 容 璣	一六	同 同	一六	同 同	一三
時山 義輔	一〇	同 友成 義三	一〇	同 工業株式會社	一六	同 同	一六	同 同	一三
説田 三郎	三三	同 同	一〇	同 同	一六	同 同	一六	同 同	一三
富部 備作司	三三	同 同	一〇	同 同	一六	同 同	一六	同 同	一三
富岡 貫一	三六	同 同	一〇	同 同	一六	同 同	一六	同 同	一三
富岡 貞吉	三〇	同 同	一〇	同 同	一六	同 同	一六	同 同	一三
富岡 勇治	三〇	同 同	一〇	同 同	一六	同 同	一六	同 同	一三
富川 龍夫	三四	同 同	一〇	同 同	一六	同 同	一六	同 同	一三
富田 岩松	三五	同 同	一〇	同 同	一六	同 同	一六	同 同	一三
同 富田 寛次	一六	同 同	一〇	同 同	一六	同 同	一六	同 同	一三
同 同	一六	同 同	一〇	同 同	一六	同 同	一六	同 同	一三

小野 利三太	一七	小澤 金邦	三〇	織田 信昭	一四	大橋 彌一郎	一四	大谷 信助	一三
小野 嘉七	一七	同 小澤 角藏	三三	織田 經二	一四	大橋 明子	一四	大高 末吉	一五
小野 勘次郎	一〇	小澤 瀧藏	三三	同 織田 研一	一四	大橋 弘明	一四	大竹 房吉	一四
小野 暢三	三三	小澤 久之亟	三三	同 同	一四	大橋 清吉	一四	大津 嘉納	一六
小野 政市	一六	小澤 省吾	三七	同 同	一四	大貫 頼次郎	一四	大津 勇次郎	一六
小野 弘	一六	小澤 直四郎	一五	同 同	一四	大和 田 昇	一三	大塚 藤助	一七
小野 田源彦	一六	尾川 太洋	一五	同 同	一四	大貫 彌太郎	一四	大塚 物太郎	一七
小野 寺直助	一六	尾形 武平	一六	同 同	一四	大貫 小右衛門	一四	大塚 直次郎	一七
小野 寺のぶ	一六	尾形 悟	一六	同 同	一四	大川 理作	一三	大塚 寛一	一六
小野 寺巳佐治	一六	尾形 輝太郎	一六	同 同	一四	大川 榮太郎	一三	大塚 慎藏	一五
小野 里榮五郎	一六	尾上 茂樹	一三	同 同	一四	大河内 正敏	一六	大塚 眞三	一五
小野 里榮三郎	一六	尾山 和安	一三	同 同	一四	同 同	一六	大塚 眞三	一五
小野 里榮吉	一六	尾藤 加勢士	一三	同 同	一四	同 同	一六	大塚 眞三	一五
小野 里榮次郎	一六	同 尾藤 清次郎	一三	同 同	一四	同 同	一六	大塚 眞三	一五
小野 瀬彰一	一六	同 尾崎 春彦	一三	同 同	一四	同 同	一六	大塚 眞三	一五
小栗 嚴美	一六	同 尾崎 數馬	一三	同 同	一四	同 同	一六	大塚 眞三	一五
小倉 篤次郎	一六	同 尾崎 周平	一三	同 同	一四	同 同	一六	大塚 眞三	一五
小倉 義彦	一六	同 尾木 金次	一三	同 同	一四	同 同	一六	大塚 眞三	一五
同 小倉 幸市	一六	同 尾關 謙一郎	一三	同 同	一四	同 同	一六	大塚 眞三	一五
同 小倉 善平	一六	同 緒方 隆	一三	同 同	一四	同 同	一六	大塚 眞三	一五
同 同	一六	同 緒方 章	一三	同 同	一四	同 同	一六	大塚 眞三	一五
同 同	一六	同 緒方 清重	一三	同 同	一四	同 同	一六	大塚 眞三	一五
小澤 忠次郎	一六	同 緒方 清重	一三	同 同	一四	同 同	一六	大塚 眞三	一五

大野 鐵治	大澤直三郎	大角卯之助	岡 杉之助	岡野宗太郎
大野 碩十郎	大阪陶業株式会社	同	岡原壽一	岡口武夫
大久保 伴次	大阪築業セメント株式会社	大隅 政一	岡部 岩太郎	岡屋 甚一
大久保 忠太郎	株式會社大阪電機工業所	大隈 榮一	岡部 連	岡坂 愛之助
大久保 好行	大木 重吉	同	岡部 繁	岡崎 恒助
大久保 唯市郎	大木 信一	大住 將助	岡田 藤十郎	岡崎 直太郎
大倉 龜	大木 末吉	太田 市藏	岡田 長市	岡崎 守
大藏 貞一郎	大美 徳松	太田 干貞	岡田 卓穂	岡崎 願三郎
同	大島 春治	太田 又三郎	岡田 常太郎	岡崎 貞亮
大串 岩雄	大島 徳左衛門	太田 源次	岡田 成敏	岡島 千代造
大矢 幸次	大島 彌三郎	太田 勤治	岡田 彌吉	岡本 一郎
大矢 元三郎	大島 敬治	太田 光久	同	岡本 亮一
同	大島 恭平	太田 次郎作	岡田 房治	岡本 寛
大山 剛吉	大島 幹義	逢坂 弘邦	岡田 梯藏	岡本 政吉
同	大島 重義	逢坂 佐七	岡田 周平	岡本 耕作
大山 金造	大平 清厚	黄 阿波	岡田 清三郎	岡本 清
大藪 長次郎	大木 寅治郎	岡 隆一	岡村 平助	同
大柳 金治	同	岡 嘉吉	岡村 時郎	岡本 省三
大町 榮治郎	大森 芳治	同	岡村 金藏	岡本 重吉
同	大成 權尙志	岡 二	岡野 良平	岡本 茂
大淵 親	同	岡 喬平	岡野 薫	岡本 新二
大越 吉信	大關 鎮	岡 剛	岡野 義治	岡本 英男
大越 諄	同	岡 精二	岡野 宗太郎	岡本 元吉
大江 肇	同	同	同	同

岡本 求馬	沖本 數三	和田 光徳	渡邊 八郎	渡邊 榮太郎
岡本 精晃	沖本 希三	和田 善平	渡邊 兵意	同
鳳 秀太郎	荻田 一郎	和田 惇	渡邊 俊雄	渡邊 鐵哉
乙 咩 龍治	荻野 市太郎	和田 梓之助	渡邊 親晴	渡邊 三郎
斧原 甚三郎	荻野 三郎	和中 可一	渡邊 忠五郎	同
奥 正巳	押田 鏡次	和久 良一	渡邊 薫	渡邊 舉
奥 元	押田 惣助	和 倉 和	渡邊 金男	渡邊 金次郎
奥川 教孝	押谷 惣助	和 氣 一郎	渡邊 勝二	同
奥田 貞太郎	〔わノ部〕	和 氣 最平	渡邊 勝三郎	渡邊
奥田 祐吉	和 田 俊之	和 氣 正太郎	渡邊 要	同
奥村 長八郎	和 田 長作	和 島 藤助	渡邊 養治	渡邊 茂樹
奥村 若三郎	和 田 龜之助	同	渡邊 嘉人	渡邊 正七
奥村 要一	和 田 義信	輪田 なか	渡邊 卓郎	渡邊 周平
奥村 猛	和 田 好也	鱒 洲 隆	渡邊 鶴吉	同
奥村 保治郎	和 田 丈夫	若 泉 宗吉	渡邊 常正	渡邊 俊平
奥村 文藏	和 田 正修	若 林 貞雄	渡邊 直行	渡邊 彦六
奥村 雄之助	同	若 生 文二	渡邊 邦太郎	渡邊 彦五郎
奥村 善次	同	若 園 吉雄	渡邊 彌一	渡邊 壽々
奥野 喜太郎	同	若 崎 道廉	渡邊 政徳	渡邊 久雄
同	和 田 正修	若 崎 徳藏	渡邊 牧三	同
同	和 田 孝治	渡邊 猪之助	渡邊 幸太郎	同
奥山 鑑一	和 田 英雄	渡邊 磯吉	同	脇本 儀一
屋井 先藏	和 田 榮之助	渡邊 幾治	同	脇本 儀一
沖津 清	和 田 金助	同	同	脇本 儀一
沖野 桂三	同	同	同	脇本 儀一

加藤 長次郎	加藤 均三	香川 常吉	川内 祐信	川口 俊司
加藤 辨三郎	加藤 二郎	同	川上 塗料製造所	同
加藤 享	同	同	川上 瀧男	川口 誠彌
加藤 富治郎	加藤 英男	香川 丁	川上 八十太	川崎 辰平
加藤 利三	加藤 茂三郎	香山 忠土	川上 保太郎	川崎 宗造
加藤 利一	加藤 森男	香月 諭	川上 謙治	川崎 喜作
加藤 與五郎	加藤 醇	可兒 弘一	同	川崎 清
同	加藤 舜郎	同	川上 貞三郎	川崎 舍恒三
同	加川 知津子	狩野 隆逸	川上 旭昇	川北 万藏
同	加根 富三郎	鍛治 次三郎	川田 虎之助	同
同	加納 直綱	嘉瀬 一	川田 久吉	川北 榮夫
加藤 芳兵衛	加納 正平	海寶 善八郎	川浪 正隆	川島 利助
加藤 多計夫	同	同	川村 泉	川島 佐一郎
加藤 惣一郎	加福 均三	同	川村 仁太郎	川本 玉一
加藤 仲次郎	同	海津 忠作	川村 寅藏	同
加藤 安太郎	加古 泰次郎	川合 治市	川村 作治郎	川本 新之助
加藤 正夫	加澤 藤吉	川畑 光志	川村 喜十郎	川角 五郎
加藤 顯次郎	加郷 彌藏	川原 二吾	川野 信	同
同	加治 慶之助	川原 權司	川野 信	川澄 政
加藤 剛介	加集 宇太郎	川原 田政太郎	川口 育三郎	河合 鍾太郎
加藤 永	加茂 福治	川原 田英次郎	川口 政一	河合 勇
加藤 輝光	加隈 良介	同	同	河合 要吉
加藤 清直	香西 唯一	同	川口 正平	河合 龜太郎
加藤 清藏	香賀 久次郎	川部 彦九郎	同	同

河合 龜太郎	河野 雙二	門岡 速雄	勝 又 安藏	金子 増耀
同	河野 丑藏	門野 正二	勝 亦 在 一	同
河合 政三郎	河野 政榮	門倉 三能	同	同
河合 小市	河野 敬友	同	勝見 堅太郎	金子 政明
河合 コト	河野 篤二	角 誠 一 郎	葛山 利雄	金子 吉五郎
河合 清	河野 通男	角田 豊一	葛山 計一	金子 信吉
河合 諄太郎	河野 重一	角田 福太郎	葛西 德一郎	金子 清次
河合 仙太郎	河野 博樹	角田 資道	葛西 泰二郎	金子 敏夫
河井 庫五郎	河野 壽衛男	角田 採米	葛西 吉郎	金澤 勝之助
同	河口 眞龜	角野 春男	桂 正次	同
河出 辰吉	河倉 義安	刈田 藤一郎	鐘淵 紡績株式會社	同
河原 亮三郎	同	片場 牛郎	金井 春吉	金澤 重
河原 清	同	片岡 三太郎	金井 慶二	同
同	同	片岡 光太郎	金井 健太郎	金本 福松
河原 治作	河尻 重直	片倉 勝衛	金原 淳	同
河西 淳一郎	河島 千壽	片倉 直人	金原 正一	金森 半一
河邊 浩	河嶋 政雄	片山 一郎	金箱 保	要 政次郎
河内 卯之助	河本 萬造	片山 國幸	金尾 長吉	兼子 三郎
同上 暢輔	同	片山 秋造	金尾 清造	唐木 田善代志
同上 治郎	同	片桐 眞作	金岡 甚三	萱場 四郎
河田 岩根	河盛 又一郎	片桐 英郎	金替 圓三郎	同
同	河盛 又三郎	同	金田 房吉	同
同	瓦田 友次郎	同	金谷 正一	同
河田 源三	門井 俊夫	片平 憲治郎	金谷 信吉	萱場 庄吉
河浦 亮一	門井 行一	勝野 志眞一	金成 友一	同

鎌居大藏	四四	龜岡長太郎	四三	米村甚六	四〇	横田清櫻	三五
鎌田肇	四七	龜田山太郎	三五	梶村久吉	三〇	横谷多志郎	九
鎌田寅八	三〇	龜木博元	三二	梶山日露樹	三八	横山五十鈴	六
鎌田慶平	七	上三信勘造	三九	梶山秀男	四九	横山薫	四一
同	四六	上條廣治	一七	同	五九	横山達一	四六
鎌田菊藏	二九	神原重次	五九	風野晴男	四九	横山政一	四九
釜谷常治	二〇	神取政基	四七	春日彪次郎	四三	横山正治	三七
懸野旭	三三	神尾敬一	五八	粕谷豊太郎	一七	横山作太郎	七二
懸山憲一	三二	神谷吉郎	三三	粕谷彌藏	二四	横山信也	四〇
掛見繁松	四七	神谷愷	四四	粕谷彌藏	元	横山秀義	四九
影山正作	四〇	神崎静夫	四二	數原三郎	四八	横見仁一	一五
笠井勘三郎	三	櫻村長	三三	關西バイン	二四	吉井清喜	四〇
笠井大作	二六	柏田武治	元	關西バイン	二四	同	四〇
笠井猛郎	四一	同	元	關城化學工	二九	吉池千鶴雄	三二
笠井完	四九	柏崎光太郎	四八	業株式會社	元	吉池極	四三
笠松勝次郎	七	柏木幸助	一七	四ツ橋つゆ	二二	吉原嘉代太	五
笠木了一	二	同	一七〇	餘村一雄	五七	吉富英助	三〇
笠島豊	四七	柏木三吉	三七	淀權次郎	一五	吉岡彌之助	三六
柿沼三郎	四三	柿木秀一	五三	依田庄司	六	吉岡正彌	三三
柿澤喜三郎	元	梶井謙一	四四	米花安藏	六	吉岡正司	五〇
柿本春信	四五	同	四〇	米田俊次	五	吉岡都	四二
蟬崎千晴	二六	梶原千代吉	三三	米田豊	三九	吉川退藏	一五
鍵和田良平	五	梶原熊雄	五九	米澤秀太郎	元	吉川卓郎	五九
同	六	梶原政次	三〇	同	元	吉川武雄	三五
同	三九	梶原政吉	三〇	〔よノ部〕			

吉川武雄	四三	吉田淺次郎	三	吉本鐵石	七	田邊貢	三〇	田中正平	五六
吉川恒太郎	四四	吉田菊之助	一五	吉本三郎	四九	田邊清太郎	四〇	田中正利	九
吉川宇平次	三五	吉田清春	五六	同	五九	田中一郎	二五	田中正道	五五
吉川彌十郎	六	吉田眞三	三三	吉本助作	二七	田中勇	二九	田中昌龜	三二
吉川磨文	五七	吉田甚一	三〇	芳川覺	三〇	田中隼人	四四	田中啓次郎	三七
吉川雅男	三五	吉田英秋	一八	芳野勇吉	一〇	同	四四	田中健次	三〇
吉川榮壽	三	吉田助松	一〇	芳野守三	四	田中留作	三二	田中文郎	四四
吉川定市	二〇	吉高八郎治	四〇	芳澤甚吾	一三	田中富三郎	二〇	田中文吉	四九
吉田禿	五	吉永振作	三六	〔たノ部〕		田中敏夫	元	田中文吉	一七
吉田平二郎	二九	吉村忠夫	三六	田原良郷	三三	田中友二郎	二八	同	四四
吉田俊男	三	吉村賢助	三三	田原良純	四〇	田中伴吉	四二	田中英治郎	二四
吉田千之	四二	吉村梯治	二五	田端耕造	三〇	田中カノ	三九	田中秋雄	三二
吉田智準	五	吉村三木太郎	二八	田端義治	三〇	田中諧式	三	田中三五	五九
吉田忠三郎	三	吉村積	一〇	田部爲治	二五	田中與吉	二五	田中機械製作所	九
吉田良銳	二七	吉村元次郎	一七	田部省三	二四	田中芳雄	三二	田中謹治郎	二五
吉田嘉市	五	吉村末吉	二五	田所稻實	二〇	同	二四	同	三二
吉田多市	二〇	吉野芳衛	四八	田所清次	二〇	田中良夫	一八	同	四〇
吉田梅太郎	三三	吉野米藏	一四	田沼富藏	二四	田中正	三三	同	四〇
吉田邦一	四五	吉野次郎	二五	田邊友一	一七	田中龍夫	四一	同	四〇
吉田正一	五	吉松元	三〇	田邊和一	二九	田中恒一	二五	同	四〇
吉田正良	五三	吉江介三	一四	田邊與三三	二九	田中八十松	二五	同	四〇
吉田文也	四〇	吉澤新松	四七	田邊文之助	二九	田中安治	二六	同	四〇
吉田五郎	九	吉行久吉	三三	田邊五兵衛	二〇	田中正市	五九	同	四〇
吉田照藏	三九	吉見惣太郎	一七	田邊照三	二六	田中正平	五九	同	四〇
吉田淺次郎	一五	吉本與志雄	九	同	五九	同	五九	同	四〇

田中壽一	田中政次	田島武長	大道寺鎮	立原昌雄
田中新吾	田口勝太	田島九八	平義臣	立川俊三
田中信吾	田口武夫	田島光太郎	同宗雄	立川滿治
田中眞次郎	田口明	田島悅郎	谷さき	立川正三
田中弘	田口才吉	田宮利彦	谷作松	立松三千男
田中七平	田熊常吉	多和田督太郎	谷正一	立澤勇吉
田中紋之助	同熊常吉	多田潔	谷十二	同
田中精太	田山國雄	同	谷和文平	立木健吉
田中清四郎	田町慶二	多田荒太郎	谷川禎吉	橋市次郎
田中善助	同町慶二	多田貞七	谷田清丸	樽谷富藏
同中末吉	田丸節郎	多田久三郎	谷永重家	樽澤敬三
同	田澤昌孝	多々良剛	谷村豐	高井三郎
田村伊藏	田坂吉一郎	多々良省三	谷口敏	同
田村利作	田崎健治	同	谷口俊一	高井良富藏
田村義雄	田岸壽次	同	谷口勝季	高泉正顯
田村冷太郎	田代利光	同	谷口萬吉	高島則次郎
田村憲造	田代爲一	多氣田正	谷口健八	高原勝治
田村源太郎	田代正房	第一工業製	谷口小次郎	高原榮
同	田代榮太郎	藥株式會社	谷口久三郎	高林謙三
田村瑞穂	田代三郎	大日本紡績	谷合清一	高林秀雄
田村庄太郎	田尻京太	株式會社	谷崎義一	高濱義一
田村床太郎	田島カツ	大日本アスファ	立花新十郎	高濱春夫
田村秀市	田島カツ	ト工業株式會社	立原昌雄	高橋盤司
		大同電氣製鋼所		高橋平三
		大道幸一郎		

高橋寅市	高橋孝次	高岡齊	高山梅四郎	高峰嘉三郎
高橋克巳	同	同	高山貞男	高峰讓吉
高橋勝治郎	同	高河原三朗	高柳健次郎	高島敦
高橋覺治	同	高田千代松	同	高島三郎
高橋義意	同	高田亮平	同	高島正一
高橋太一	高橋偵造	高田桂	同	高島隆二
高橋立生	高橋吉五郎	高田嘉助	高間繁	高森武雄
高橋武雄	高橋協三	高田政之助	高松楢作	高瀬芳郷
高橋竹二郎	高橋雄吉	高田益三	同	高瀬政治郎
同	高橋右二	高田藤雄	高松勇治郎	高瀬榮
高橋仲次	高橋正一	高田茂重郎	高木富太郎	高須茂
高橋梅之助	高橋新太郎	高津一郎	高木龜太郎	只野文哉
高橋梅吉	高橋壽太郎	高津義雄	高木忠三	辰巳成光
高橋松之助	高橋廣治	高塚巖	高木信夫	辰巳英一
高橋松次	高橋淳	高村堅之助	高木小二郎	巽鐵男
同	高橋秀三	高村甚平	高木五郎	龍野右忠
同	高橋清次郎	高村準太郎	高木銳男	同
高橋正夫	高橋善吉	高浦正夫	高木二郎	種田健藏
高橋昌太郎	高徳忠夫	高野豐三郎	高木正太郎	棚橋寅五郎
高橋政見	高尾直三郎	高野定吉	高北新治郎	棚次辰吉
高橋啓晃	高尾歲次	同	高岸榮次郎	同
高橋兼治郎	高尾菊次郎	高野喜助	同	棚山茂三郎
高橋源助	高尾明全	高野欽之介	高見安次	棚澤勝二
高橋幸八	高尾繁造	高野治郎	高見光成	玉田竹三
高橋孝太郎	高岡齊	高草木松太郎	高見澤三郎	玉村友明

玉村 勇助	三五	竹内 喜三郎	三五	武田 乾太	六	曾我 經治郎	四	津山 勇	六
玉置 喜三郎	五七	竹内 光雄	二四	武田 乾太郎	二四	曾我 英雄	四	鏑 本光市	六
玉水 弘	二九	竹内 光太郎	三九	武田 賢二郎	二九	曾我 左祐	三	坪 倉真治	三
珠淵 勇志	三三	竹内 壽太郎	三〇	武田 證助	三〇	曾我 周弘	三	植 田亮三	三
竹井 政夫	二二	同	三〇	武田 信一	二五	曾 根 有	三	同	三
竹林 弘	四七	同	三〇	武田 博	五五	同	三	植 谷真作	三
竹尾 秋助	四七	同	三〇	武中 貞津衛	五三	曾 野 龜造	三	土 原 豊吉	三
同	三三	竹節 勝司	二四	武内 勝秀	四九	曾 野 安次郎	三	土 橋 邦一	三
同	三三	竹崎 友吉	二五	武内 米藏	三三	副 島 虎太郎	二九	土 岡 貞次	三
竹尾 清一	一四	同	三	武丸 健一	三三	副 島 元一	二九	土 屋 徳次	三
竹田 平藏	一八	竹崎 嘉徳	二二	武久 恒二	三三	相 馬 修平	二九	土 屋 知太郎	三
竹田 勘一	一八	竹下 定助	三三	帶 刀 要哉	三〇	園 部 惠亮	二九	土 屋 一之	三
竹田 米吉	一八	竹島 茂郎	三三	瀧 良三	三〇	同	三	土 屋 雅男	三
竹田 成美	一八	竹本 長五郎	三三	瀧 貞夫	三〇	染 谷 孝介	三	土 屋 精二	三
竹谷 滿雄	三	竹本 剛	三三	瀧 作太郎	二九	同	三	土 光 敏夫	三
竹中 寛	二二	武井 武	三三	瀧 口 三雄	二九	津 留 崎安太郎	三	土 本 景三	三
竹中 保式	二二	武井 孝祐	三〇	瀧 澤 光三	三三	津 上 退助	二九	通 地 暉一	三
竹村 俊一	二二	武居 佐源次	二二	瀧 島 新吉	三三	津 田 武夫	二九	鶴 田 謙三	三
竹村 順一	二二	武市 由五郎	二二	瀧 本 鋼四郎	三三	同	三	鶴 谷 龜松	三
竹内 隆二	二二	武部 俊正	二二	丹 野 茂	二〇	津 田 喜次郎	三	鶴 谷 慶吉	三
竹内 吉次	二二	武富 昇	二二	丹 菊 仁三郎	三三	津 田 繁之助	三	鶴 卷 鶴一	三
竹内 辰藏	二二	武智 正次郎	二二	彈 俊男	三三	津 田 善一郎	三	塚 原 九輪吉	三
竹内 仲三	二二	武川 泰雄	二二	檀 小三郎	三三	津 村 和夫	三	塚 田 藤一	三
竹内 熊吉	二二	武川 新七	二二	〔七ノ部〕		津 村 芳三	三	塚 田 鎮磨	三
竹内 松次郎	二二	那波 德三郎	二二	名取 五郎	三三	成 田 誠白	三	中 戸 川 秀一	三

塚田 鎮磨	二七	〔八ノ部〕		成 田 誠白	三	中 戸 川 秀一	三
塚越 梅之進	二二	根來 鎌三	三〇	成 毛 英之助	四八	中 尾 萬三	三
塚崎 繁夫	二二	根岸 藤平	二九	成 澤 金之助	二五	中 尾 五郎	三
塚本 佐吉	二二	根岸 信	二九	成 瀬 久二郎	二七	中 尾 哲二郎	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 新吉	三三	中 尾 厚	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	中 尾 清磨	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 新吉	三三	中 尾 勇次郎	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	中 川 濱吉	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	中 川 山太郎	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	中 川 常太郎	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	中 川 彌壽吉	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	中 川 房吉	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	中 川 眞雄	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	中 川 三郎	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	中 川 清	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	中 川 七太郎	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	中 上 豊吉	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	中 上 川 勇五郎	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	中 田 豊藏	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	中 田 常吉	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	中 田 健吉	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	中 谷 和市郎	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	中 津 米造	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 元凱	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	根岸 榮三郎	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二	同	二九	成 瀬 善吉	三三	同	三
塚本 喜藏	二二</						

中津義男	中務將三	中根一二	中根孝	中村六行	中村富三	中村利明	中村兼松	中村龜松	中村米造	中村庸乳	中村義治	中村義人	中村孝	中村卓爾	中村恒	中村宇吉	中村運正	中村信友	中村信義						
三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇						
中村八十八	中村彌藏	中村安太郎	中村文男	中村吾市	中村五郎	中村榮一	中村喜一	中村喜代治	中村祐吉	中村道雄	中村三男	中村靜雄	中村治助	中村壽市	中村正市郎	中村昌式	中村素	中野昌吉	中野寅藏	中野義隆					
三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇					
中野武夫	中野宗治	中野丑藏	中野貞治	中野金吾	中野實	中野信一	中野新次郎	中野義雄	中野義春	中山高亮	中山庫雄	中山邦寬	中山小一郎	中山佐之助	中山三之丞	中山金助	中山善之進	中山善太郎	中易善三郎	中松福次郎	中江半次郎	中里辰雄	中里正夫	中澤治男	中澤松治
三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
中澤壽太郎	中澤午郎	中澤清	中澤甚平	中澤清司	中木勝一	中北辨造	中來田象一	中城繁榮	中柴末純	中鹽幸次	中島幾三郎	中島八三郎	中島帆太郎	中島統一	中島藤九郎	中島豐植	中島虎八	中島富太郎	中島友正	中島和平次	中島武雄	中島惠一			
三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	
中島健三郎	中島顯三	中島甲子磨	中島章	中島喜三郎	同	同	中島田正夫	中本守	中守洞吉	仲孫三郎	仲西一郎左衛門	仲上稔	仲田旭	永井伴造	永井忠藏	永井雅夫	永井政司	永井健三	永井文祥	永井輝雄	同	同	同	同	
三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇		

永井榮	永井雄三郎	永井省三	同	永井新太郎	永井英夫	同	永石吉次	永利清太郎	永尾清一	永岡政藏	同	永田岩太郎	永田富太郎	永田利行	永田兼雄	永田正男	永田鐵三	永田朝次郎	同	永田清	永田潔	永田實	永海佐一郎	永野太三郎
三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
永野櫻	永坂晋吉	永嶺光	長濱慶三	長濱喜一郎	長沼清一	長尾樂治	長尾正志	長尾孝三	長尾欽彌	長尾優	長尾準之助	長渡惣之助	長田夢男	長田幸太	長妻源四郎	長野千秋	長口宮吉	長山正太郎	同	長山敬	長島幸吉	長島銀藏	長島躬行	長森貞次郎
三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
長瀬菊次郎	雍野嘉市	滑石芳市	滑川清	並河孝	波野貞五郎	浪崎榮吉	浪崎新治	南部麒次郎	難波康一	難波捷吾	〔らノ部〕	〔らノ部〕	〔らノ部〕	〔らノ部〕	〔らノ部〕	〔らノ部〕	〔らノ部〕	〔らノ部〕	〔らノ部〕	〔らノ部〕	〔らノ部〕	〔らノ部〕	〔らノ部〕	〔らノ部〕
三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
向井重雄	向笠榮三	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
村上玉男	村上威士	村上丈二	村上常一	村上保助	村上正臣	村上正輔	村上敬一	村上福太	村上三郎	村上佐助	村上菊一	村上勇三郎	村上繁三	村上久吉	村上寛次	村田義男	同	村田義鑑	村田達平	村田經芳	村田松太郎	村田正雄	村田福太郎	村田小一
三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇

村田誠一郎	鶴飼彦三郎	馬來成一	上山正英	牛山政成
村田愬齋	鶴澤孝左久	生方新太郎	同	白井美三
村山整治	内田藤太郎	上西重巳	上坂忠次	白井喜市郎
村松胤範	内田徳郎	同	植岡金次郎	同
村崎秀雄	内田武次	上岡岩吉	植田一	同
村木晃二	内田顯士	上田伊之助	同	野原帝吉
村瀬彦六	内田正次郎	上田富三郎	植田昇一	野上寅吉
村相兵義	内田 衛	上田利一	植村繁治	野上信正
	内山武俊	上田正雄	植村榮一	野上八重治
	内山 潔	上田文雄	植木重作	野上政雄
	内山清次郎	上田惠喜三	梅田晋五郎	野田健彦
	内海勝二	上田信次	梅田吉郎	野田 師
	内海養内	上坪静吉	梅田馬之助	野副孝二
	内海保次	上村運一	梅田三勝	野中徳太郎
	同	上村金太郎	梅田勇藏	野中肯人
	同	上村道輔	梅谷徳松	野村力藏
	打越作次	上野徳市	梅谷友吉	野村勝三郎
	漆田 信	上野貫三郎	梅津忠作	野村山松
	漆間 猶吉	同	梅根常三郎	野村忠敬
	魚野 幸雄	上野建二郎	海野 正	野村武夫
	畝岡 喜市	上野昭雄	牛尾義方	同
	浦部峯三郎	上野重治	同	野村喜義
	浦田岩吉	上野 茂	牛村知政	野村久太郎
	浦野多門治	上野誠一	牛村末吉	野村久太郎

野村 昊	久萬新次郎	栗原清夫	同	倉田主税
野口俊太郎	久木田重夫	栗林藤吉郎	栗林康一	倉田實良
野口龜次郎	久次米時雄	同	栗林清	倉谷清之信
野口啓太	黒井千代吉	栗林 清	栗野義六郎	倉科文夫
野口 遼	黒岩和五郎	栗山 康一	栗野義六郎	倉本憲一
野矢英夫	同	栗山 東吉	栗山一雄	熊田健一
野澤 一郎	工藤兵治郎	栗山 周六	栗本勇之助	熊澤榮太郎
同	工藤直治	栗生四郎	栗本勇之助	熊本義雄
野澤三喜三	同	栗本勇之助	栗本周六	熊本熊藏
野澤重作	工藤久太郎	栗本周六	栗本周六	隈川八郎
野崎普治郎	工藤 砂夫	栗田泰造	栗田泰造	草間時蕃
野崎信義	久保利之吉	黒瀧慎三郎	黒瀧慎三郎	日下藤次郎
野崎二郎	久保卯之助	同	黒野勘六	日下部駒次郎
野滿朝亮	久保久治	黒野 豊	黒木久義	日下藤次郎
野尻雄三	久保田和三郎	黒澤 豊	黒井 眞吾	日下藤次郎
野島和市	久保田由太郎	黒木久義	黒友久治	日下藤次郎
野瀬 潜	久保田權四郎	黒井 眞吾	黒友新藏	日下藤次郎
能崎藤忠	久保田久太	黒川 健二	黒川三郎	日下藤次郎
能勢友三	久保田鐘一	黒川 教亮	黒川 健二	日下藤次郎
紀睦久三郎	同	黒川 健二	黒川 健二	日下藤次郎
則武和三郎	久保田壽朗	黒川 健二	黒川 健二	日下藤次郎
延原親太郎	同	黒川 健二	黒川 健二	日下藤次郎
同	久保寺久吉	黒川 健二	黒川 健二	日下藤次郎
同	久村清太	黒川 健二	黒川 健二	日下藤次郎
登坂六郎	久納平太郎	黒川 健二	黒川 健二	日下藤次郎

楠山秀太郎	四	八尋始	四九	山川繁松	四	山田吉之助	三五	山内孝雄	四二
楠瀬雄次郎	四七	彌田雅吉	四	山縣昌夫	四	山田幸雄	三三	同	同
軍地信男	五五	館昌次	三〇	山縣道義	四	山田忍	二四	同	同
郡司掛海勝	五	柳直勝	四	山形甚吉	五	山田治吉	三五	山内宗一	五七
		柳井禎藏	四	山田伊之助	五	山田正一	三五	山内泰明	二四
		柳川國太郎	一五	山田利藏	二〇	山田鉦太郎	四	山内源登	三三
		柳田友磨	四八	山田長太郎	三	山田省三	二二	山内不門	三〇
		柳屋元助	四	山田忠三	三五	山田廣	二〇	山内清	三〇
		柳澤秀吉	四〇	山田隆之助	三	山田紋太郎	四	山内行藏	三五
		柳澤秀次	三	山田勝太郎	一五	山谷賢治	四	同	同
		同	四六	同	一五	山谷潤應	一五	山内	四二
		柳澤千太郎	一	同	一五	山添瀧次郎	九	山内	四二
		柳瀬政一	一	山田高三郎	一五	山根寬	三	山内	四二
		柳生總則	一七	山田辰二郎	四	山根源三	三	山内	四二
		同	一七	同	一五	山中市治郎	一五	山口官次郎	五
		同	一七	山田環	六	山中寅之助	一五	山口與平	三三
		築瀬成一	一四	山田正榮	三	山中辰之助	一五	山口要作	一〇
		山葉寅楠	三三	山田正之	三	山中直次郎	二	山口良哉	一〇
		山西敬造	一〇	山田桂轉	一五	山中久右衛門	一五	山口由美	三三
		山岡景範	五	山田兼一	一	山村義次	一五	山口康衛	三三
		山岡重吉	一八	山田照海	三	山村常正	一五	山口茂	三三
		山脇榮治	三三	山田晁	一	山村貞次郎	一五	山口治三郎	一〇
		山賀孝造	一四	山田定雄	一五	山村貢	一五	山口晋一	一〇
		山川政雄	一六	山田喜太郎	一五	山内利三郎	一五	山口清次	一〇
		山川淺治郎	一七						

山越長七	四三	山下榮	一八	山本卯太郎	四	山本喜之助	三四	安田清四郎	一六
同	四九	山下章	一〇	同	一	山本喜十郎	五	安雲宗一	一六
山崎敏一	三三	山下行雄	四九	山本卯三郎	一	山本樹一	三三	安福平	一四
山崎忠純	一四	山下祥輔	一三	山本卯三郎	一	山本祥吉	一	安木勘之助	三六
山崎龜之助	四	山下周造	一三	山本梅太郎	一	山本錠太郎	一	安島信太郎	三
山崎泰信	四	山下精一	一	山本松之助	一	山本潤太郎	一	同	同
山崎武二	一四	山下善太郎	一	同	一	山本久夫	一	同	同
山崎惣吉	一	山路一善	一	山本彌三郎	一	山本善藏	一	保田清松	一〇
山崎惣三郎	一	山路信藏	一	同	一	山元伸右衛門	一	保壽康象	一
同	一	山彦除蟲菊	一	山本政信	一	大和頼吉	一		
山崎鶴太郎	一〇	株式會社	一	山本敬祐	一	藪健一	一		
山崎常松	一〇	山本伊之助	一	山本研一	一	藪田貞治郎	一		
山崎薰平	一〇	山本勇	一	山本健一	一	同	一		
山崎每平	一〇	山本幾三郎	一	山本健磨	一	同	一		
山崎光七	一〇	山本初之助	一	山本兼吉	一	同	一		
山崎作一	一〇	山本仁之助	一	山本健治	一	同	一		
山崎喜一郎	一〇	山本富吉	一	山本憲司	一	同	一		
山崎久吉	一〇	山本利藏	一	山本源次	一	同	一		
山崎周善	一〇	山本男寛	一	山本五郎	一	同	一		
山崎新藏	一〇	山本嘉太郎	一	山本榮次郎	一	同	一		
山崎百治	一〇	山本與三郎	一	山本圓吉	一	同	一		
同	一〇	山本賴一	一	山本明徳	一	同	一		
山崎善一	一〇	山本芳太郎	一	山本貞之助	一	同	一		
山下良	一〇	山本忠興	一	山本三六郎	一	同	一		
山下梅太郎	一〇	山本武信	一	山本三治郎	一	同	一		

眞崎照郷	三三	松原静夫	三三	松永義信	三三	松崎信司	三三	松本秋男	三三
眞下芳太郎	三三	松林治夫	三三	松永英雄	三三	松木辰次郎	三三	松本修一	三三
眞島悌次郎	三三	松橋太郎	三三	松波直彦	三三	松宮義太郎	三三	松本新作	三三
馬淵清一	三三	松尾俊太郎	三三	松村八次郎	三三	松宮健一	三三	松本均	三三
町田健次郎	三三	松尾利作	三三	松村米吉	三三	松代松之助	三三	松本廣次	三三
町田八熊	三三	松尾一枝	三三	松村定雄	三三	松下登雄	三三	松本元三郎	三三
丸小野秋男	三三	松尾ナガタリ	三三	松村善藏	三三	松下勝一	三三	松本軫治	三三
丸山泉	三三	松尾政吉	三三	松浦勇	三三	松下卯三郎	三三	松本隆治	三三
丸山宗三	三三	松尾政之	三三	松浦二郎	三三	松下憲治	三三	前泉隆治	三三
丸山正治	三三	松岡留吉	三三	松浦房三郎	三三	松下幸之助	三三	前橋俊一	三三
丸安濱口合名會社	三三	松岡忠佐	三三	松浦喜一郎	三三	松島喜三郎	三三	前川孝一	三三
丸毛登	三三	松岡喬	三三	松浦治郎	三三	松本爽一	三三	前田一	三三
丸初一	三三	松川典稔	三三	松浦彦三	三三	松本兵吉	三三	前田濱五郎	三三
松井長之助	三三	松風憲二	三三	松野林造	三三	松本豐藏	三三	前田濱五郎	三三
松井辰雄	三三	松田長幹	三三	松野榮	三三	松本米吉	三三	前田濱五郎	三三
松井竹三	三三	松田長三郎	三三	松野新吉	三三	松本孝	三三	前田虎雄	三三
松井元三郎	三三	松田龜吉	三三	松山秀峯	三三	松本直	三三	前田孝雄	三三
松居清三郎	三三	松田保久	三三	松山由助	三三	松本爲治郎	三三	前田悦藏	三三
松原安三	三三	松田昌徳	三三	松前重義	三三	松本禮藏	三三	前田三郎	三三
松原健次	三三	松田健壽	三三	松淵頼俊	三三	松本顯治	三三	前田道方	三三
松原四七	三三	松田源次郎	三三	松崎春一郎	三三	松本五郎	三三		

前田久雄	三三	增井清	三三	同	三三	古山圭一郎	三三	福原莊治	三三
前山福一郎	三三	增井久一	三三	富士省三	三三	古松定吉	三三	福留熊次郎	三三
前澤慶作	三三	増尾忠治郎	三三	同	三三	古澤三郎	三三	福富喜四郎	三三
前島保	三三	増田原吉	三三	富士舞世	三三	古崎秀次郎	三三	福地武史	三三
前嶋虎雄	三三	増田利雄	三三	布施明	三三	深井冬史	三三	福王孝滿	三三
正法地徳松	三三	増田吉衛	三三	布施季三	三三	同	三三	福渡七郎	三三
正林寛三郎	三三	増田宗之助	三三	淵上三藏	三三	深川勝二	三三	福田義雄	三三
正垣角太郎	三三	増田信男	三三	古市高治	三三	深川谷助	三三	福田辰造	三三
正田平吉	三三	増田安五郎	三三	古市修次	三三	深川庫造	三三	福田竹次郎	三三
正村慎三郎	三三	増田兼吉	三三	古林卯三郎	三三	深谷辰次郎	三三	福田卯三郎	三三
正木正	三三	増田繁三	三三	古部武雄	三三	同	三三	福田耕作	三三
榎啓三郎	三三	増谷享	三三	古徳延光	三三	深海關治	三三	福田荒太郎	三三
榎尾榮	三三	増成萬吉	三三	古川政司	三三	同	三三	同	
榎田久	三三	増子文夫	三三	同	三三	深澤太郎	三三	同	
牧親彦	三三	増澤龜之助	三三	古川憲一	三三	深澤堅治	三三	福田三次	三三
同	三三	同	三三	古川英一	三三	深澤幸作	三三	福田百合造	三三
同	三三	増島金太郎	三三	古川勇次	三三	深見平一郎	三三	福田正一	三三
牧元	三三	同	三三	古川治郎	三三	船橋惣三郎	三三	福田慎一	三三
牧田與之助	三三	益田五郎	三三	古川誠一郎	三三	船越榮藏	三三	福田眞藏	三三
牧田環	三三	同	三三	古田静登	三三	舟橋重男	三三	福田久	三三
牧野金松	三三	同	三三	古東彌太郎	三三	船橋金造	三三	福田節雄	三三
牧野定光	三三	同	三三	古野千太郎	三三	福井憲二	三三	福田君貞	三三
牧野博通	三三	同	三三	同	三三	福井憲二	三三	福永芳次郎	三三
牧野善藏	三三	同	三三	同	三三	福井仲二	三三		

福永與二	三六	伏田清三郎	二四	藤内兼藏	四九	小幡浩	五三
福永憲治	四三	藤三郎	一九	藤倉啓次郎	五八	小島知二	四一
福永鐵平	五五	同	五三	藤山常一	三三	小早川常雄	四
福山類三郎	四	藤井友吉	五五	同	二五	同	五〇
福澤吉之助	四六	藤井勘三郎	一六	藤崎福三	六	小濱彌三郎	四二
福光臺三郎	一八	藤井義雄	三三	藤木顯洋	三六	小林勇	一四
福島育造	三三	藤井與次	五八	藤澤梶太郎	三三	同	一六
福島郁三	三三	藤井政夫	三三	藤本豐磨	五三	同	一六
福島玉吉	四〇	藤井萬右衛門	五九	藤本	五七	小林春生	一四
福島常雄	三三	藤井護三郎	三三	藤本 糾	五七	小林範二	一八
福島慶三	三三	藤井定治郎	二九	同	四三	小林 壬	一八
福島圭二	二五	藤井庄太郎	二九	藤本武平二	三	小林 壬	一八
福島源馬	一〇	藤井昌三	三三	藤本照戶	一六	小林俊夫	一八
福島高麗夫	四七	藤井重房	四三	藤本作次郎	四九	小林友吉	一八
福島住藏	二六	藤井 魁	四三	藤本吉二	一七	小林千代吉	一八
福重利惣	五〇	藤伊 魁	五〇	藤森政次郎	四九	小林良之助	一八
福本義雄	二〇	同	五〇	同	四九	小林夕力	一八
同	二〇	同	五〇	藤盛光雄	一八	小林 孝	一八
福本福三	二四	藤原伊八	二七	同	一八	小林 彈好	一八
福本榮作	二四	藤原六太	一七	小糸源六郎	四九	小林宗太郎	一八
福本久吉	二〇	藤原義章	二六	小磯鐵治	四九	小林彌次郎	一七
福本壽一郎	二四	藤原辰治郎	三	小池正一	四九	小林孫一郎	一七
福本千喜知	一〇	同	四九	小出正國	三三	小林正夫	一八
服田敏郎	二六	同	四九	小出廣俊	二六	小林政太郎	一八
文岡酒一	四九	藤原寛明	五	小泉菊太	五八	小林正道	一八

小林益三	一六	小西 嚴	三一	同	空	小山佳平	三九	同	四九
小林文夫	一六	小西庸三	三三	小高 榮	三	小山榮二	三九	小島義太郎	一七
小林幸太郎	五	小西嘉雄	四九	同	三	小山昌三郎	一〇	小島八朝	三一
小林甲藏	五三	小西安次郎	四九	小玉勝平	一五	小山田八兵衛	四	小島藤作	七
小林英三	三三	小西政太郎	五	小竹無二雄	四九	小松豐作	一六	同	一六
小林照旭	二七	同	二七	小中義美	三六	小松德太郎	五〇	小島和吉	一五
同	二七	同	二七	小室泰治	四六	小松德次	二四	小島隆一	二四
同	二七	同	二七	小室萬五郎	三五	小松嘉藏	二五	小島隆德	二四
小林新	二七	同	二七	小室清夫	三三	小松大助	一六	小島隆次	二〇
小林吉次郎	四九	小西正三	二〇	小室靜夫	二五	小松茂	一六	小島隆次	二〇
小林義一	三〇	同	三〇	小村善作	四九	小松原要作	五九	小島文太	二〇
同	三〇	小西孝治	二五	小村德右衛門	五五	小松崎賢造	四九	小島鎮雄	二五
小林三勇吉	二五	同	二五	小久保亮一	三三	小淵重太郎	一八	小島英男	二八
小林四郎八	四九	小西行雄	四九	小久保小平	三三	小穴富司雄	一八	小嶋憲之助	一八
小林修明	四九	小西實太郎	一〇	小柳勝藏	四九	小阪牧雄	一八	小嶋憲之助	一八
小林信太郎	四九	同	四九	小柳津真一	三六	小阪謙治	一八	小嶋憲之助	一八
小林慎輔	四九	小西善造	一八	小柳信三郎	四九	小崎一男	四九	古和田磯吉	二四
小林宏治	四九	小西 蘭	一四	同	四九	同	四九	古和田磯治	二四
同	四九	小堀喜八郎	三〇	同	四九	小宮次郎	三	古賀逸策	五八
小林秀彌	三	小泊重名	四九	同	四九	小宮次郎	三	古賀正	四九
小林清太郎	三	小沼得四郎	四九	同	四九	小宮山俊亮	一六	古賀信七	三
小林捨吉	四九	小尾義次	三	同	四九	小鹽直治	三	古賀靜二	一八
同	四九	小谷 重二	三	同	四九	小鹽孫八	三	同	一八
小橋清久	四九	小谷 一郎	三	同	四九	同	三	兒玉 勳	一八
小橋繁次郎	一三	小高一郎	一六	同	四九	同	三	兒玉八郎	一八

兒玉得三	幸本吾一	〔えノ部〕	遠藤勝	寺島昇
兒玉寛二郎	甲田安	エンツアイマ	遠藤小逸郎	寺島敬三郎
兒玉慶民	郷廣三郎	製菓株式会社	遠藤喜三郎	同
兒玉健太	郷原隆	江端鈴之助	遠藤正一郎	寺島榮次
同	合田忠之	江原廣	遠藤繁清	寺島義一
兒玉玄三	合田秋義	江川兼吉	遠藤精一	同
兒玉清助	上月福榮	江上健助	遠藤清造	阿部良造
兒玉紀七郎	郡山誠藏	江内嘉作	〔てノ部〕	阿部億次郎
吳永授	此島竹吉	江口清	手塚榮作	阿部勝馬
後藤徳次郎	國分俊夫	江口清次	手島吉治	阿部竹之助
後藤類太郎	駒井徹男	江崎利一	手島正弘	阿部英治郎
後藤勘一郎	駒村洋三	江刺喜太郎	帝國人造肥料株式会社	同
後藤太一郎	越賀とし	江角弘	肥田試驗所	阿部清
後藤安太郎	近興一	海老原敬吉	電氣試驗所	阿部四郎
後藤憲三	近藤一郎	海老原秀志	郵觀朝	同
後藤房次	近藤一也	海老澤源助	照井榮三郎	阿部彦吉
後藤郷作	近藤平三郎	得地宇雄	寺西武雄	阿賀喜八
後藤淺吉	近藤徹	株式會社榮養	寺田虎楠	阿會八和太
五代正友	近藤理一	食料研究所	寺田俊一	同
同	近藤泰吉	榎商店	寺田八十二	阿南正茂
株式會社神戸	近藤才藏	榎本良作	寺田正一	同
電機製作所	近藤清治	榎本鎮雄	寺田清三郎	阿久津正藏
株式會社	同	遠藤義夫	寺田清四郎	阿左美壽郎
神戸製鋼所	近藤仙吉郎	遠藤太郎	寺内良太郎	阿比留嘉徳
幸田幾次	同	遠藤保	寺崎善吉	安達辰郎
幸田秀二郎	紺野嘉市	遠藤直司	同	同

同	青木藤太郎	東久忠	荒木賢治	淺川權八
安宅商會	青木徳次郎	厚澤銀次郎	荒木謙次郎	淺川勇吉
安積幸二	青木了	厚木勝基	荒木源四郎	同
足立喜藏	青木嘉一	渥美龜太郎	荒木吉次郎	淺川清次
足立盛義	青木八十三	同	荒木喜作	淺田一郎
相澤長太郎	青木康造	渥美文三	天野次雄	淺田春吉
相澤一郎	青木佐太郎	姉川三郎	天野政勝	淺田一
相見富次	青木茂	新井藤四郎	天野鎌三郎	淺田平藏
會田啓之助	青木元男	新井勝五郎	天野銀次郎	淺田常三郎
有井利兵衛	同	新井洋吉	天野匡夫	淺田馬彦
有賀銳一	粟井三藏	新井卓也	天野利三郎	淺田安治郎
有馬龍吉	粟田年雄	新井惣司	甘利義教	淺田幸作
有馬研究所	粟野義六郎	新井榮吉	同	淺田三郎
有馬彦輔	赤星勝	新定平	甘田美智雄	淺田美穂
同	赤星保	荒井勉	油谷源太郎	淺村貞治郎
有坂成章	赤尾正二	同	淺井伊三松	淺野徳
有住榮之助	赤尾仙次郎	同	淺井忠字	淺野小三郎
蟻川五郎作	赤瀬勝一	荒井七五三吉	淺井延吉	淺野貞治郎
青井伊吉	明石正之進	荒川政吉	淺井權之助	淺野吉次郎
青井伊佐男	明海寅吉	荒枝彌太郎	淺原源七	淺野彦治郎
青山虎彦	東林之助	荒木初太郎	淺利次男	淺野誠二
青山貞一郎	東高夫	荒木豐三郎	淺沼守義	淺越助五郎
青柳榮司	東政助	荒木芳雄	淺尾莊一郎	朝川虎二
同	東吉祐	荒木安二	同	同

朝日乾電池株式會社	三三	網島 毅	三三	佐藤 知雄	三三	佐竹 利市	二五
朝比奈泰彦	四〇	菅田益太郎	三三	佐藤 忠次郎	二二	佐竹 勝兵衛	三六
麻島 条雄	一六	菅田 喜か	一七	同	三三	佐竹 省三	二六
秋葉 安司	三三	葦津耕次郎	二六	佐藤 忠助	一六	同	四三
秋葉 榮一	七	味勝 成美	三〇	佐藤 隆三	五七	佐野 太作	二六
同	七	味元 保龜	八	佐藤 勝康	九	佐野 圭	二五
秋岡 寅作	三	味上 定一	四	佐藤 一敏	一六	佐野 幸助	三三
秋吉 勇夫	一八	安藤 卓郎	四	佐藤 泰三	四	佐野 作松	一四
同	一八	安藤 彌一	二〇	佐藤 忠義	二六	佐野 雄	一四
秋吉 平一	一〇	安藤 十太郎	一六	佐藤 惣吉	一六	佐久間 直正	四七
秋吉 重雄	三三	安藤 博	五九	佐藤 直一	一六	佐久間 榮吉	一七
秋田 九八郎	一〇	安藤 盛一	九	佐藤 奈良雄	四九	同	一六
秋津 忠壽	三	安東 千代一	三三	佐藤 永利	三三	佐山 惣平	一四
秋野 安治	四	〔さノ部〕		同	三三	佐分利 浩一	四五
秋山 平吉	一七	佐原 貢	三〇	佐藤 卯三郎	二六	佐伯 忠雄	一八
秋山 收	四	佐藤 市郎	三〇	佐藤 正文	二五	同	一六
秋山 和市	三	佐藤 平助	三	佐藤 政太	四	佐伯 倉輔	一八
秋山 好市	二四	佐藤 登子吉	一八	佐藤 兼藏	三〇	同	一六
秋山 實	三三	佐藤 寅治	一八	佐藤 福一	五〇	佐々木 一	一七
秋間 美五郎	四	佐藤 富男	一〇	佐藤 孝二	八	同	一七
秋間 美五郎	四	同		佐藤 五郎	三〇	同	一七
秋宮 良孝	三〇	佐藤 俊一	二九	佐藤 輝五	二五	同	一七
同	三〇					同	一七
網谷市三郎	一五					同	一七
網打力造	一〇					同	一七

佐々木林治郎	三六	齋藤 利	四〇	齋藤 甚吉	一七	阪田 正雄	四一
佐々木一雄	三三	齋藤 龍次郎	一六	齋藤 彦太郎	一六	阪口 芳三郎	三六
佐々木達次郎	四	齋藤 寛正	一五	齋田 義雄	三三	阪口 實	一〇
佐々木武治	四〇	齋藤 正	五八	齋間 齊	四三	阪口 治郎吉	二〇
同	四〇	齋藤 辰三郎	一五	齋木 正直	一〇	阪本 福次	一〇
佐々木敏三郎	四〇	齋藤 外市	一〇	才田 定吉	三	阪本 久五郎	一四
佐々木彌太郎	三三	齋藤 毅	二二	采野 善治郎	二六	同	一四
佐々木憲一	三六	齋藤 國榮	三〇	西郷 隆興	一六	酒井 富藏	一六
佐々木貞吉	三三	齋藤 又一	一〇	猿渡 小市	一〇	酒井 克巳	三六
佐々木作四郎	三三	齋藤 孝太郎	一〇	猿田 佐門	三三	酒井 芳兵衛	一七
佐々木佐七	二五	齋藤 定藏	一〇	澤井 勝	五三	酒井 忠令	一八
佐々木ギン	三六	同	三三	澤逸 壽郎	四〇	酒井 眞之丞	三六
佐々木峰太郎	一〇	齋藤 定實	三三	澤田 外治	五八	酒井 慎三	二〇
佐々木正一郎	三	齋藤 實則	一〇	澤田 善吉	一〇	酒井 温	四
佐々木新太郎	三〇	齋藤 金四郎	五五	澤田 越夫	一〇	同	一五
佐々木 光	三三	齋藤 雄助	四	澤村 勇	三三	酒見 恒太郎	一六
佐々木善三郎	三九	齋藤 幸雄	四二	澤野 利市	一七	榊原 吉三	三
佐島 孝夫	五五	齋藤 明堯	四二	澤口 悟一	三〇	相良 春一	二四
佐瀬 慶治	一〇	齋藤 治良	四七	澤崎 篤治	三三	相良 辰次郎	一六
茶珍 俊夫	一〇	齋藤 正一郎	二四	澤木 信義	三三	貞方 堅吉	二四
早乙女新一郎	一〇	同	三〇	榎木 末吉	三三	貞清 玄龜	三〇
座間 西藏	一七	齋藤 正平	一〇	同	三三	實方 重治	一三
齋藤 八郎	二五	同	三三	境 慶吉	一〇	實吉 金郎	一〇
齋藤 寅次郎	三九	齋藤 昌二	三	坂入 祥始	三三	眞田 義彰	二五
齋藤 長一	二二	齋藤 茂司	一〇	坂部 三次	二五	眞田 鶴松	一〇

神保成吉	日比野榮治郎	平井正夫	平野光久	本村通世
同	日比谷藤助	平井守人	平野重吉	元橋李公
〔ひノ部〕	比與森盛喜	平林意一	平野英明	元田庄一
樋上晋吉	肥田一三	平尾憲一	平山徳重	元木寛造
樋園武夫	廣井武郷	平尾伊之吉	平山京平	持田良吉
樋口太吉	廣井仙市	平岡ハル	平山金一	持田山孝
樋口源	廣井祐理	平岡友次郎	平山紋太郎	望月鐵次郎
同	廣田直憲	平岡山徳	平松伊助	望月守次
樋口佐兵衛	廣江碧	平川大輔	同	森半兵衛
樋口清辰	廣澤二郎	平川政則	平松留吉	同
樋口正吉	廣瀬俊雄	平川善藏	平松孝之	森豊吉
樋口門之介	廣瀬勘治	平賀鈴太郎	平松森之進	森虎次
日上秀雄	廣瀬米四郎	同	平澤繁太郎	森登久男
日吉三七次	廣瀬彌助	平田伊太郎	平澤實太郎	森勝治
日田健次	弘末眞幸	平田大造	平本柳藏	同
日高晴生	博田五六	平田憲一	菱田盈	同
日高得二	東野長次	平田吾一	土方半次郎	同
日高榮三郎	表野善教	平田佐雄	〔もノ部〕	森常治
日高善兵衛	平井石一郎	平田重吉	茂木忠次	同
日野熊藏	平井春吉	平田仙太郎	茂木善一郎	森卯太郎
日種成實	平井立夫	平田捨三	茂木吉次	同
日向幸吉	平井直治	平塚昌治	茂木重次郎	森松治郎
日向東一郎	平井正夫	平良福重	毛利光次郎	森益藏
日向傳三	同	平野源藏	毛利廣雄	同

森基一	森田庄三郎	守本利雄	關廣次	柄原豊太郎
森吉郎平	同	盛岡勇夫	關英男	周東喜一郎
森久三郎	同	物部延太郎	關九	同
森二郎	森田重藏	榎井万助	關戸高三郎	諏訪義勝
森一茂	森田清吉	桃谷順天館	關谷力藏	巢守三之助
森繁太郎	森谷徳太郎	〔せノ部〕	關根泰二郎	吹田貢
森信次	同	世戸悟	關口俊次	菅義成
森誠之助	森谷静太	世木實	關口梅吉	菅井重五郎
森泉袈裟彌	森村四郎	瀬戸口一夫	關口八重吉	菅原浩
森友徳兵衛	森山一夫	瀬川勝平	關口正治	菅沼三省
森分好雄	同	瀬川民藏	同	菅沼整一
森脇勘次	森山眞治	瀬川好太	關澤銀藏	菅谷鐵郎
森川仙太	森澤信夫	瀬間巖	全田積	菅野健雄
森上浩行	森澤房次郎	同	千野眞次	菅野喜市
森田徳次郎	森澤九雄	瀬本作次郎	千足榮藏	菅野角野
同	森坂源次郎	同	〔すノ部〕	同
森田年一	森下福三郎	芹澤恭二	須藤山次郎	同
森田叶	森本延市	妹尾環	須藤常忠	末吉専司
森田ガソリン 卿筒製作所	森本条逸	妹尾功	須賀新一郎	末松伊與二
森田萬壽雄	森本數太郎	妹尾光太郎	須川榮一	末廣恭二
森田鎌三	森本作治	妹尾計一	須賀新一郎	杉井肇
森田文彌	森本勇作	關八洲	須田千之助	杉井幸一
森田清	森住兼吉	關三郎	須永勳	杉原甚三
森田實	守谷石二郎	同	須崎吾郎	杉田收
同	同	同	須々木春吉	杉田辰男

杉田 武吉	……	二五	杉本 民之助	……	二〇	鈴木 多吉	……	二〇
杉谷 正剛	……	二四	杉本 京太	……	二〇	鈴木 藤五郎	……	二〇
杉村 伊兵衛	……	二六	杉本 三治郎	……	二〇	鈴木 藤三郎	……	二〇
杉村 良介	……	二〇	杉本 吉藏	……	二〇	鈴木 豐智	……	二〇
杉村 倉太郎	……	三〇	杉本 庄方	……	二〇	鈴木 豐三郎	……	二〇
杉浦 剛	……	二六	杉本 正太郎	……	二四	鈴木 寅吉	……	二〇
杉浦 營之助	……	二六	杉本 周平	……	二四	鈴木 德彌	……	二〇
杉浦 宏俊	……	二五	同	……	二〇	鈴木 富太郎	……	二〇
杉野 植吉	……	二五	杉本 茂	……	二〇	鈴木 富治	……	二〇
同	……	二〇	住友別子	……	二〇	鈴木 利藏	……	二〇
同	……	二〇	住友化學	……	二〇	鈴木 千代吉	……	二〇
杉野 喜一郎	……	二〇	工業株式會社	……	二〇	鈴木 忠治郎	……	二〇
杉山 利伊	……	二〇	住友電線製造所	……	二〇	鈴木 和志理	……	二〇
杉山 友勝	……	二〇	住友株式會社	……	二〇	鈴木 要	……	二〇
杉山 保	……	二〇	鋼管株式會社	……	二〇	鈴木 寬	……	二〇
杉山 常三郎	……	二〇	住友製鋼所	……	二〇	鈴木 寬也	……	二〇
杉山 仲	……	二〇	住田 清三	……	二〇	鈴木 官一	……	二〇
杉山 萬次郎	……	二〇	住谷 幸八	……	二〇	鈴木 庸生	……	二〇
杉山 作太郎	……	二〇	住江 金三	……	二〇	鈴木 芳太郎	……	二〇
杉山 金太郎	……	二〇	住本 誠治	……	二〇	鈴木 芳造	……	二〇
杉崎 嘉一	……	二〇	同	……	二〇	鈴木 代吉	……	二〇
杉本 二郎	……	二〇	澄川 四郎	……	二〇	鈴木 達次郎	……	二〇
杉本 俊三	……	二〇	鈴木 六郎	……	二〇	鈴木 信治	……	二〇
杉本 忠三	……	二〇	同	……	二〇	鈴木 信太郎	……	二〇
杉本 泰藏	……	二〇	鈴木 平七	……	二〇	鈴木 新太郎	……	二〇
杉本 爲治郎	……	二〇	同	……	二〇	鈴木 信治	……	二〇

特許篇番號索引

特許 番號	頁	第六一七六號	……	二四	第一三六四六號	……	四三	
第二	……	二五	第六二五八號	……	二五	第一三六七三號	……	四三
第三	……	二五	第六四〇八號	……	二五	第一三七八二號	……	四三
第四	……	二五	第七一四七號	……	二五	第一四一四一號	……	二五
第五	……	二五	第七七五五號	……	二五	第一四六五七號	……	二五
第六	……	二五	第七七七五號	……	二五	第一四八〇五號	……	二五
第七	……	二五	第八五七二號	……	二五	第一四九二八號	……	二五
第八	……	二五	第九八一號	……	二五	第一五三六六號	……	二五
第九	……	二五	第九九〇六號	……	二五	第一六一〇二號	……	二五
第十	……	二五	第一〇〇四號	……	二五	第一六一二七號	……	二五
第十一	……	二五	第一〇八五號	……	二五	第一六一二八號	……	二五
第十二	……	二五	第一一三四六號	……	二五	第一六一三五號	……	二五
第十三	……	二五	第一一四一七號	……	二五	第一六一四一號	……	二五
第十四	……	二五	第一一七三七號	……	二五	第一六六四五號	……	二五
第十五	……	二五	第一一八二五號	……	二五	第一六九七號	……	二五
第十六	……	二五	第一二一六九號	……	二五	第一七〇五八號	……	二五
第十七	……	二五	第一二五〇二號	……	二五	第一七四〇八號	……	二五
第十八	……	二五	第一二九一二號	……	二五	第一七四九四號	……	二五
第十九	……	二五	第一三三三五號	……	二五	第一七九〇六號	……	二五
第二十	……	二五	第一三五〇四號	……	二五	第一七九四一號	……	二五
第二十一	……	二五	第一三五〇五號	……	二五	第一七九六八號	……	二五
第二十二	……	二五	第一三五〇五號	……	二五	第一八八一九號	……	二五
第二十三	……	二五	第一三六四六號	……	二五	第一八九五八號	……	二五
第二十四	……	二五	第一三六七三號	……	二五	第一九一八四號	……	二五
第二十五	……	二五	第一三七八二號	……	二五	第一九二六八號	……	二五
第二十六	……	二五	第一四一四一號	……	二五	第一九六九〇號	……	二五
第二十七	……	二五	第一四六五七號	……	二五	第二〇一九六號	……	二五
第二十八	……	二五	第一四八〇五號	……	二五	第二〇三三八號	……	二五
第二十九	……	二五	第一四九二八號	……	二五	第二〇七三〇號	……	二五
第三十	……	二五	第一五三六六號	……	二五	第二〇七七〇號	……	二五
第三十一	……	二五	第一六一〇二號	……	二五	第二〇七八五號	……	二五
第三十二	……	二五	第一六一二七號	……	二五	第二〇九三二號	……	二五
第三十三	……	二五	第一六一二八號	……	二五	第二〇九三二號	……	二五
第三十四	……	二五	第一六一三五號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第三十五	……	二五	第一六一四一號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第三十六	……	二五	第一六六四五號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第三十七	……	二五	第一六九七號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第三十八	……	二五	第一七〇五八號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第三十九	……	二五	第一七四〇八號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第四十	……	二五	第一七四九四號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第四十一	……	二五	第一七九〇六號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第四十二	……	二五	第一七九四一號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第四十三	……	二五	第一七九六八號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第四十四	……	二五	第一八八一九號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第四十五	……	二五	第一八九五八號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第四十六	……	二五	第一九一八四號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第四十七	……	二五	第一九二六八號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第四十八	……	二五	第一九六九〇號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第四十九	……	二五	第二〇一九六號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第五十	……	二五	第二〇三三八號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第五十一	……	二五	第二〇七三〇號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第五十二	……	二五	第二〇七七〇號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第五十三	……	二五	第二〇七八五號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第五十四	……	二五	第二〇九三二號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第五十五	……	二五	第二〇九三二號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第五十六	……	二五	第二一一五八號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第五十七	……	二五	第二一一五八號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第五十八	……	二五	第二一一五八號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第五十九	……	二五	第二一一五八號	……	二五	第二一一五八號	……	二五
第六十	……	二五	第二一一五八號	……	二五	第二一一五八號	……	二五

第七五九四二號	第七五九六四號	第七五九九八號	第七六〇三九號	第七六〇四九號	第七六二二二號	第七六二九三號	第七六三六三號	第七六四六八號	第七六五〇八號	第七六五五七號	第七六六三一號	第七六七八一號	第七六八一九號	第七六九三二號	第七六九六〇號	第七六九九四號	第七七〇〇三號	第七七〇六六號	第七七一三一號	第七七一四八號	第七七一八五號	第七七一八六號	第七七二四四號	第七七四二七號
二〇	三	一〇三	四二	四〇	四三	三四	一四	五	六	三三	元	三八	二四	五	一四	一四	一四	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一四
第七七四二九號	第七七五六一號	第七八〇八三號	第七八〇八四號	第七八一三八號	第七八一五二號	第七八一七五號	第七八二一六號	第七八二二三號	第七八三一四號	第七八三二一號	第七八三五九號	第七八四六七號	第七八五三六號	第七八六一二號	第七八六八六號	第七八七六六號	第七八七八八號	第七八九九八號	第七八九九九號	第七九二一五號	第七九二二五號	第七九三三八號	第七九三五五號	第七九三五六號
一四	一五	一〇三	一〇三	一〇四	一〇七	三	六	一五	四三	一六	二四	二五	二五	二五	二五	九	二七	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
第七九五四三號	第七九五八〇號	第七九五八四號	第七九五八六號	第七九七三二號	第七九八二二號	第七九八五四號	第七九八五七號	第七九八七八號	第七九八九九號	第七九九二八號	第八〇〇三四號	第八〇〇四二號	第八〇〇二二七號	第八〇〇二三四號	第八〇〇二六〇號	第八〇〇四三二號	第八〇〇四六八號	第八〇〇四八八號	第八〇〇五一四號	第八〇〇五一五號	第八〇〇五一六號	第八〇〇五四七號	第八〇〇五五五號	第八〇〇七〇五號
二〇	三	一〇三	一〇五	一〇三	一〇三	一〇七	一〇七	一〇七	一〇三	四九	二四	一六	一七	一五	元	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
第八〇七八四號	第八〇九二九號	第八〇九四八號	第八一二〇六號	第八一二六五號	第八一四六一號	第八一五四三號	第八一五七四號	第八一五七七號	第八一六二九號	第八一六四七號	第八一六五〇號	第八一六八〇號	第八一七三六號	第八一七四四號	第八一七五六號	第八一七八二號	第八一九〇一號	第八二〇〇七號	第八二〇二一號	第八二〇三三號	第八二〇三六號	第八二〇五六號	第八二〇五六號	第八二一三五號
一七	三九	五九	一〇五	一〇三	一〇三	一〇六	一〇五	一〇五	一〇五	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三	一〇三
第八二二五三號	第八二四三七號	第八二四四〇號	第八二五八四號	第八二五九五號	第八二六三七號	第八二七三九號	第八二八〇三號	第八二八五〇號	第八三〇一四號	第八三〇八號	第八三一八八號	第八三一八九號	第八三三六七號	第八三三六一九號	第八三三三三號	第八三三三八號	第八三五〇八號	第八三五二五號	第八三五九〇號	第八四〇二六號	第八四〇三一號	第八四三一〇號	第八四三一〇號	第八四三一〇號
一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六
第八九一九七號	第八九二五六號	第八九二六一號	第八九三三八號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號	第八九三三九號
一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八

第八四三七九號	第八四四五〇號	第八四五〇四號	第八四五〇五號	第八四五七二號	第八四五八一號	第八四八〇一號	第八四八九九號	第八五〇二九號	第八五〇七九號	第八五二〇〇號	第八五二〇五號	第八五三七七號	第八五五二五號	第八五五六九號	第八五六三五號	第八五六六七號	第八五六七七號	第八五八〇〇號	第八五八一〇號	第八六〇五四號	第八六三三五號	第八六三六三號	第八六四〇六號	第八六四一四號
二五	一七	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五
第八六四一八號	第八六四二六號	第八六四三〇號	第八六四五二號	第八六六四四號	第八六七一〇號	第八六八五三號	第八六九一二號	第八六九五五號	第八六九八九號	第八七〇一四號	第八七一二一號	第八七一八六號	第八七二〇五號	第八七二八二號	第八七三一號	第八七四〇八號	第八七五一一三號	第八七五七六號	第八七七七號	第八七七二五號	第八七八七八號	第八七九五四號	第八八二四七號	第八八二八一號
一六	三	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六
第八八二七八號	第八八三四〇號	第八八三五三號	第八八三五五號	第八八三五七號	第八八三五八號	第八八五六七號	第八八六九〇號	第八八七〇三號	第八八八〇〇號	第八八八一八號	第八八八六〇號	第八八九〇三號	第八八九四四號	第八八九二七八號	第八八九二七八號	第八八九四一八號	第八九五八六號	第八九七〇二號	第八九七〇七號	第八九八二五號	第八九八四七號	第八九八八六號	第八九九一〇號	第八九九一〇號
三〇	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三
第八九九六五號	第九〇〇〇五號	第九〇〇二三號	第九〇〇二六號	第九〇〇三八號	第九〇〇七〇號	第九〇一四七號	第九〇二二五號	第九〇二四〇號	第九〇三〇六號	第九〇三六〇號	第九〇三六四號	第九〇四三一號	第九〇五一九號	第九〇五五二號	第九〇五九三號	第九〇六五一號	第九〇六八五號	第九〇六八六號	第九〇七四三號	第九〇九一六號	第九〇九二六號	第九〇九八〇號	第九〇九八〇號	第九〇九八〇號
五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三
第九一一九七號	第九一二五六號	第九一二六一號	第九一三三八號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號	第九一三三九號
一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八

特許篇分類別番號索引

第一類 測定器

【自一頁至五頁】

- 第九九四八六號
- 第九九五三八號
- 第一〇〇三四三號
- 第一〇〇七三二號
- 第一〇二三一五號
- 第一〇二九二三號
- 第一〇二九四七號
- 第一〇三二二一號
- 第九九七〇二號
- 第九九七九八號
- 第九八一四二號
- 第九八八三八號
- 第九八八八七號
- 第九九四七四號
- 第一〇〇一五三號
- 第一〇一一二五號
- 第一〇二四〇六號
- 第一〇二九四〇號
- 第一〇三二四一號
- 第一〇三二四八號
- 第一〇三七一七號
- 第一〇四〇〇九號
- 第一〇五七〇〇號
- 第九九七〇二號
- 第九九七九八號
- 第九八一四二號
- 第九八八三八號
- 第九八八八七號
- 第九九四七四號
- 第一〇〇一五三號
- 第一〇一一二五號
- 第一〇二四〇六號
- 第一〇二九四〇號
- 第一〇三二四一號
- 第一〇三二四八號
- 第一〇三七一七號
- 第一〇四〇〇九號
- 第一〇五七〇〇號
- 第九九七〇二號
- 第九九七九八號
- 第九八一四二號
- 第九八八三八號
- 第九八八八七號
- 第九九四七四號
- 第一〇〇一五三號
- 第一〇一一二五號
- 第一〇二四〇六號
- 第一〇二九四〇號
- 第一〇三二四一號
- 第一〇三二四八號
- 第一〇三七一七號
- 第一〇四〇〇九號
- 第一〇五七〇〇號

第二類 寫真器

【自五頁至八頁】

- 第九九四八六號
- 第九九五三八號
- 第一〇〇三四三號
- 第一〇〇七三二號
- 第一〇二三一五號
- 第一〇二九二三號
- 第一〇二九四七號
- 第一〇三二二一號
- 第九九七〇二號
- 第九九七九八號
- 第九八一四二號
- 第九八八三八號
- 第九八八八七號
- 第九九四七四號
- 第一〇〇一五三號
- 第一〇一一二五號
- 第一〇二四〇六號
- 第一〇二九四〇號
- 第一〇三二四一號
- 第一〇三二四八號
- 第一〇三七一七號
- 第一〇四〇〇九號
- 第一〇五七〇〇號
- 第九九七〇二號
- 第九九七九八號
- 第九八一四二號
- 第九八八三八號
- 第九八八八七號
- 第九九四七四號
- 第一〇〇一五三號
- 第一〇一一二五號
- 第一〇二四〇六號
- 第一〇二九四〇號
- 第一〇三二四一號
- 第一〇三二四八號
- 第一〇三七一七號
- 第一〇四〇〇九號
- 第一〇五七〇〇號

第三類 光學器械

【自八頁至十一頁】

- 第九九七〇二號
- 第九九七九八號
- 第九八一四二號
- 第九八八三八號
- 第九八八八七號
- 第九九四七四號
- 第一〇〇一五三號
- 第一〇一一二五號
- 第一〇二四〇六號
- 第一〇二九四〇號
- 第一〇三二四一號
- 第一〇三二四八號
- 第一〇三七一七號
- 第一〇四〇〇九號
- 第一〇五七〇〇號
- 第九九七〇二號
- 第九九七九八號
- 第九八一四二號
- 第九八八三八號
- 第九八八八七號
- 第九九四七四號
- 第一〇〇一五三號
- 第一〇一一二五號
- 第一〇二四〇六號
- 第一〇二九四〇號
- 第一〇三二四一號
- 第一〇三二四八號
- 第一〇三七一七號
- 第一〇四〇〇九號
- 第一〇五七〇〇號

第四類 音響記錄及音響復生

【自十一頁至十三頁】

- 第九九七〇二號
- 第九九七九八號
- 第九八一四二號
- 第九八八三八號
- 第九八八八七號
- 第九九四七四號
- 第一〇〇一五三號
- 第一〇一一二五號
- 第一〇二四〇六號
- 第一〇二九四〇號
- 第一〇三二四一號
- 第一〇三二四八號
- 第一〇三七一七號
- 第一〇四〇〇九號
- 第一〇五七〇〇號
- 第九九七〇二號
- 第九九七九八號
- 第九八一四二號
- 第九八八三八號
- 第九八八八七號
- 第九九四七四號
- 第一〇〇一五三號
- 第一〇一一二五號
- 第一〇二四〇六號
- 第一〇二九四〇號
- 第一〇三二四一號
- 第一〇三二四八號
- 第一〇三七一七號
- 第一〇四〇〇九號
- 第一〇五七〇〇號

第一〇〇二九七號
第一〇〇四七二號
第一〇〇六五二號

第五類 蒸汽唧子機關

【自一三頁至一三三頁】

第九七七六六號
第九八二八二號

第六類 蒸汽タービン

【自一四頁至一四四頁】

第九五一八〇號
九五八一二號
第九六九九四號
第一〇二二八八號
第一〇三〇〇一號

第七類 凝汽器

【自一四頁至一四四頁】

第一〇三三四二號

第八類 壓氣原動機

【自一四頁至一四四頁】

第九六二九九號
第九七一四五號

第九類 內燃機關

【自一四頁至一六頁】

第二八三三三號
第九四九五九號
九五五四七八號
九五五五七七號
九五七七一四號
第九七二七〇號
第九七三九六號
第九八二九九號
第九八六七二號
第九八七〇一號
第九八八五六號
第九八九〇一號
第一〇〇八五八號
第一〇一四一八號
第一〇一四六六號
第一〇一六九七號
第一〇二二二二號
第一〇二三四三號
第一〇二三五〇號
第一〇二五六〇號
第一〇三〇七三號

第十類 水力原動機

【自一七頁至一八頁】

第一七〇二一號
第七九八五四號
第九六二八二號
第九六二八三號
第九六四四〇號
第九六六六七號
第九六八一八號
第九七五四九號
第一〇〇四三五號
第一〇三九六號

第二類 風力原動機

【自一八頁至一八頁】

第九六五五六號
第九九七一三號

第三類 焚火裝置

【自一八頁至二二頁】

第六五〇六八號
第七六六一一號
第九四一七〇號
第九四二四四號
第九四三四八號

第九四六五九號
第九四八五六號
第九五〇一四號
九五二四四號
九五三三二號
九五九八一號
第九六一三六號
第九六五九四號
第九七三六六號
第九七八〇五號
第九七八九八號
第九八二五七號
第九八九三九號
第九九二七九號
第一〇〇〇三一號
第一〇〇二八八號
第一〇〇八一八號
第一〇〇八三七號
第一〇一三三九號
第一〇二四〇六號
第一〇一八四五號
第一〇一九二二號
第一〇二五四四號

第一〇二七七八號
第一〇二七八〇號
第一〇二八二四號
第一〇二九二七號
第一〇三二四〇號
第一〇三三五〇號
第一〇三三八八號
第一〇三七七九號

第三類 煙突及通風

【自二二頁至二三頁】

第九五二一八號
第九六一〇七號
第九九二二九號
第九九九九一號
第一〇二四五號
第一〇二五二號
第一〇三一四號

第四類 蒸汽發生器

【自二三頁至二七頁】

第三〇一四號
第二三七五九號
第九五一九三號
第九五四二〇號

第九五九九五號

第九八七〇四號

第九九〇〇三號

第九九七七六號

第一〇〇二七八號

第一〇〇四〇〇號

第一〇〇六三三號

第一〇〇九三五號

第一〇一一九五號

第一〇一一九九號

第一〇一二七三號

第一〇一三三三號

第一〇一七六七號

第一〇一九一五號

第一〇二〇六〇號

第一〇二四四四號

第一〇二六四七號

第一〇二七〇六號

第一〇二八六七號

第一〇三四八五號

第一〇三七〇九號

第五類 暖房及乾燥

【自二七頁至二九頁】

第一九六九〇號

第四二三四六號

第四二七二〇號

第九六五四四號

第九八三〇二號

第九八四六一號

第九九三四六號

第九九五二七號

第九九六二一號

第一〇〇一一一號

第一〇〇四八六號

第一〇〇六九〇號

第一〇一一三三六號

第一〇一一三〇六號

第一〇一七五六號

第一〇二四七五號

第一〇三三八九號

第一〇三七〇四號

第一〇三八八八號

第六類 暖爐及暖器

【自二九頁至二九頁】

第一七九〇六號

第九六三七六號

第九七〇六四號

第一〇二四九號

第七類 温水罐

【自三〇頁至三一頁】

第九五四三八號
九五五七一七號
第九八八八八號
第一〇〇五三〇號
第一〇一八二八號
第一〇三九〇七號

第八類 火用器

【自三一頁至三一頁】

第九五五九五號
第九八一三八號

第九類 保温保冷及冷却

【自三一頁至三三頁】

第四二二六七號
第九四〇四五號
第九六一四七號
第九六九五五號
第九六九七二號
第九九七四七號
第一〇〇七五一號
第一〇一〇五〇號

第十類 唧筒

【自三三頁至三七頁】

第一〇一四九九號
第一〇一五八一號
第一〇一八五六號
第一〇二〇二七號
第一〇二二五九號
第一〇三八〇九號
第二五三六一號
第六五二八六號
第七三四三七號
第八一七四四號
第八三一八八號
第八八九九三號
第九四二六五號
第九四二九八號
第九四三二一號
第九四四二五號
第九五二五八號
第九五六〇七號
第九六〇三六號
第九六一三一號
第九八一五五號
第九八三三三號

第三類 扇風機

【自三七頁至三七頁】

第九六五五三號
第九八〇〇二號
第一〇〇八三六號

第三類 撒水噴霧及給濕

【自三七頁至三九頁】

第六二一五八號
第九五〇五三號
第九八〇五三號
第九九〇〇六號

第九九一七七號
第九九八二〇號
第九九八四三號
第九九九五六號
第一〇〇一四七號
第一〇〇五九二號
第一〇一三〇九號
第一〇一八七四號
第一〇三四一〇號
第一〇三五〇八號

第三類 蓄力容器及流體容器
 【自三九頁至四〇頁】

第八八三五六號
第九五三四〇號
第九五四一一號

第五類 弁及活栓
 【自四一頁至四五頁】

第九九〇〇九號
第九九五二二號
第九九五四九號
第一〇〇六〇六號
第一〇〇六六七號
第一〇〇八〇九號
第一〇一四八八號
第一〇三六五三號

第六類 固着具
 【自四五頁至四五頁】

第九八七七八號
第九九五六五號
第九九八九九號
第九九九五七號
第一〇〇六〇五號
第一〇一八一〇號
第一〇一九二九號
第一〇二三五三號
第一〇二四八四號
第一〇二五五〇號
第一〇二七三一號
第一〇二八二五號
第一〇三四六〇號
第一〇三八九二號
第一〇三九二一號
第一〇三九三六號

第七類 傳動裝置
 【自四五頁至四八頁】

第一五三六六號
第九四四九八號
第九四五六〇號
第九四五七九號
第九五二〇六號
第九五四一六號
第九五四四九號
第九五六七六號
第九七六七三號
第九七六九五號
第九七七五六號
第九七九六〇號
第一〇〇二二五號
第一〇〇二五四號
第一〇〇八五五號
第一〇一六八六號
第一〇二六一八號
第一〇二八四七號
第一〇三〇二〇號
第一〇八五二四號

第八類 雜機構
 【自四八頁至五一頁】

第七三九八九號
第八〇五四七號
第九四〇〇八八號
第九四四五六號
第九四五〇二號
第九五〇八一號
第九五六〇一號
第九五七六六號
第九六〇二七號
第九六二六二號
第九六五七〇號
第九七三〇四號
第九七三三一號
第九七六八七號
第九八〇七〇號
第九八三三六號
第九八四八四號
第九八六〇六號
第九八六七五號
第九九六四〇號
第一〇〇一〇七號
第一〇〇七七八號

第九類 信號及通信
 【自五一頁至五五頁】

第一〇一八九號
第一〇二二九七號
第一〇一六〇〇號
第一〇二四二一號
第一〇二六四四號
第一〇三〇五三號
第一〇三五一九號
第一〇三七一一號

第十類 運搬及扛重
 【自五五頁至五八頁】

第九八七八二號
第九九〇一一號
第九九二三四號
第九九三四五號
第九九六九四號
第九九七六〇號
第九九八三一號
第一〇〇〇五八號
第一〇〇五八三號
第一〇〇九〇一號
第一〇〇九三一號
第一〇一四八六號
第一〇一六六七號
第一〇一八六〇號
第一〇二八五三號
第一〇三四二六號
第一〇三四五〇號
第一〇三四六一號
第一〇三六四三號
第一〇三七七七號

第十一類 車輛
 【自五八頁至六一頁】

第二七七一三號
第四四四三六號
第九〇六八五號
第九四八七二號
第九五三七九號
第九五四二八號
第九五五二八號
第九五七四二號
第九五九〇七號
第九五九八八號
第九六七七五號
第九七〇四六號
第九七一三九號
第九七七九〇號
第九八一七九號
第九八八三三號
第九九四〇六號
第九九九二一號
第一〇一三六六號
第一〇一四五一號
第一〇二六九〇號
第一〇四九八八號

第十二類 車輛
 【自六一頁至六三頁】

第一〇三九〇三號
第一〇三九四一號
第一〇三九七三號
第六四八〇四號
第八〇二六〇號
第九四七二四號
第九五二七〇號
第九六六二六號
第九九〇〇一號
第九九一九〇號
第九九二〇七號
第九九二九七號
第九九三三三號
第九九六六九號
第九九八二五號
第一〇〇一〇三號
第一〇〇五一九號
第一〇〇七五四號
第一〇〇九五三號
第一〇一八八二號
第一〇二二八五號
第一〇三三三五號
第一〇三三五〇號
第一〇三六〇八號
第一〇三七八四號
第一〇三八三七號

第三類 潜水

【自六三頁至六三頁】
第九八六一六號
第一〇二五四三號

第四類 船舶

【自六三頁至六四頁】
第九四七七八號
九五〇〇五號
九五五八〇號
九六五二九號
九七三一〇號
九七九五九號
九八二〇〇號
九八二〇一號
九八七五四號
九九六一六號
一〇一三四二號
一〇一五六七號
一〇一八三七號

第五類 航空

【自六四頁至六七頁】
第九四二七七號
第九六三五三號

第九七〇六六號

第九七五三五號

第九七七七一號

第九七八一八號

第九七九〇七號

第九八〇九五號

第九八四四二號

第九八五六一號

第九八六九八號

第九九一四一號

第九九二六七號

第九九三三四號

第九九四七七號

第九九四八四號

九九九二〇號

一〇〇〇〇五號

一〇〇一三四號

一〇〇一五一號

一〇〇一五六號

一〇〇一六四一號

一〇〇一六七八號

一〇〇二四二七號

一〇〇二六九八號

一〇〇三〇一五號

一〇〇三〇九一號

第一〇三三〇號

第一〇三三七五號

第六類 推進

【自六七頁至六七頁】
第一七〇五八號
第九四五三八號
第九五七二六號
第九七一六七號
第九八二五三號
第一〇二七三二號
第一〇二五〇九號
第一〇二五一四號
第一〇三九九七號

第七類 消防

【自六八頁至六八頁】
第九五五一七號
第九六六六六號
第九七二〇三號
第九七二四八號
第九九七五五號
第一〇〇三〇七號
第一〇〇七二〇號
第一〇二五八〇號

第一〇三三〇三號

第一〇三六四七號

第八類 救難

【自六九頁至七〇頁】
第九四九三八號
第九七三一號
第九八六〇七號
九九七三三號
第一〇一〇一三號
第一〇一八九一號
第一〇二二九四號

第九類 銃砲弓弩

【自七〇頁至七二頁】
第九四九〇二號
第九六三二二號
第九七二二五號
第九八五五三號
第九八八〇七號
第一〇〇四五三號
第一〇〇六八四號
第一〇〇八〇〇號
第一〇一三五五號
第一〇一五三七號

第一〇一七五二號

第十類 彈丸火具

【自七一頁至七二頁】
第九五八九一號
第九六二一九號
第九七六五四號
第一〇三六二九號

第十一類 水雷

【自七二頁至七二頁】
第一〇二二二六號

第十二類 軍用機具

【自七二頁至七四頁】
第二九六一五號
第九四四一二號
第九四四〇〇號
第九四四二八號
第九四九〇二號
第九六九四三號
第九七〇〇四號
第九七〇四八號
第九七〇六三號
第九七二二六號

第三類 刷子及掃除具

【自七四頁至七五頁】
第九七二五一號
第九七五九八號
第九七七一一號
第一〇二二六六號
第一〇三三五五號

第四類 衛生具

【自七六頁至七六頁】
第九八三三三號
第九九五六三號
第一〇〇二八五號
第一〇〇九九六號
第一〇一一〇九號

第五類 醫療具

【自七六頁至七九頁】
第九五〇三五號
第九五七七八號
第九六一九〇號
第九八三三七號
九九九四四號
九九九六六號
第一〇〇五一號
第一〇一四〇八號
第一〇二一五〇號
第一〇三九五五號

第六類 軌道

【自七九頁至八二頁】
第九九〇九〇號
第九九一四〇號
第九九四二二號
九九九四六號
第一〇〇〇八二號
第一〇〇一六二號
第一〇〇六四二號
第一〇〇七八八號
第一〇〇八七四號
第一〇〇八八〇號
第一〇一三三三號
第一〇一四六八號
第一〇二五二〇號
第一〇三五九四號
第一〇三六〇七號
第一〇三六一四號
第一〇三七一〇號
第一〇三九四二號

第七類 洗濯具

【自七五頁至七六頁】
第一〇二七五六號
第一〇二六六四號
第一〇二四二八號
第一〇〇六六九號

第八類 土木

【自七九頁至八二頁】
第九七〇二七號
第九七四九六號
第九八〇一九號
第九八八一四號

第九類 土木

【自八二頁至八六頁】
第一〇三三三九號
第一〇三六九九號
第一〇三七八三號
第一〇三九一三號

第七五九〇三號
第八二〇〇七號
第八六五五二號
第九四四四四號
第九五三〇三號
第九六〇五六號
第九六二八一號
第九六七六〇號
第九六七七四號
第九六八五九號
第九七一一四號
第九七五六一號
第九七七五八號
第九九二五六號
九九九二六〇號
九九九五六七號
第一〇〇一三七號
第一〇〇四七八號
第一〇一〇〇二號
第一〇二〇〇二號
第一〇二二二五號
第一〇二七五八號

第一〇三五六三號

第四類 建築

【自八六頁至八九頁】

- 第九四一七一號
- 第九四四五一號
- 第九四六二八號
- 第九四六四九號
- 第九四六五〇號
- 第九四九三九號
- 九五〇六四號
- 九五〇七六號
- 九五二五六號
- 九五六九二號
- 九七二九一號
- 九九二九四號
- 九九四〇〇號
- 九九七八一號
- 九九八五二號
- 一〇〇〇一號
- 一〇〇〇一號
- 一〇〇六一二號
- 一〇〇六一二號
- 一〇〇六八七號
- 一〇〇七三八號
- 一〇〇八四六號

第一〇二二二七號

第一〇二四九五號

第一〇二六八三號

第一〇二七五號

第一〇二四七二號

第一〇二六〇〇號

第一〇二八四一號

第一〇三〇二五號

第一〇三三二六號

第一〇三五二二號

第一〇三六一二號

第一〇三七三八號

第一〇三九八三號

第五類 掘鑿及浚渫

【自八九頁至九一頁】

- 第八九九一〇號
- 九五三三〇號
- 九六三〇九號
- 九六五九六號
- 九七二四九號
- 九八〇九九號
- 九八八八四號
- 九九四一八號

第一〇二〇〇五號

第一〇二〇六五號

第一〇二八八九號

第一〇三四二四號

第五類 採鑛

【自九一頁至九四頁】

- 第一三五〇五號
- 第九四七二九號
- 九五七七四號
- 九六四四四號
- 九六七七八號
- 九七一六九號
- 九七二〇〇號
- 九七五六九號
- 九八二六二號
- 九九一二六號
- 九九九〇三號
- 一〇〇六一三號
- 一〇〇八一六號
- 一〇〇二七七號
- 一〇〇二七二〇號
- 一〇〇三二七一號
- 一〇〇三四五一號
- 一〇〇三七二二號

第一〇三八八五號

第三類 破碎機

【自九四頁至九四頁】

- 第九六二九七號
- 第九六六一四號
- 第九六七七七號
- 第九七四三七號
- 九九一三六號
- 一〇〇五二三號
- 一〇一二四八號
- 一〇一三七一號
- 一〇一四〇二號
- 一〇一七三一號
- 一〇二八一六號
- 一〇三四二三號

第五類 混合機、攪拌機及分離機

【自九五頁至九七頁】

- 第九〇〇〇五號
- 九九四二九九號
- 九九四三〇五號
- 九九四三八一號
- 九九四七〇七號
- 九九六八一五號

第九七一二〇號

第九七六四九號

第九七七八六號

第九八〇三八號

第九八四四八號

第九八四七四號

第九八六八二號

第九八七七七號

第九八九二二號

九九〇二六號

九九九二九八號

九九九五七〇號

九九九六三七號

九九九七二九號

九九九七七四號

一〇〇〇四八號

一〇〇三三三號

第五類 濾過機及淨氣機

【自九七頁至九九頁】

- 第七八二一六號
- 九九四四三九號
- 九九四六一二號
- 九九五三二四號

第六類 鑄工

【自九九頁至一〇二頁】

- 第五〇五〇七號
- 第七五九九八號
- 第九四四七九號
- 第九四六三七號
- 第九四六九九號
- 九五〇九二號

第九六九六二號

第九七八八三號

第九八〇七四號

第九八一三四號

第九八四九二號

第九八六一一號

九九五五九號

九九五五六二號

九九九八〇號

九九九八二號

一〇〇一八五號

一〇〇五五〇號

一〇〇八九六號

一〇一四六三號

一〇二〇四五號

一〇二二八〇號

一〇二四八八號

一〇三二九七號

一〇三四五七號

第七類 織斷機、織刻機及打拔機

【自一〇二頁至一〇三頁】

- 第四五八二號

九五五一四五號

九五三三八號

九九九二七〇號

一〇〇四三一號

一〇一五六二號

一〇三一四五號

一〇三六四號

第五類 打鏈機

【自一〇三頁至一〇三頁】

第九四八三〇號

第五類 壓搾機及壓展機

【自一〇三頁至一〇三頁】

- 第九七〇一一號
- 第九八二二八號
- 九九九四五號
- 一〇三九二八號

第六類 削成機

【自一〇三頁至一〇四頁】

- 第三九八九三號
- 一〇三四九八號

第六類 鑽孔機及削孔機

【自一〇四頁至一〇四頁】

- 第九六三七四號
- 第九八七三八號
- 九九九四六〇號
- 一〇〇三五八號
- 一〇一六二七號
- 一〇三九八八號

第三類 旋盤及旋削機

【自一〇四頁至一〇五頁】

- 第四一六二二號
- 第九四一六九號
- 一〇〇九一五號

第三類 旋刀機

【自一〇五頁至一〇六頁】

- 第三五三八一號
- 第六〇二四四號
- 第九四七八一號
- 九五二〇七號
- 一〇一〇六四號

第四類 研磨機

【自一〇六頁至一〇七頁】

第九六九〇九號

第六類 塗布機及貼附機

【自一〇八頁至一〇八頁】

- 九五二二九號
- 九五三三六號
- 九五五五八號
- 九五六九四號
- 九五九〇九號

第五類 包裝機

【自一〇七頁至一〇七頁】

- 第九五八一六號
- 第九六〇八九號
- 第九六六一八號
- 第九八四六八號
- 一〇三五九九號
- 一〇三九三二號

第一〇〇八七七號
第一〇二九九〇號
第一〇三〇八三號

第六類 雜 工 具

【自一〇八頁至一一〇頁】

第七一二〇八號
第九四一四三號
第九四四七八號
第九七四〇九號
第九七八七八號
第九八七二〇號
第九八九八二號
第九九四二七號
第九九五七二號
第九九六二三號
第九九八九八號
第一〇〇三八四號
第一〇〇四七六號
第一〇〇六六三號
第一〇〇八一五號
第一〇〇四一二號
第一〇〇一五六號
第一〇〇二四一八號
第一〇〇二八四九號

第一〇三二六一號
第一〇三九三二號

第六類 農 藝

【自一一頁至一一三頁】

第二三六二三號
第三八〇七二號
第九五一〇七號
第九六三三〇號
第九六六一一號
第九六九一〇號
第九七二五九號
第九七八五二號
第九八〇四八號
第九八〇八五號
第九九一五六號
第九九一五八號
第九九三三六號
第九九四〇七號
第一〇〇五六〇號
第一〇〇六五九號
第一〇〇四四四號
第一〇〇一六八號
第一〇〇一八〇號
第一〇〇一四五三號

第一〇一六七〇號
第一〇一八七八號
第一〇二八八〇號
第一〇三四四七號
第一〇三七〇七號

第六類 脫 穀

【自一三頁至一一三頁】

第二三三四六號
第九八三八六號
第一〇〇七六九號
第一〇一三三三號
第二九六二三號
第九四四九九號
第九六三三五號
第九六六二二號
第九七〇〇五號
第九八〇五二號
第九八〇六九號
第九八三八七號
第一〇〇三三四號

第一〇〇二二九號
第一〇〇七七七號

第七類 精 穀

【自一四頁至一一七頁】

第三一三六四號
第六五七五八號
第八六四〇六號
第九四七四九號
第九四九八〇號
第九五八六九號
第九七一六〇號
第九八五二二號
第九九三〇六號
第九九五六四號
第一〇〇一二七號
第一〇〇五一四號
第一〇〇二五七〇號
第一〇〇三三七七號
第一〇〇三三三一號
第一〇〇三三三三號
第一〇〇三九七二號
第一〇〇三九七四號
第一〇〇三九七六號

第一〇〇二二九號
第一〇〇七七七號

第七類 捕獲及驅除

【自一一七頁至一一七頁】

第一〇〇六九一號

第七類 馬 具

【自一一七頁至一一八頁】

第九〇九一六號
第九三三三〇號

第七類 養 畜

【自一一八頁至一一九頁】

第九四五〇三號
第九五〇九四號
第九五四〇一號
第九九〇五六號
第九九四二三號
第一〇〇八六九號
第一〇〇一五六一號
第一〇〇一七〇七號
第一〇〇三三七三號

第七類 山林及園藝

【自一七頁至一一七頁】

第九四一四一號
第九四八九五號
第九四九九三號
九五一一七八號
九五五四六號
九五九四三號
九五九五四號
第九六二二二號
第九六四九一號
第九七〇四九號
第九七〇八五號
第九七一三四號
第九七二九四號
第九七三七七號
第九七六二四號
第九七七二三號
第九七八一三二號
第九八三四四號
第九八九七一號
第九九七三八號
第一〇〇二二〇九號
第一〇〇三〇五六號
第一〇〇三二八一號
第一〇〇三八〇〇號
第一〇〇三九四四號

第六類 養 蠶

【自一九頁至二二頁】

第九四七八七號
九五二八五號
九五九三三號
第九六六一號
第九七〇〇六號
第九七〇〇三號
第九七九〇二號
第九八七一〇號
第一〇〇三三九號

第九六六六〇號
第九六七二三號
第九七七八一號
第九八〇二四號
第九八〇四四號
第九八七三三號
第九八八一五號
第九九一九三號
第九九四三三號
第一〇〇〇一六號
第一〇〇一四四號
第一〇〇五八七號
第一〇〇七三四號
第一〇〇八三〇號
第一〇〇一二〇號
第一〇〇一四一五號
第一〇〇二二三九號
第一〇〇四〇二五號

第九二八六〇號
第九四〇五二號
第九四五一八號
第九四五二七號
九五〇二三號
九五〇八五號
九五五一九六號
九五五五二號
九五七四四號
九五九一二號
九五九六六號
第九六四五六號
第九六五三七號
第九六九六三號
第九七〇〇〇號
第九七〇五二號
第九七三一二號
第九七五九五號
第九八五一八號
第九八六七四號
第九八八七〇號
第一〇〇一三九〇號

第九四一四一號
第九四八九五號
第九四九九三號
九五一一七八號
九五五四六號
九五九四三號
九五九五四號
第九六二二二號
第九六四九一號
第九七〇四九號
第九七〇八五號
第九七一三四號
第九七二九四號
第九七三七七號
第九七六二四號
第九七七二三號
第九七八一三二號
第九八三四四號
第九八九七一號
第九九七三八號
第一〇〇二二〇九號
第一〇〇三〇五六號
第一〇〇三二八一號
第一〇〇三八〇〇號
第一〇〇三九四四號

第六類 綉綉及紡績

【自二九頁至三三頁】

第九八一號
第一四六五七號
第三三二四五號
第六二五七二號
第八六八五三號
第九四一五七號
第九四二四九號
第九四三〇二號
第九四七二七號
第九五〇六五號
第九五〇八三號
第九五八五〇號
第九六〇八七號
第九六七九七號
第九六九八三號
第九七六一四號
第九七八九二號
第九八六〇〇號
第九九一九八號
第一〇〇六二二號
第一〇〇三三三號
第一〇〇三三五號
第一〇〇三六九七號

第七類 水 產

【自二二頁至二四頁】

第八〇四六八號
第九四二六〇號
第九四八三七號
九五〇二八號
九五〇一八號
九五五五七號
九五五八七號
九五九一三號
第九六二三九號
第九六五〇一號

第七類 製 絲 機

【自二四頁至二七頁】

第一四一四一號
第六三六三二號
第八五三七七號

第七類 織 維 取 扱

【自二八頁至二九頁】

第一〇一三九〇號

第八類 絲條取扱

第一〇五四五九號
第一〇八四七二號
【自一三四頁至一三八頁】
第四一〇二八九號
第六四七八四號
第九四三四〇號
第九四七八〇號
第九四九二四號
九五〇六〇號
九五五二二三號
九五七三三九號
九五八五九號
第九六七八七號
第九七〇二四號
第九七一三〇號
第九七二八四號
第九七四九九號
第九七六〇三號
第九八三五四號
第九八八七一號
九九〇一八號
九九一二三號
九九二三一號

第三類 製網機

第九九三二七號
第一〇〇〇〇九號
第一〇〇二八三號
第一〇〇三三四號
第一〇〇四五一號
第一〇〇五三五號
第一〇〇一九四五號
第一〇二二五四號
第一〇二四一四號
第一〇二七八八號
第一〇二八一號
第一〇二九二四號
第一〇三二七三號
第一〇三三四四號
第一〇三三八一號
第一〇三四九〇號
第一〇三九五號
第一〇四〇〇七號
【自一三八頁至一三九頁】
第四二七一號
第一六一〇二號
第三九六七九號
第九四三七六號

第三類 編機

第九四五三九號
第九九六三〇號
第一〇二三六一號
第一〇二五〇七號
第一〇三八九六號
第一〇三九八七號
【自一三九頁至一四四頁】
第二一八一七號
第二三一四二號
第二六八四一號
第六五六七四號
第七七四二九號
第八七九五四號
第九〇〇七〇號
第九四七三五號
第九七七〇八號
第九九一三一號
第一〇〇三四〇號
第一〇〇七一九號
第一〇〇八二八號
第一〇一一九七號
第一〇一八九六號

第四類 編物

第一〇二〇八一號
第一〇二五〇五號
第一〇二七七三號
第一〇三四八二號
第一〇四三九六號
第一〇五二一二號
第一〇七〇四七號
【自一四四頁至一四四頁】
第九八二六三號
第一〇〇八八四號
第一〇一〇〇九號
第一〇二〇二九號

第五類 組機

【自一四四頁至一四六頁】
第六七七三七號
第七九三五六號
第九六二〇一號
第九七五八一號
第九八五二六號
九九〇一三號
九九九六一三號
九九九八五三號

第六類 組物

第一〇一八〇八號
第一〇二七三三號
第一〇三〇三三號
第一〇三四八七號
【自一四六頁至一四六頁】
第九四六一一號
【自一四六頁至一五二頁】
第四〇七五號
第八五七二號
第一二一六九號
第一八八一九號
第六五一五六號
第七二六八一號
第七六三三三號
第七六九六〇號
第七七五六一號
第七九五八六號
第八四五八一號
第九五四一二號
九五四二六號
九五五三三號

第七類 織機

【自一四六頁至一五二頁】
第一〇一八〇八號
第一〇二七三三號
第一〇三〇三三號
第一〇三四八七號

第八類 斷片織機

【自一五二頁至一五五頁】
第二三三號
第五七六四號
第七八九九號
第九四五四號
九五三三九號
九五七三一號
第九七五九一號
第九八二九〇號
第九八三四〇號
九九四一一號
九九五二九號
九九五七三號
九九七一二號
九九九二二號
九九九五五號
九九九九六號
第一〇〇〇七五號
第一〇〇四七四號
第一〇〇三二三號
第一〇〇三二八號
第一〇〇三八四號
第一〇四〇二二號

第九類 織物

【自一五五頁至一五七頁】
第九四〇五五號
第九四一九七號
第九四四四五號
第九四五〇四號
第九四五四〇號
第九四九四七號
九五〇三六號
九五三三五〇號
第九五八四四號
第九七一八一號
第九七一九二號
第九七二二四號
第九七六六八號
第九七六八三號
九九九二一八號
九九九三七一號
九九九四一七號
第一〇〇二四九號
第一〇〇三三二號
第一〇〇五二三號
第一〇〇六一三號
第一〇〇八六八號
第一〇〇九一〇號

第九類 布帛整理機

【自一五八頁至一六〇頁】
第七二二二九號
第九二二三〇號
第九四四九五號
第九四八二六號
九九四九九號
九九六九一七號
九九七四七號
九九七九五號
九九八三二九號
九九八七六號
九九八八七號
九九九〇九一號
第一〇〇三七一號
第一〇〇八七六號
第一〇二〇九七號
第一〇二四七九號
第一〇三〇九二號
第一〇三四六二號
第一〇三六四五號
第一〇三九三八號
第一〇三九八五號

第九類 染色機

【自一六〇頁至一六四頁】
第一一八二五號
第二八九六七號
第九一九五六號
第九四一二〇號
第九四二六七號
第九四三三八〇號
九九四六九三號
九九五一五號
九九五一七七號
九九五二三四號
九九六五一號
九九六九九號
九九七九四七號
九九八三七三號
九九八六一號
九九九〇二二號
九九九一七三號
九九九七九一號
第一〇〇〇一七號
第一〇〇四六六號
第一〇一〇四七號
第一〇一〇九三號
第一〇一〇九四號

第一〇一三四號
第一〇一六二三號
第一〇二四八六號
第一〇二六七八號
第一〇二八八六號
第一〇二九七二號
第一〇三三三三號
第一〇三五〇三號
第一〇三七九七號
第一〇三八九一號

第三類 裁縫及刺繡

【自一六五頁至一六六頁】

第七七〇六六號
第九四〇六〇號
第九四二〇〇號
第九五〇三九號
第九八二六一號
第九八三四六號
第九八五二〇號
第九八七四二號
第九八九三一號
第九九六二〇號
第九九七九三號
第九九八三四號

第四類 製紙機

【自一六六頁至一六七頁】

第九五〇七〇號
第九六四一二號
第九七〇八六號
第九八九八三號
第九九二二三號
第一〇二二四一號
第一〇二七六八號

第五類 印刷機

【自一六七頁至一七〇頁】

第二〇一一二號
第四四九七八號

第六類 飲食物製造機

【自一七一頁至一七四頁】

第四四八號
第二〇三三八號
第六二二九九號
第六四九一二號
第九七二五二號
第九八一八號
第九八八一八號
第九九〇二八號
第一〇〇四八三號
第一〇〇五八八號
第一〇〇九三七號
第一〇一〇二四號
第一〇一四二號
第一〇一四三五號
第一〇一八九九號
第一〇二一一〇號
第一〇三〇八九號
第一〇三二二五號
第一〇四六二九號

第七類 煙草製造機

【自一七五頁至一七六頁】

第一八九五八號
第九五八二一號
第一〇〇三四六號
第一〇二二六八號
第一〇二八四四號
第一〇三九六五號

第八類 燐寸製造機

【自一七六頁至一七六頁】

第九七三三八二號
第一〇三四四八號
第一〇三六二三號

第一〇〇類 紙品製造機

【自一七六頁至一七九頁】

第七四四七七號
第九四〇二二號
第九四〇七七號
第九四四二六號
第九四九四〇號
第九五三九二號
第九五五四七號
第九五七八八號
第九六一六八號
第九六七〇六號
第九七二四七號
第九七四五一號
第九七七〇七號
第九七七四一號
第九九六五四號
第九九九六〇號
第一〇〇〇五三號
第一〇〇五二四號
第一〇一四四三號
第一〇一五四九號
第一〇一五九一號
第一〇一六八〇號
第一〇一七六三號

第一〇一類 靴及皮革品製造機

【自一七九頁至一七九頁】

第一〇一三二八號
第一〇一三三四號
第一〇一三三二號
第一〇〇六八二號

第一〇二類 藥草品製造機

【自一七九頁至一八〇頁】

第九四二九一號
第九五〇五九號
第九七二五八號
第九八二四三號
第九八九三二號
第一〇〇六六六號
第一〇三六七八號
第一〇三八四九號

第一〇三類 木竹品製造機

【自一八〇頁至一八二頁】

第二八七五四號
第六三九九八號
第九二四三三號
第九四〇八五號

第一〇四類 可塑品製造機

【自一八三頁至一八四頁】

第一〇一四〇九號
第一〇一九一〇號
第一〇三四一九號

第九四一二七號
第九四九八二號
第九五二七九號
第九五三一三號
第九五七四六號
第九五八一七號
第九五六三三號
第九七五二九號
第九七五四四號
第九七六九〇號
第九七七七九號
第九八三八一號
第九八六九〇號
第九八九四五號
第九九一六五號
第九九三〇五號
第九九九三九號
第一〇〇四五七號
第一〇〇九六五號
第一〇一四〇九號
第一〇一九一〇號
第一〇三四一九號

第九四二四一號
第九五一八七號
第九九二九一號
第一〇〇一四四號
第一〇〇三八九號
第一〇〇八九三號
第一〇一〇八〇號
第一〇一四六七號
第一〇一五七一號
第一〇二二六九號
第一〇二二六四號
第一〇二四〇〇號
第一〇二八九五號
第一〇三六七三號

第九九三一〇號
第九九九一〇號
第一〇〇八二七號
第一〇二三八五號
第一〇二七九五號

第一〇五類 金屬品製造機

【自一八六頁至一九三頁】

第三八〇〇號
第六一一七三號
第六八九〇二號
第七〇一四四號
第七八一五二號
第八〇二二七號
第八二二五三號
第八七五一三號
第九一二五六號
第九四五一九號
第九四六一四號
第九四七四六號
第九五九三六號
第九七六六九號
第九八八四九號
第九九三〇四號
第九九七〇五號

第四類 非金屬元素

【自二三八頁至二三九頁】

第九八五三七號

第九四〇五四號

第九四二五七號

第九四六八三號

第九五一四〇號

第九五三八〇號

第九七一九〇號

第九七七七六號

第一〇〇七七七號

第一〇二七七七號

第一〇二一八號

第一〇三二二九號

第一〇三五四四號

第一〇三六七五號

第一〇三八六七號

第九六五六一號

第九六七一三號

第九七二一四號

第九七八七六號

第九九二〇一號

第九九三二〇號

第一〇二六七三號

第一〇三二六四號

第一〇三六三六號

第九八二七一號

第九九七六一號

第一〇一五三一號

第一〇一六八八號

第一〇一七六八號

第一〇一八四四號

第五類 燃料

【自二四三頁至二四七頁】

第三一五四二號

第三四二一三號

第七八一三八號

第九四五三六號

第九四九四八號

第九五一四三號

第九五二〇一號

第九六三一六號

第九六三三九號

第九六九八九號

第九七二九〇號

第九七五七二號

第九九一一九號

第一〇〇九七三號

第一〇一三三三號

第一〇一四五五號

第一〇一四九二號

第一〇一七一〇號

第一〇一九五四號

第一〇二二八四號

第一〇二六八六號

第一〇二七二五號

第一〇二七八三號

第一〇三二八〇號

第一〇三五五一號

第一〇三九一九號

第一一三〇一二號

第三類 瓦斯

【自二四八頁至二四九頁】

第二六五〇四號

第九六二〇四號

第九六二二七號

第九六二四三號

第九六六七二號

第九七五七一號

第九七五七九號

第九七六八二號

第九八九五七號

第九九八六七號

第一〇二五九號

第一〇三六二號

第一〇一七〇號

第一〇一七九六號

第一〇二七六二號

第一〇二七六四號

第一〇三〇二四號

第一〇三八六九號

第一〇六三四八號

第三類 鑛油

【自二四九頁至二五一頁】

第六九九二〇號

第九七八三九號

第九九九八七號

第一〇〇三八二號

第一〇〇四八四號

第一〇二二七一號

第一〇二二二八號

第一〇二五一三號

第一〇三三八〇六號

第一〇三九六四號

第三類 冶金

【自二五一頁至二五四頁】

第三七五〇一號

第四二九七二號

第四三六六〇號

第四四三六四號

第九五四二一號

第九七八三號

第九八三七九號

第九八五五八號

第九九五八二號

第一〇〇〇六八號

第一〇〇三九〇號

第一〇〇七八二號

第一〇二〇九號

第一〇二三五二號

第一〇二四三五號

第一〇二六〇八號

第一〇三五六八號

第一〇三八七〇號

第一〇六五九一號

第六五六八〇號

第七八七六六號

第八一七八二號

第八四五〇五號

第八六七一〇號

第九二六一九號

第九四八四六號

九五〇一二號

九五七一二號

第九六三七一號

第九六四六八號

第九七二八七號

第九七六一八號

第一〇〇〇七九號

第一〇〇〇八三號

第一〇〇四三六號

第一〇〇六一四號

第一〇〇七三五號

第一〇二二〇八號

第一〇二七一二號

第一〇三六三二號

第一〇三六三九號

第一〇四三四四號

第一〇六二三四號

第五類 陶磁器、煉瓦及耐火用品

【自二六五頁至二六九頁】

第六八四四五號

第九四二一二號

第九四二八一號

第九四四五三號

第九四四〇九號

第九六九一一號

第九七〇三五號

第九七七四五號

第九八一二二號

第九八四五五號

第九八七四九號

第九九一三七號

第九九二二八號

第九九三九九號

第一〇〇〇二一號

第一〇〇四六〇號

第一〇〇七七一號

第一〇〇七七〇號

第一〇一一九三號

第一〇一二三九號

第一〇一三一九號

第一〇一六一四號

第一〇一六六五號

第一〇一八八三號

第一〇二〇一九號

第一〇二〇二三號

第一〇二〇七二號

第一〇三三三〇號

第一〇三三六四號

第一〇三七四八號

第九五四三二號

第九五五一八號

第九五六四一號

第九六〇六五號

第九六〇六六號

第九六一三二號

第九六三〇二號

第九六九六四號

第九七一〇三號

第九七一八三號

第九八一二一號

第九八一六五號

第九八一六九號

第九八七一七號

第九八七四〇號

第九九五三九號

第一〇〇一七三號

第一〇〇三八五號

第一〇〇七五〇號

第一〇一二六〇號

第一〇一四一九號

第一〇一八一七號

第一〇二〇五一號

第一〇二二八號

第一〇二五九六號

第二類 金 工

【自二五四頁至二六五頁】

第三二二三三號

第三二四二二號

第四一七二八號

第四二二六九號

第七類 製糖

【自三六一頁至三六一頁】

- 第一〇二九二六號
- 第九五七九六號
- 第九五九〇六號
- 第九五九三四號
- 第九七九〇三號
- 第一〇〇九九七號
- 第一〇一九八號
- 第一〇二七九四號
- 第一〇三八五五號

第一四類 飲食物

【自三六三頁至三九〇頁】

- 第一〇二三六八號
- 第三六五三號
- 第一一七三一號
- 第七二四三〇號
- 第七二四三八號
- 第八四五七二號
- 第九〇〇三八號
- 第九四〇二八號
- 第九四〇四四號
- 第九四〇七三號
- 第九四〇八六號
- 第九四一五九號
- 第九四二六四號
- 第九四二八〇號
- 第九四二九二號
- 第九四二九七號
- 第九四三三〇號
- 第九四三八二號
- 第九四三八〇號
- 第九四六九一號
- 第九四八二二號
- 第九四八三一號

第七類 製鹽

【自三六一頁至三六三頁】

- 第六四〇八號
- 第二九一三五號
- 第九四八〇七號
- 第九五三三九號
- 第九六三八七號
- 第九八三二四號
- 第九八三七〇號
- 第九八六一八號
- 第九九二四七號
- 第一〇一七九號

- 第九四九〇六號
- 第九四九一九號
- 第九五〇四二號
- 第九五〇八六號
- 第九五〇一〇六號
- 第九五二〇二號
- 第九五三八二號
- 第九五五九二號
- 第九五六〇五號
- 第九五六四二號
- 第九五七七六號
- 第九五七九八號
- 第九五九〇四號
- 第九六〇四四號
- 第九六一〇七一號
- 第九六一〇〇號
- 第九六一二二號
- 第九六二三八號
- 第九六三八二號
- 第九六四一八號
- 第九六四八一號
- 第九六五一〇號
- 第九六五八五號
- 第九六五九一號

- 第九六六七四號
- 第九六七七一號
- 第九六七三一號
- 第九六七七八號
- 第九六八八八號
- 第九六八九三號
- 第九六九七〇號
- 第九六九七三號
- 第九六九七五號
- 第九六九七六號
- 第九七〇一三號
- 第九七一七三號
- 第九七二一八號
- 第九七二三八號
- 第九七二七七號
- 第九七三二七號
- 第九七三三九號
- 第九七三五四號
- 第九七三九八號
- 第九七四二六號
- 第九七四二九號
- 第九七四七三號
- 第九七五〇九號
- 第九七五二五號
- 第九七五五五號
- 第九七五八九號

- 第九七六八九號
- 第九七七八二號
- 第九七七八三號
- 第九八〇五一號
- 第九八一〇七號
- 第九八一五四號
- 第九八一八八號
- 第九八四九九號
- 第九八五五二號
- 第九八五五六號
- 第九八五六三號
- 第九八五七一號
- 第九八五八一號
- 第九八七八九號
- 第九八九三三號
- 第九八九六四號
- 第九八九六九號
- 第九八九七三號
- 第九八九七九號
- 第九九〇〇五號
- 第九九〇六一號
- 第九九〇六五號
- 第九九〇八一號
- 第九九〇九二號

- 第九九一一二號
- 第九九一一七號
- 第九九一二一號
- 第九九一二四號
- 第九九二二五號
- 第九九二四八號
- 第九九二五九號
- 第九九二九六號
- 第九九三三〇號
- 第九九三三四號
- 第九九四三一號
- 第九九四八二號
- 第九九四九一號
- 第九九五五七號
- 第九九五七七號
- 第九九五九九號
- 第九九六二四號
- 第九九六四八號
- 第九九六五二號
- 第九九六八六號
- 第九九七三四號
- 第九九七四一號
- 第九九七五一號
- 第九九七五六號
- 第九九八三五號

- 第九九八七〇號
- 第九九九〇一號
- 第九九九五〇號
- 第九九九九八號
- 第一〇〇〇六六號
- 第一〇〇一八四號
- 第一〇〇二二一號
- 第一〇〇二二二號
- 第一〇〇二二四號
- 第一〇〇二二六號
- 第一〇〇二二七號
- 第一〇〇二二九號
- 第一〇〇三三七號
- 第一〇〇三三九號
- 第一〇〇四二一號
- 第一〇〇四二二號
- 第一〇〇四四一號
- 第一〇〇四六一號
- 第一〇〇四七一號
- 第一〇〇五一〇號
- 第一〇〇五三二號
- 第一〇〇五三八號
- 第一〇〇五四〇號
- 第一〇〇五四八號

- 第一〇〇五五九號
- 第一〇〇六一〇號
- 第一〇〇六五七號
- 第一〇〇八〇二號
- 第一〇〇八四九號
- 第一〇〇八五三號
- 第一〇〇八七一號
- 第一〇〇九五〇號
- 第一〇〇九三三號
- 第一〇〇九三五號
- 第一〇〇九五六號
- 第一〇〇九七二號
- 第一〇〇九七三號
- 第一〇〇九八九號
- 第一〇〇九九〇號
- 第一〇〇九九五號
- 第一〇〇一二六號
- 第一〇〇一四三號
- 第一〇〇一四九號
- 第一〇〇一八七號
- 第一〇〇一八八號
- 第一〇〇一九四號
- 第一〇〇二〇四號
- 第一〇〇二二二號
- 第一〇〇二二七號

- 第一〇二二八五號
- 第一〇二二八九號
- 第一〇二三八四號
- 第一〇二四二五號
- 第一〇二五二〇號
- 第一〇二五二一號
- 第一〇二五九四號
- 第一〇二六七三號
- 第一〇二七一〇號
- 第一〇二七八八號
- 第一〇二七六一號
- 第一〇二七六六號
- 第一〇二七八一號
- 第一〇二八〇七號
- 第一〇二八〇九號
- 第一〇二八一三號
- 第一〇二八六五號
- 第一〇二八七五號
- 第一〇二八九五號
- 第一〇二九〇四號
- 第一〇二九四四號
- 第一〇二九五二號
- 第一〇二九四一號
- 第一〇二〇〇三號
- 第一〇二〇〇四號
- 第一〇二〇二二號
- 第一〇二〇二七號

- 第一〇二一七八號
- 第一〇二二一七號
- 第一〇二二三八號
- 第一〇二二七〇號
- 第一〇二三三二號
- 第一〇二三八三號
- 第一〇二三九二號
- 第一〇二四四〇號
- 第一〇二四四四號
- 第一〇二四四九號
- 第一〇二四九二號
- 第一〇二四九四號
- 第一〇二四九七號
- 第一〇二四九八號
- 第一〇二四九九號
- 第一〇二五〇二號
- 第一〇二五〇六號
- 第一〇二六一九號
- 第一〇二六四六號
- 第一〇二七〇九號
- 第一〇二七〇二號
- 第一〇二八〇二號
- 第一〇二八九九號
- 第一〇三〇四四號
- 第一〇三〇三六號
- 第一〇三〇四四號
- 第一〇三〇四四號

第一〇三一九三號
 第一〇三二〇二號
 第一〇三二〇九號
 第一〇三二一〇號
 第一〇三二四六號
 第一〇三二五一號
 第一〇三三三六號
 第一〇三五九二號
 第一〇三六四一號
 第一〇三六八三號
 第一〇三八五九號
 第一〇三八九〇號
 第一〇五四五一號
 第一〇五七二四號

第三類 釀 造

【自三九一至三九九號】

第一四八〇五號
 第二二一五〇號
 第三七三四一號
 第七四六五八號
 第八五八〇〇號
 第九四一三九號
 第九四一五六號
 第九四一七二號

第九四三〇三號
 第九四四九三號
 第九四七〇九號
 第九四八二八號
 第九五二三七號
 第九五三〇五號
 第九五三二七號
 第九五六二二號
 第九五七九七號
 第九五八一〇號
 第九五八二〇號
 第九五八六七號
 第九五九四〇號
 第九六一〇二號
 第九六二九四號
 第九六三〇五號
 第九六三四二號
 第九六三六八號
 第九六四〇二號
 第九六七三七號
 第九六七六五號
 第九六九四九號
 第九六九五〇號
 第九七〇一四號
 第九七一七六號

第九七四一三號
 第九七四二〇號
 第九七四九號
 第九七七〇九號
 第九七八一七號
 第九七九四八號
 第九八〇一七號
 第九八〇五四號
 第九八一四六號
 第九八四一五號
 第九八五二九號
 第九八五四二號
 第九八五八四號
 第九八六一七號
 第九八七一九號
 第九九一〇九號
 第九九二三九號
 第九九二九二號
 第九九三二六號
 第九九六〇二號
 第九九七九二號
 第九九八一二號
 第一〇〇〇六三號
 第一〇〇〇九四號
 第一〇〇一〇四號

第一〇〇一四一號
 第一〇〇四〇六號
 第一〇〇五五二號
 第一〇〇五九四號
 第一〇〇七一八號
 第一〇〇八四七號
 第一〇一〇一四號
 第一〇一二九號
 第一〇一五三三號
 第一〇一六一一號
 第一〇一九〇五號
 第一〇二〇一一號
 第一〇二三一〇號
 第一〇二三四〇號
 第一〇二四〇五號
 第一〇二五五三號
 第一〇二六八八號
 第一〇三〇一六號
 第一〇三〇二三號
 第一〇三〇二七號
 第一〇三〇五八號
 第一〇三一三九號
 第一〇三三〇〇號
 第一〇三三一九號
 第一〇三三一五號

第二六類 煙 草

【自三九九一至三九九九號】

第一〇三三二八號
 第一〇三三三一號
 第一〇三五七八號
 第一〇三六九〇號
 第一〇三七一六號
 第一〇三八〇三號
 第一〇三八九八號
 第一〇三九二二號
 第一〇四〇一七號

第二七類 醫 藥

【自三九九一至三九九九號】

第一六九九七號
 第一七九四一號
 第二一一五八號
 第三八八五號
 第四九七三八號
 第五〇五九四號
 第六〇〇五〇號
 第七六〇三九號
 第八五八一〇號

第九四一六五號
 第九四四二八號
 第九四四四一號
 第九四五四三號
 第九四六八七號
 第九四七九五號
 第九四八二三號
 第九五〇二二號
 第九五一九四號
 第九五五八一號
 第九五五九三號
 第九五七〇五號
 第九五八三五號
 第九五八八六號
 第九五九一四號
 第九五九六四號
 第九六一五二號
 第九六七四〇號
 第九六九二七號
 第九六九五六號
 第九八二二七號
 第九八八八六號
 第九八九八四號
 第九九〇二四號
 第九九〇六二號

第九九一一五號
 第九九一七一號
 第九九二二三號
 第九九四四二號
 第九九四六三號
 第九九四八三號
 第九九九一四號
 第一〇〇三六六號
 第一〇〇四二三號
 第一〇〇五九五號
 第一〇〇六二七號
 第一〇一一三七號
 第一〇一四一〇號
 第一〇一四六四號
 第一〇一四七二號
 第一〇一四九一號
 第一〇一六三八號
 第一〇一六九二號
 第一〇一六九六號
 第一〇一八二三號
 第一〇一九九四號
 第一〇二〇六七號
 第一〇二二四三號
 第一〇二四三三號
 第一〇二六〇七號

第二六類 化 粧 料

【自四〇九一至四一二號】

第一〇二六七九號
 第一〇二七五二號
 第一〇二七六六號
 第一〇二八九六號
 第一〇二九二五號
 第一〇三〇一三號
 第一〇三九九四號
 第一〇二六七九號
 第一〇二七五二號
 第一〇二七六六號
 第一〇二八九六號
 第一〇二九二五號
 第一〇三〇一三號
 第一〇三九九四號

第二七類 防 腐 及 驅 蟲

【自四一二一至四一三號】

第一〇二五八一號
 第一〇二六一二號
 第一〇二六一三號
 第一〇二六六一號
 第一〇二七六六號
 第一〇三二一一號
 第一〇三三三三號
 第一〇三三五七號
 第一〇二五八一號
 第一〇二六一二號
 第一〇二六一三號
 第一〇二六六一號
 第一〇二七六六號
 第一〇三二一一號
 第一〇三三三三號
 第一〇三三五七號

第九四六七二號
 第九四七一〇號
 第九四八八〇號
 第九四八八一號
 第九五〇四七號
 第九五〇九五號
 第九五一七四號
 第九五二二六號
 第九五二八七號
 第九五二八八號
 第九五三〇〇號
 第九五四八五號
 第九五五三一號
 第九五五五〇號
 第九五七一〇號
 第九五七六一號
 第九五七六三號
 第九五七八五號
 第九五八五七號
 第九五九四五號
 第九六〇〇三號
 第九六〇五五號
 第九六〇九三號
 第九六三三四號
 第九六三五四號
 第九六四六七號

第九六五〇〇號
 第九六五二〇號
 第九六六四四號
 第九六六七三號
 第九六八二二號
 第九七〇〇一號
 第九七〇四二號
 第九七一三七號
 第九七一八〇號
 第九七二一七號
 第九七二八三號
 第九七四四一號
 第九七六四四號
 第九七七〇四號
 第九七七四八號
 第九七八〇八號
 第九八一七六號
 第九八五六六號
 第九八五九九號
 第九八九三六號
 第九八九八五號
 第九九〇三三號
 第九九三一一號
 第九九五二七號

第九九五二四號
 第九九五七四號
 第九九六七三號
 第九九六八七號
 第九九六九一號
 第一〇〇三二〇號
 第一〇〇四七七號
 第一〇〇七四〇號
 第一〇〇八二五號
 第一〇〇八三八號
 第一〇〇八四四號
 第一〇〇八四八號
 第一〇一五八七號
 第一〇一六一七號
 第一〇一六四六號
 第一〇一八一二號
 第一〇一八三一號
 第一〇一八三六號
 第一〇一九五一號
 第一〇二一一一號
 第一〇二二二七號
 第一〇二二三四號
 第一〇二二七號

第一〇類 及汚物處理

【自四二二頁至四二四頁】

第一〇三二九七號
 第一〇三三九九號
 第一〇三三七二號
 第一〇二五二六號
 第一〇二六〇二號
 第一〇二七七七號
 第一〇二八五七號
 第一〇二九七六號
 第一〇三三九一號
 第一〇三四九三號

第一〇類 護 膜

【自四二四頁至四三〇頁】

第七二二三五號
 第七七一四八號
 第九四一三五號
 第九四一三八號
 第九四一四五號
 第九四二四二號
 第九四四七七號
 第九四八〇三號
 第九五一一七號
 第九五一九八號
 第九五二一二號
 第九五四七九號
 第九五七九四號
 第九六一四四號
 第九六一八九號
 第九六三一九號
 第九七三三三號
 第九七四〇七號
 第九七五四二號
 第九七六一九號
 第九七九五八號
 第九八一〇九號
 第九八三三三號

第九八五八六號

第九九〇一五號

第九九〇七四號

第九九七六四號

第一〇〇一三三號

第一〇〇四二〇號

第一〇〇六一六號

第一〇〇九九四號

第一〇〇九一七號

第一〇一〇九一號

第一〇一四四六號

第一〇二二二五號

第一〇二四四一號

第一〇二六一六號

第一〇二六五三號

第一〇二八七一號

第一〇二八九七號

第一〇二九八二號

第一〇三一二六號

第一〇三三三三號

第一〇三五九五號

第一〇三六九五號

第一〇三七〇二號

第一〇三九一八號

第一〇類 可 塑 物

【自四三〇頁至四四〇頁】

第二四三八一號
 第七一九四三號
 第八二〇二一號
 第九四〇一九號
 第九四七三四號
 第九五〇四〇號
 第九五五八四號
 第九五七〇二號
 第九六二〇六號
 第九六二二三號
 第九六二四一號
 第九六二六三號
 第九六二八五號
 第九六二九八號
 第九六六五三號
 第九六七一二號
 第九七一四七號
 第九七一七九號
 第九七二四一號
 第九七五四三號
 第九七六四五號
 第九七八〇一號
 第九七八三六號

第九八〇九一號
 第九八一二五號
 第九八一二六號
 第九八二七八號
 第九八二九一號
 第九八四六四號
 第九八八三六號
 第九八七五三號
 第九九四五六號
 第九九五八一號
 第九九五九三號
 第九九六九八號
 第九九七九八號
 第九九八九〇號
 第九九八九五號
 第九九九〇五號
 第九九九七五號
 第一〇〇二五六號
 第一〇〇三二〇號
 第一〇〇三三一號
 第一〇〇三五五號
 第一〇〇五一八號
 第一〇〇七五三號
 第一〇〇七八四號
 第一〇〇七九六號

第一〇一〇〇五號
 第一〇一〇二二號
 第一〇一三三〇號
 第一〇一三六八號
 第一〇一四二七號
 第一〇一五一一號
 第一〇一六〇七號
 第一〇一六一八號
 第一〇一六九五號
 第一〇一七八二號
 第一〇一八二二號
 第一〇一八四七號
 第一〇一八八〇號
 第一〇二八八八號
 第一〇二八九八號
 第一〇二九九八號
 第一〇二〇一七號
 第一〇二二三九號
 第一〇二二九九號
 第一〇二四六〇號
 第一〇二七五三號
 第一〇二七八六號
 第一〇三〇四六號
 第一〇三二七五號

第一〇類 皮 革

【自四四二頁至四四三頁】

第一〇三二八九號
 第一〇三三一八號
 第一〇三四五二號
 第一〇三四九九號
 第一〇三五四九號
 第一〇三六五〇號
 第一〇三八〇五號
 第一〇三九六八號
 第一〇四五六〇號
 第一〇四二八〇號
 第一〇四七四八號

第一〇類 肥 料

【自四四三頁至四四八頁】

第一〇三四七六號
 第一〇三五九八號
 第一〇三七三五號
 第一〇三八五六號
 第七六二二二號
 第八一九〇一號
 第八二五八四號
 第九四〇二三號
 第九四一〇八號
 第九四一五一號
 第九四二三一號
 第九四六〇八號
 第九四六五二號
 第九五〇八八號
 第九五二四八號
 第九五二八〇號
 第九五三三四號
 第九五七五一號
 第九五八二二三號
 第九五八五一號
 第九六〇四七號
 第九六〇八四號

第九六一三五號
 第九六三一〇號
 第九六三二九號
 第九六九二六號
 第九六九六一號
 第九六九九九號
 第九七〇二六號
 第九七一七〇號
 第九七二二七號
 第九七三八八號
 第九七四七八號
 第九七五七〇號
 第九七六四七號
 第九七六九二號
 第九七八五三號
 第九八三八〇號
 第九八四三五號
 第九八六三六號
 第九九四七二號
 第一〇〇三三一號
 第一〇〇三八〇號
 第一〇〇七六六號
 第一〇〇八二〇號
 第一〇二四〇三號
 第一〇二六七四號

第二五類 木竹品處理

【自四四八頁至四五二頁】

第一〇二八四五號
 第一〇三〇四七號
 第一〇三一六三號
 第一〇三四二〇號
 第一〇三七六七號
 第一〇三九一五號
 第一〇三九五九號
 第一〇二八四五號
 第一〇三〇四七號
 第一〇三一六三號
 第一〇三四二〇號
 第一〇三七六七號
 第一〇三九一五號
 第一〇三九五九號

第二六類 化學雜工

【自四五一頁至四六三頁】

第一〇四〇七號
 第一〇四五六一號
 第一〇四六一九號
 第一〇四六七〇號
 第一〇四二七八號
 第一〇四三三八號
 第一〇四三三六號
 第一〇四二〇七號
 第一〇四二四七號
 第一〇四三五六號
 第一〇四〇〇八號
 第一〇四〇一四號
 第一〇四〇七號
 第一〇四五六一號
 第一〇四六一九號
 第一〇四六七〇號
 第一〇四二七八號
 第一〇四三三八號
 第一〇四三三六號
 第一〇四二〇七號
 第一〇四二四七號
 第一〇四三五六號
 第一〇四〇〇八號
 第一〇四〇一四號

第二八類 電氣絕緣

【自四六五頁至四六六頁】

第九四一七八號
 第九四二〇七號
 第九四三四一號
 第九四三六一號
 第九四六八五號
 第九四九四二號
 第九五〇八二號
 第九五五三〇號
 第九五八四八號
 第九五八六四號
 第九六一〇五號
 第九六一〇四號
 第九六一二七號
 第九六一四九號
 第九六一五一號
 第九六二七五號
 第九六三六六號
 第九六三七〇號
 第九六五四二號
 第九六六〇六號
 第九六六七〇號
 第九六七〇五號
 第九六七五三號
 第九六八一六號

第二九類 磁氣

【自四六六頁至四六六頁】

第九七六二〇號
 第九八八四四號

第三〇類 發電及電動

【自四六七頁至四七二頁】

第五〇八七號
 第一九二六八號
 第二八〇六七號
 第三五三九〇號
 第三九六四一號
 第九四六二一號
 第九四七七四號

第一〇〇二六一號
 第一〇〇三三〇號
 第一〇〇三四二號
 第一〇〇三五九號
 第一〇〇七四八號
 第一〇〇八五九號
 第一〇〇九七四號
 第一〇一〇四一號
 第一〇一三〇七號
 第一〇一三八六號
 第一〇一三九一號
 第一〇一四五五號
 第一〇一六八二號
 第一〇一六九〇號
 第一〇一九五〇號
 第一〇一九五三號
 第一〇一九九五號
 第一〇二二二六號
 第一〇二二九三號
 第一〇三二二六號
 第一〇三三〇一號
 第一〇三三三一號
 第一〇三三三三號
 第一〇二六〇五號

第二七類 電氣傳導

【自四六三頁至四六五頁】

第九五二二六號
 第九五二六一號
 第九五四四四號

第一〇二六三一號
 第一〇二六七一號
 第一〇二七〇一號
 第一〇二七〇八號
 第一〇二八一四號
 第一〇二八七二號
 第一〇三一五四號
 第一〇三一五六號
 第一〇三三三九號
 第一〇三三七七號
 第一〇三三三〇號
 第一〇三三八七號
 第一〇三五四一號
 第一〇三五四三號
 第一〇三六二五號
 第一〇三六六一號
 第一〇三九四九號
 第一〇三九八二號
 第一〇四七九一號
 第九五四六二號
 第九五四六九號
 第九五八六三號
 第九五九一一號
 第九六二五二號
 第九六四八九號
 第九六八四七號
 第九七一五五號
 第九八三六二號
 第九八三八四號
 第九八四二四號
 第九八四三六號
 第九八六八九號
 第九八八〇五號
 第九九一九九號
 第九九二五二號
 第九九五五六號
 第九九八六〇號
 第一〇〇五二八號
 第一〇〇一〇一八號
 第一〇〇一五八號
 第一〇一五〇四號

第九四八八七號

第九四八八七號
 第九四九六八號
 第九五二九七號
 第九五三五一號
 第九五四〇五號
 第九五五〇〇號
 第九五五〇三號
 第九五五二一號
 第九五七三六號
 第九五九八七號
 第九六〇二〇號
 第九六〇五四號
 第九六三三四號
 第九六六三二號
 第九七一五七號
 第九七一六四號
 第九七五〇八號
 第九八四一九號
 第九八七四一號
 第九八九三四號
 第九九五四五號
 第一〇〇二〇一號
 第一〇二四四二號
 第一〇二五一號

第一〇一五八七號
第一〇三一九四號
第一〇三五五〇號
第一〇三六九二號

第二〇類 電氣鐵道

【自五二六頁至五二九頁】

第九四三二二三號
第九四六一七號
第九四六二四號
第九四九二七號
第九四九九二號
第九五一八八號
第九五三一號
第九五四九九號
第九六七五四號
第九七〇三六號
第九八二二九號
第九八三三三號
第九八七五七號
第九八九六〇號
第九九五二一號
第九九七〇七號
第九九七一四號
第九九八六一號

第九九九〇七號

第一〇〇二四二號

第一〇〇三一六號

第一〇〇二七七九號

第一〇〇二七一號

第一〇〇二二一號

第一〇〇二六三七號

第一〇〇三六六二號

第一〇〇三六八五號

第二〇類 電動機應用

【自五二九頁至五三〇頁】

第九五九八四號
第九五九八五號
第九六〇二一號
第九六七六八號
第九七〇一八號
第一〇〇二三八八號
第一〇〇二六六六號
第二三九五四號
第六八九四六號
第八八九〇三號

第九四一五二號

第九四四〇五號

第九五三三四號

第九五四一四號

第九五五九六號

第九五六七二號

第九五八六二號

第九六二七八號

第九六四一三號

第九六四六二號

第九六八四〇號

第九七〇三一號

第九七一八八號

第九七三五九號

第九七三三一號

第九七五五三號

第九八八〇一號

第九八八五五號

第九九一八九號

第一〇〇一四〇號

第一〇〇四八〇號

第一〇〇四八一號

第一〇〇九六六號

第一〇二六二四號

第一〇三六七九號
第一〇三八六一號
第一〇三九一〇號

第二〇類 電氣爐

【自五三四頁至五三四頁】

第九八四七八號
第九八八六一號
第九八九七四號
第一〇三七二四號

第九九二三六號

第九九四七五號

第九九九四七號

第一〇〇五一七號

第一〇〇五九三號

第一〇〇九六一號

第一〇〇九六八號

第一〇一三九九號

第一〇一四一四號

第一〇一六六〇號

第一〇二一七二號

第一〇三三三二號

第二〇類 電氣治療

【自五三四頁至五三七頁】

第七二七〇四號
第八一四六一號
第八一五七七號
第九五〇五四號
第九五九九四號
第九六一五〇號
第九六一七七號
第九六七五五號
第九七七二九號
第九七七四四號
第九七八五九號
第九九一九七號

第二〇類 電氣雜工

【自五三七頁至五四四頁】

第八九九六五號
第九〇三〇六號
第九〇三六〇號
第九〇六五一號
第九〇七四三號
第九一五〇八號
第九一七一九號
第九二二三九號
第九二四二〇號
第九三一二九號

第九三三五五號
第九三七八〇號
第九三七二七號
第九四〇九六號
第九四一一〇號
第九四二五八號
第九四四〇二號
第九四五九三號
第九四七六四號
第九四七六六號
第九五〇〇四號
第九五一四一號
第九五二六三號
第九五六三七號
第九五八八九號
第九六〇六一號
第九六一一七號
第九六五一九號
第九七一五一號
第九七二五五號
第九七二八九號
第九七四二四號
第九七四五五號
第九七九一二號
第九八〇三五號

第九八一九〇號
第九八三二一號
第九八四一八號
第九八五二七號
第九八五四八號
第九八五七七號
第九八七七二號
第九八八〇六號
第九八八八三號
第九九〇六八號
第九九四七三號
第九九五二〇號
第九九五二八號
第九九九八一號
第一〇〇一一三號
第一〇〇一九九號
第一〇〇四〇一號
第一〇〇四〇五號
第一〇〇二二九號
第一〇一三〇五號
第一〇一四〇四號
第一〇一六八四號
第一〇二〇〇九號
第一〇二四一九號
第一〇二五七三號

第一〇二七〇四號
第一〇二七四八號
第一〇二八九三號
第一〇三三四〇號
第一〇三六七七號
第一〇四〇〇四號

帝國發明家名鑑 特許篇



吉 辰 次 棚

大阪府西區南區
三丁目一五

特許第九六九五二號 手掌大小測定機

〔内容〕本發明は上下左右四個の轉子に依り形成せらるゝ空腔に手掌を挿入することに依り該四個の轉子の内任意のものと連結せる動杆と、更に動杆に連結する摺動杆とを作動せしむべく〔なし〕摺動杆の作動はより指示針を回動せしむべく〔なしたる〕手掌の大小測定機にして、之により手掌に相當する手袋を正確且つ容易に選定せしめ得るものなり。

〔略歴〕氏は明治七年十月香川縣白鳥本町出身、同二十四年上阪してメリヤス商店に入り手袋等の製造販賣を修得し同二十七年獨立して現在に至る、夙にメリヤス、手袋製造機械の研究に専念し三十九年以來歐米を視察すること三度其の發明考案になるもの二十數件に及ぶ、現在大阪メリヤス同業組合代議員の要職にあり、昭

和五年手袋裁斷機は商工省より國産優良品として推奨せられ同七年手掌大小測定機は大阪府工業獎勵館に於て畏くも 天覽の光榮に浴す。帝國發明協會より進歩賞を受く。

松 岡 喬

東京府北豐島郡豊島町
大字東橋一ノ八六

特許第九四四〇號 眼鏡枠計測器

〔内容〕眼鏡枠製作並に既製眼鏡枠の修整を正確且つ容易ならしむ。

荒 木 初 太 郎

名古屋市南區
櫻田町五七

特許第九七八〇號 瓦斯計量器に於ける前金装置

〔内容〕貨幣投入に依る瓦斯弁の開口及之が復舊を輕捷且つ正確ならしむ。

眞 鍋 武 雄

東京市大森區
新井二ノ一六六四

特許第九八二七號 「セメント液」其他之に類する泥

状態又は「コンクリート」混合用水の計量供給器

〔内容〕器内容量を加減する爲めの「バックヤング」並に其、移動給付装置等操作に不便なる構造を要せずし

て簡易に容量の變更及所要量の取出を行ひ得べくなしたるもの。



村 上 衛 作 所
村 上 佐 助

大阪府北區花上區
三丁目二五番地

特許第五四〇二號 村上式上皿天秤

〔内容〕本品は調劑用天秤にして及び受其他天秤の要部は全部箱中に在り、針穴には蓋を有するが故に藥品に依る腐蝕及び塵の掛ること絶對になく、目盛板及び指針は斜に取付けあるが故に目盛見易く且つ指示正確なり、掃除の必要なければ一之を要する場合は後部のネジを戻すことによりて内部を簡單に開くことを得るが故に各部に亘り容易に掃除することを得、箱は金屬製防腐塗料回数塗りが故に破損等の虞なく耐久力絶大なり、又左右の扉のボタンを軽く押せば蝶番に依り扉を開くことを得るが故に調子玉の調制極めて簡單なり。

〔略歴〕本製作所は創業以來四十有餘年の古き歴史を有し且つ明治三十九年時の農商務大臣より衡器製作を認可せられ之が製作開始以來斯業に盡瘁し、優良器物の製作研究に意を致し數多の特許權を得て現在の盛業を見るに至りしものなり。

高德 忠 夫

神戸市下山手通七ノ四

特許第九八二二八號 自動秤

〔内容〕主副兩指針の運動角度及目盛板の面積を縮減せしめ秤量を一目容易に検し得る。

福田 荒 太郎

大阪市此花區
西島町五六七

特許第一〇三三二五號 「タイム・レコーダー」に於ける「カード」の印刷位置を變更する装置

〔内容〕一晝夜を經過する毎に「カード」の抑止片を自動的に移動せしめて印刷位置を順次に變更せしむる特徴装置。

井 上 邦 利

兵庫縣明石郡垂水町
山田五井出河原七二九

特許第一〇二九三號 自動的時計振捲装置

〔内容〕容器内に充填せる膨脹係數大にして壓縮率小なる資料の温度の變化により膨脹或は縮小する作用を鋭敏確實に時計機構に傳達せしめたる装置。

石 原 進 三

大阪市東區
南久寶寺町四ノ七七

特許第九六一五四號 時計

〔内容〕周壁面を十二等分したる時間目盛回轉盤を附し更にそれを六十等分して分目盛を附し右二針が特殊「カム」の裝置により同一の等速運動を起し正確なる表示をなす。

中 村 壽 市

東京市品川區
大井原町五三五一

特許第一〇二九四七號 測距離儀

〔内容〕簡單なる裝置を用ひ物體を觀測しながら直に距離を測定し得る特殊測距儀。

妹 尾 計 一

廣濟市保土ヶ谷區
保土ヶ谷町二六五

特許第九五三八六號 有機物の含有水分率を決定する方法

〔内容〕短時間に經濟的に有機物の含有水分率を決定する方法。



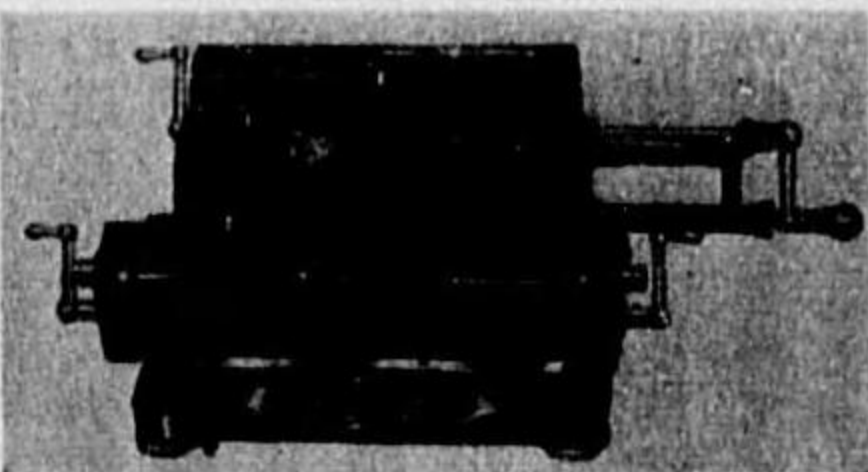
社會式株式器算計一ガイテ

大 本 寅 治 郎
南中野區川淀東市阪大
地番〇一目丁二

特許第七三五六一號 タイガー計算器

〔内容〕基本型は無噪音機構、表示輪の歸零裝置、桁送り裝置とを具備する特徴とす。

特裝型は基本型の有する特徴のすべてを備へ尙其上に現示裝置(レバーエツク)並に商表數輪の十進裝置を具備する二大特徴を有す。連乘式特裝型は基本型及び特裝型の有する特徴の外連續乘算裝置を具備する特徴とす。〔略歴〕氏は明治二十年廣島縣の出身、岡山紡



績株式會社鐵工部に見習工となり、備前紡績株式會社鐵工部、神戸湊川上鐵工所、大阪府下稻畑染工場鐵工部、同府下毛斯輪紡績株式會社鐵工部、大阪砲兵工廠火砲第一工場等に勤務し同三十八年當時府下西成郡豐崎村本庄に於て共同經營にて鐵工業を創設す。大正

元年前記鐵工業を合意解散し當時府下西成郡豐崎村南濱に個人經營にて鐵工業を創始し諸機械の製作販賣に従事す、同六年市内北區富田町に工場を増設し南濱工場と共に二個所を經營す、同八年海老江に工場を新設し前記二工場を移管統轄す、昭和十年現所に移轉工場を新設して内容を完備し同十一年四月盛大なる新築落成式を舉げ新興工業界に一大偉觀をなす、其間諸工場に在職中岡山市大工町高知梅熟夜間部普通科を卒業し、山田千倉氏に就き機械學を、又大阪私立關西商工學校夜間部機械科を卒業す。大正八年偶々世界大戰後の好況に乘り計算器の逐次輸入さるゝに至りしが形狀尨大、取扱及び使用方法複雑且つ高價等によりて或る少數の需要家の外殆ど其存在を顧みられず、計算事務は依然として舊態を脱することを得ざる状態なるに鑑み決然多年の業務を職長に一任し一意専心本計算器の發明考案に着手するに至れるなり大正九年本研究に着手後約一ヶ年にして愈々本考案を纏め各工員を督勵し本器の製作に着手、

しても總ゆる試験に於て非常なる好成绩を挙げ得たり。〔略歴〕氏は明治二十二年の出生、廣島縣立工業學校、東京電機學校を卒業し、逕信省燈臺局沖電氣會社、東京計器製作所、東京瓦斯電氣工業會社、日本光機工業會社等に勤務中已に特許四件、新案數件を得、大正十四年獨立して回轉計の研究を完成して前記の特許を得、昭和三年海軍省指定工場となり、爾來各軍部諸會社に納入し年生産二千五百個を算す。



倉 本 憲 一
町上池上區森大市京東
地番九十六百九

特許第七五九六四號 回轉計制動機構

〔内容〕本機構を回轉速度計測を目的とする回轉計に施せば内機を非常に精巧微妙に工作を施すことを得るのみならず強大なる外力より傳へらるゝ回轉力は之を損傷せしむるの憂なく、計測の精度は頗る高く又回轉の急變による惰性は非常に減殺せられ事實上に近き變化を指示し、耐久力に富む、艦船用原動機及補機、水火力原動機、航空機原動機、各回轉機に裝備し又は携帶式として夫等の回轉速度を計測し、コンペヤール類のベロネット計測用其他電機類等に用途を有す、從來可撓軸傳導回轉計は其精度殆んど實用價值に乏しく、而かも本發明により何等の不安なきに至り、近來可撓軸裝備による計測頗る増加したるは注目し價するものあり、航空機用と

山 根 源 三

東京市豊島區駒込
六丁目八四七

特許第一〇〇三四三號 回轉計の指針振動防止裝置

〔内容〕特殊裝置に依り主軸の回轉の變化に依る指針の不規則なる振動を防止し指針の指度を正確にし認識し易からしむる装置。

永 田 兼 雄

東京市淺草區
松葉町一二二

特許第九九四八六號 風速計

〔内容〕特殊裝置に依り單位時間に於ける風速を計算することなく迅速且簡便に表示せしむべき風速計。

尙二ヶ年を費し試作品の製作了したるもテストの結果は違算を生じ完全に計算器の用をなさず、茲に於て一層勇猛心を奮ひ是が缺點の發見に努力し殆ど寢食を忘れ熱心研究の結果同十二年二月所期製品を完成することを得て虎印計算器と命名して其眞價を市場に問ふ事となり、當時輸入品は新規考案又は改良を加へたるもの等多く初期六ヶ月間の本器販賣數僅々二十臺に過ぎざるの状態なるを以て更に本器の研究を痛感し、販賣を京都塚口商店に依囑し一方機械の研究と改良とに努力し同十三年二月小型改良器を完成することを得てタイガー計算器と改稱したり。同十四年大阪市に販賣店を設け塚口商店販賣部に販賣方を一任し同時に従來の商號大本鐵工所をタイガー計算器製作所と改稱し新販賣所をタイガー計算器製作所大阪營業部と命名したり時恰も關東大震災の火急を要する復興に供ひ各種事業相起り事務能率増進の爲め外國計算器も亦復興用品として關稅免除の特典を利し多大なる輸入を見るに至り之に對抗上關東方面への進出を企圖し東京に營業所を新設し一意販路の開拓に邁進したり、然るに昭和三年九月日本計算器株式會社の設立せらるゝや氏は同志の難反に非常なる打撃を蒙り一時製造を中止するの止むなき状態となりしが奮然起ちて更生の一路に邁進し再び工場設備を充實し工場敷地内に本店並に營業所を、東京市日本橋區に支店を設置し仙臺及び福岡に出張店を開設して新陣容を整へ薄利多賣主義を實行に移し、一年ならずして京城大連に出張所を開設し電動式全自動計

長山敬

東京市品川区
南品川五ノ二七四

特許第一〇三二二號 速度計

〔内容〕法線加速度の大きさを角速度の大きさにて割算する機構を設けて切線速度を求め之を「ダイヤル」上に指針によりて表示する速度計。

山縣昌夫

東京府荏原郡目黒町
上目黒馬場九二五

特許第九八三三三號 圓盤形「ピトー」管

〔内容〕「ピトー」管の軸に對する流體流の正確なる速度の測定を可能ならしめ特に水流の速度を測定する場合水面波に基因する静壓の變化に據る測定誤差を除くせん。

佐々木達次郎

東京府荏原郡
世田ヶ谷町經堂四六六

特許第九五三八號 氣體密度に關係なく氣體の速度を示す風速計

〔内容〕動壓を受くる部材と氣壓を受くる部材とを直接に係合せしめ理論上全く誤差を含まずして氣體密度に關係なく風速の正確なる指示を得る装置。

砂山角野

東京府荏原郡
目黒町上目黒五八六

特許第九八三六九號 航空機等の速度測定装置

〔内容〕地上或は船上より航空機等の速度を容易精確に測定し得る装置。



八馬爲吉
東京市西目黒区
北町三十五丁目
通地番

特許第一〇九六七三號 計數器自動裝置

〔内容〕本發明は上下を一條の導管に連通せしめたる二條若しくは二條以上の縱溝の途中に被計數物體取扱部より可動せらるる瓣を設けて導管並に縱溝に充填せる金屬球を一個宛導管の下端に向つて落下せしめ得べくし、且つ落下球をして計數器を可動すべき逆戻止片を押しせしむる如くなしたる装置に於て、各縱溝と導管との上端を一條の傾斜溝を介して連通せしめ各溝を傾斜溝に並行する如く配置せしめて縱溝の傾斜溝と瓣との間の間隔を均等にし、又傾斜溝内に金屬球を揺動せしむる振動板を設けたる計數器自動裝置にして、金屬球の運動は圓滑に且つ確實にして同時に被計數物體が各取扱器に作用する場合と雖も其計數作用に支障を來すこと無く數量を正確に表示し得るものなり。

秋山收

堺市出島町三四六

特許第九七二九九號 自動車に於ける客の乗走回数計

〔内容〕乗客の變更する毎に新なる曲線を記録紙に刻設して乗客回数を表示すべくしたる装置。

森田年一

岡山縣後月郡
井原町三三〇五

特許九五七〇號 選舉計數器

〔内容〕蓋付箱内に廻轉胴體を設け其表面に立候補者名記載欄を形成し兩端交互位置に計數器を備へ該計數器を自動せしめて選舉點數を即時に表現せしむ。

高橋壽太郎

東京府中野區沼袋
南一丁目一五六一

特許第一〇〇七三三號 貨幣區分計數機

〔内容〕硬貨幣を一時に漏斗内に投入して特殊線り出し廻轉板等の作用により微細の動力を以て簡易正確且つ迅速に計數及區分計數をなす装置。

會我經治郎

東京市品川区南品川
二丁目四三三

特許第九九一〇八號 貨幣定數整理器

〔内容〕整理器上に並列したる貨幣が新古混合なりと雖も必ず一定數より並列せざらしめ超過の貨幣は直に發見除去することを得せしめ且貨幣を整理器上に並列せるまま無端「バンド」にて結束し或は貨幣列の兩端を撮り取り出し得る器。

柳直勝

東京府荏原郡目黒町
大字下目黒五四八

特許第九七六五五號 溫度計

〔内容〕測らんとする物體の溫度が大氣中の溫度と或一定差を來す毎に之を電鈴等により警報せしむべくしたり。



岡本元吉
大阪府大阪市此花区
茶番町十

特許第一八九七〇七號 濕度計

〔内容〕從來我國に於て一般養蠶家の使用する氣化熱による寒暖計式の濕度計は構造複雑にして高價なるのみならず溫度低き場所には其作用甚だ緩慢にして到底正確に溫度の大小を知悉すること不可能なる缺點あり、之に對し毛髮式濕度計を使用するときは右の缺點は除去し得れども在來の此種毛髮式濕度計に於ける毛髮の取付不完全なるを以て却つて故障多く之が爲め一般に利用せられざるものとす、本器は前記在來の毛髮式濕度計に於ける毛髮の取付を極めて強固ならしめ以て其切斷による故障を防止すると同時に之が作用を確實ならしめ得べくしたる特徴を有す、即ち本濕度計は毛髮の兩端を適宜の金具に連絡せしめて其一方の金具を器壁の一部に連らしめ他方の金具を指針軸に聯動し得る如く連結したる構造にして、然もこの簡單なる構造によりて毛髮の兩端を金具に對し結目なくして而も強固に連結せしめ、之が爲め作用正確にして毛髮の切斷による破損を防止せしめたるものなり。

〔略歴〕氏は明治十七年兵庫縣の出身、大正八

年日本計量器製作所を創立し優良國産品の製作に努力して現在に至る。

特許第七六九三三號 偏光彈性試驗用比較應力計

〔内容〕光彈性實驗は平板彈性體が外力を受けたる場合に内部に起る内力分布状態を偏光を利用して色に顯はし測定する方法にして、本發明は石實驗に使用すべき装置の一なり、即ち任意の應力を受けたる試験片を重ね合はせて所要の應力を測定すべき比較應力計を改良し、比較試験片に一樣なる曲げモーメントを加へ之を試験中變化せしむることなく壓縮應力又は抗張應力の何れをも測定するを得べくし且つ彈性的及光學的餘影響の補正を爲し得べからしめたる光彈性寫眞方法なり。

〔略歴〕氏は大正十二年東京帝國大學工學部船舶機關科卒業、直に理化學研究所に入り現にその研究員たり、昭和五年工學博士の學位を受け白耳義の工業科學萬國博覽會、ストックホルムの萬國應用力學學會に理研代表として出席し、約一ヶ年歐米を視察して歸朝す、昭和七年七月白耳義皇帝より同國學會に貢獻せる故を以て、シュペリエド・ロルド・ラ・クロン勳章を贈與せらる。

尚氏は有機化合物フエノライトが光彈性研究に頗る適せる事實を發見し、光學的感度は硝子



石井茂吉
東京市東區
子目丁一五
森澤允雄
大阪府大阪市東區
速浪町七丁目
四六

特許第六四四三三號 寫眞植字機

〔内容〕本發明は機臺上に前後左右に移動し得る黒地に透明に文字を現はしたる文字盤上の下方に裝置されたる電燈によりて照明し之を十

個の擴大度を異にするレンズによりて活字の號數に相應する大きさに擴大又は縮小して暗室内のフィルムに影寫する様なし、押鍵を叩きて前記フィルム上に影寫による植字をなし之を現像して文字陰板を作る、之より印刷に至る行程は従来の寫眞應用製版と同様にオフセット印刷、凸版印刷、グラビヤ印刷等に應用し得るものなり。従来の活版印刷法によつては印刷内容の字數及各種の大きさの活字を必要とするものなれども、本發明的に於ては字母は只一個にして十程の大きさに變化し得べく、又反覆使用し得るものなるが故に「同字の頻發」は何等差支なき偉大なる特徴を有するものなり。

〔略歴〕石井氏は明治四十五年東京帝國大學工科機械工學科卒業、株式會社神戸製鋼所、星製藥株式會社等に入社し大正十三年辭して寫眞植字機の發明研究及製作に従事して現在に至る、帝國發明協會より進歩賞を受領す。

森澤氏は星製藥株式會社奉職、退社後石井氏と共に本發明研究及製作に従事せらる。

龜井勝次郎

兵庫縣武庫郡大社村森
長字宮ノ上三九六ノ二

特許第一〇〇一五三號 一露出天然色寫眞攝影裝置
〔内容〕硝子板又は之れに類似の透明板の片面に眼鏡面と透明部とを有し他の一方の面に光の二重反射を防止すべき不透明部を有する反射鏡を装置したる天然色寫眞攝影裝置。

依田庄司

東京府荏原郡
大井町五四三五

特許第九七五三八號 大型寫眞機に於ける「ロールフィルム」の一定量送進裝置
〔内容〕「カム」機構を有する大型寫眞機に於いて一定の送進操作に依り「フィルム」を確實に一定量宛送進せしめ畫像の間隔を均一ならしむべき裝置。

安川寛

東京市澁谷區
櫻田一丁目四

特許第九四七四號 圓筒表面の展開攝影裝置
〔内容〕特殊裝置により寫眞機械或は圓筒を動かすことなくして圓筒の全表面を一時に撮影する裝置。

五代正友

東京市小石川區
竹早町九

特許第九八三六八號 自動航空寫眞機
〔内容〕照準眼鏡内に重疊撮影指針帶を設け「クラッチ」により「シャッター」の作働と「フィルム」送進機構の作働との係合を時限的に解放し重疊撮影を自動的に確實ならしむる裝置。

手島吉治

東京府豊多摩郡淀橋町
角番三二一、六櫻社方

特許第九七六一號 連続式銃型寫眞機に於ける生「フィルム」引出裝置
〔内容〕引金と關聯し誘導「フィルム」が出發りて生

「フィルム」が引き出される時期に至り自動的に「フィルム」の誘送を停止し確實に生「フィルム」の始めより撮影を行ひ得べき簡便なる裝置。

三田新一

東京府北多摩郡谷保村
谷保七〇七九

特許第一〇一一二五號 撮影裝置
〔内容〕隧道狀空室の前面に透明硝子板と鏡とを相前後して設置し鏡に向つて被撮影者の所望の姿勢をとらしめたる後鏡を取除き該空室内の寫眞機により其姿勢の儘撮影する裝置。

毛利廣雄

東京府豊多摩郡杉並町
阿佐ヶ谷五二〇

特許第九七六四〇號 連続式射擊鑿査用銃型寫眞機
〔内容〕標的撮影と同時に同一「フィルム」の一駒内に時計針と文字盤との關係を大きく撮影し時刻の記録を明確ならしむる裝置。

谷口俊一

東京市目黒區
駒場町八五六

特許第九八一四二號 携帯用暗函垂直傾斜攝影裝置
〔内容〕學術用標本の撮影又は復寫に際し垂直若しくは傾斜撮影を要する場合普通の携帯用寫眞暗函を用ひて隨時に撮影し得る裝置。

松田保久

東京府荏原郡大橋町
上大橋六一八

特許第九五九四四號 寫眞用「シャッター」
〔内容〕遮光膜の捲揚作働と露出作働の調節を一個の摘子輪にて兩作働を行ふ裝置。



雄 秀 田 坂

兵庫縣東灘區
兵部町六十九番

特許第一〇五七〇〇號 二枚羽根寫眞機用シャッターに於けるツッターに於ける作動裝置
〔内容〕二枚羽根寫眞機用シャッターに於ける作動裝置は筐外爪片の作用に關聯せるレバー及之に彈裝せる發條の彈壓作用とに依りシャッター羽根の開閉作用をなさしめ且つ擺動盤の擺動により遊動齒輪の具ふる突片を適當位置に轉ぜしめ、レバーの先端が之に鉤止さるゝかされざるかの中間微差によりタイムより三分の一秒時に至る任意の秒時に於て完全に開閉する様にしたるものにして、寫眞の撮影に際し光線の強弱度合により擺動盤上に目盛せる種々の秒時に調節し之を如何なる秒時に於ても二枚のシャッター

ター羽根にて完全に開閉せしめ、而も之が作用を單なる擺動片のみにて目的を遂行せしめ任意開閉ならしむるものなり。

〔略歴〕氏は明治三十八年和歌山市の出身、和歌山中學を経て慶應義塾大學法學部を卒業す、夙に寫眞に興味を有し寫眞機械製造及輸出入業モルタ合資會社に入社し現在同社支配人兼工場長たり、然も近時業界は優良國産品の出現を待望すること切にして既に幾百の國産優秀品の出現を見るに至りしが獨り寫眞機械製作のみは甚だ幼稚にして極少數の工業化せるものと雖も未だ外國品の優秀なるに及ばざるの憾あり、故に市場は殆ど外國品を以て滿され外國品なるが故に優秀なりの觀念を去らず、また當然の事なりき、氏は深く之を遺憾としレンズ或は附屬品等に關し研究考案をなし特許を得たるもの數件あり、尙目下特許出願中に係るもの多々あるも就中活動寫眞機に關する發明は氏の最も苦心のものなりと、然もミノルカメラは其機構の新規なる將た能率の優秀なるは未だ嘗て外國品に見ざる所なり。

笠松勝次郎

東京市品川區五反田
六ノ一九八

特許第九八八七號 寫眞撮持機
〔内容〕連續的寫眞撮影に當り機内の抽挿底部彈機により乾板挿替への煩を除き連續撮影を爲し得る機構。

村尾作一

高根郡那賀郡安城村
大字橋木五六〇

特許第九四八二七號 乾板包裝箱
〔内容〕白光下に於て包装の儘にて暗室を要せず且つ手觸なくして原板を得可き裝置。

濱田初次郎

東京府南葛飾郡龜戶町
一丁目九八

特許第九四二二八號 自動寫眞機付製版機
〔内容〕硝子蓋板と之れに對する押壓保護板との間の空氣を排除して原板と版板との密着を計りたる排氣式機付製版機にして電力によりて行程を自動式たらしめたる裝置。

八木信護

東京府北多摩郡
調布町一二一六

特許第九七九八號 活動寫眞印畫裝置
〔内容〕活動寫眞攝影機により撮影したる二連乃至數連の陰畫「フィルム」を一回の印畫操作によりて一連の陽畫「フィルム」焼付を得る裝置にして立體、天然色、三色天然色立體等の活動寫眞映畫用陽畫「フィルム」の作製を簡易迅速ならしむ。

杉本二郎

横濱市神奈川區
新子安町二九七四

特許第九六五八四號 寫眞機付用「タイムメーター」
〔内容〕多數の焼付を爲すに際し時計機構を以て電機線を利用し焼付時間の一定を圖り且つその長短を微細に調整し得べき裝置。

羽田次郎

東京市世田谷区
經堂町二二六

特許第一〇三二四八號 寫眞攝影用閃光電球

〔内容〕閃光用金屬粉末を綿狀の組織維其他緩徐に燃焼すべき性質を有する動物纖維に附着せしめて酸素瓦斯又は酸素を發生すべき物質と共に透光性の球殻内に封入したる寫眞攝影用閃光電球

菊地東陽

東京府豊多摩郡落合町
大字下落合六六〇

特許第九七七〇二號 寫眞攝影用閃光電球

〔内容〕電球内點火装置の發火範圍内に「マグネシウム」又は酸化性物質よりなれる金屬粉を均等に散布附着せしめたる硝子綿を装置せし事を特徴とす

森本治

神戸市葦合區
熊内橋通六ノ七

特許第九六五九三號 人物寫眞攝影装置

〔内容〕閃光器を使用して人物攝影の際閃光を直接被寫物に當らざらしむる爲め反射板を利用するものにして特殊装置による二枚の反射板を使用する装置

石動弘

東京市浦野川區
上中里町六二

特許第一〇三七二七號 「フィルム」自動現像装置

〔内容〕「リーダーフィルム」の長さを著しく短縮し又現像時間を豫め試験現像に依り定むるを要せずして直に現像を開始し簡單なる操作に依り現像時間の調節自在なる自動現像装置

花島新太郎

東京市下谷區
山伏町三三

特許第一〇二九四〇號 「フィルム」現像器

〔内容〕現像器内に於て「フィルム」と遮光紙とを分離し「フィルム」を自動的に「フィルム」收容室に一定間隙を保ちて收容せしめ現像液の浸透を良からしめ且現像面に介在物等の接觸に因る損傷等をなからしむる現像器

戸澤喜一

東京府荏原郡大井町
字原五一八八

特許第九六四〇八號 「フィルム」現像器

〔内容〕密閉筒内に於て「フィルム」と遮光紙とを分離して「フィルム」のみを筒内に停め之を間隙形成用介在板と共に捲取棒に捲き取ることに依り液の浸透を容易ならしむる構造

川口政一

東京府北多摩郡千歳村
下祖師ヶ谷四四八

特許第一〇四〇九號 畫像「フィルム」片面着色用槽

〔内容〕長尺なる天然色用両面畫像「フィルム」を片面づつ所要の原色に着色し而も裝作中染液が「フィルム」の側縁より他面へ溢流する虞なく容易に均整なる着色をなし得る機械装置

山崎每平

東京市中野區
小瀧町一〇

特許第一〇三二四一號 複合「レンズ」系の寫眞鏡玉

〔内容〕適當なる屈折率並に曲率を有する「レンズ」系に適當に「クルックス」A硝子を装着するを特徴とする寫眞に殆んど影響を生ぜしめずして而も「ハレーション」を十分に防止し得る寫眞鏡玉

山崎光七

東京市淀橋區
柏木二丁目二三七

特許第一〇二四〇六號 寫眞用「レンズ」

〔内容〕前方凸面「レンズ」の表面全體に密接して薄き「クルックスガラス」を接合したるを特徴とする装置

二宮錠治

東京市杉並區高圓寺
四丁目六一三

特許第九九一八〇號 太陽光線反射装置

〔内容〕傳動軸の一端を時計の聯動機構に連繋し其の他端を反射鏡に概着し時刻の経過に従ひ反射鏡を移動せしめて常に同一點に太陽光線を反射せしむる装置

中島豊槌

岸和田市並松町二八

特許第一〇三二四〇號 直視分光器用「プリズム」

〔内容〕複光色を太陽光D線に三百六十度の偏倚を與へ恰も偏倚無き如くして簡單に分散せしむる直視分光器用「プリズム」

安井雅美

東京市本郷區西片町
十番地ロノ三

特許第九六四〇九號 映寫立體映寫装置

〔内容〕撮影機「レンズ」を人體の兩眼に相當の間隔に置き同一物を撮影せる二條の映寫を時間的に左右交互に映寫し映像を立體的に見する装置

安藤盛一

長岡市旭町一四九〇
永谷方

特許第九六五九九號 實體活動寫眞用視器

〔内容〕左右の「レンズ」より撮影したる像を交互に一列に配置したる「フィルム」により映寫したる畫像を立體的に觀覽せしむる機構



博士 工學 原 太 郎
東京市本郷區
本町一丁目一〇

特許第七七八八號 高速度活動寫眞裝置

〔内容〕本發明は特別高速度活動寫眞攝影裝置に於て特に迅速に變化しつゝある現象又は移動物、例へば空氣の高速度流動、空氣中に於ける音波の運動又は銃彈の運動等を容易且つ明瞭に撮影するため毎秒數千萬回の撮影をなし得る様考案したるものなり。從來の所謂高速度活動寫眞攝影機に於ては毎秒二百乃至三百回の撮影程度

細野精一

東京府豊多摩郡代々木
町大字豊ヶ谷八四七

特許第九九七四二號 顯微鏡載物機の改良

〔内容〕顯微鏡の光軸と載物機の中心とを一致せしむる爲の正確にして取扱容易なる特殊装置

二宮清太郎

東京府荏原郡御油町
御文谷一二一八

特許第九四五八一號 展望鏡の廻轉機構に於ける不要光線遮蔽装置

〔内容〕不要光線遮蔽装置にして廻轉鏡の廻轉に應じて所要方向以外の方向より射入する光線を遮蔽し所要影像の鮮明を得る装置

森基一

東京市麹町區
三番町四四

特許第一〇〇四四二號 望遠鏡類に於ける十字線或は目盛線等の觀取を容易ならしむる装置

〔内容〕十字線或は目盛線を鏡細線を以て形成せしめ之を照射すべく觀測側に光源を設けたる晝間は勿論夜間使用の際にも容易に觀取し得る装置

砂山角野

東京府荏原郡日原町
上目黒五八六

特許第九七八九號 望遠鏡類の焦點照明装置

〔内容〕夜間使用の望遠鏡類に於ける焦點照明装置にして焦點鏡の端面より照明すべく夜光劑を設け且つ外

谷和文平

堺市村木町五

特許第九五一五二號 天然色活動寫眞攝影機

〔内容〕一つの「レンズ」より入り来る光線を特殊構造の廻轉盤の作用により二分し赤緑の兩像を各二本の「フィルム」上に結ばしめ撮影するものにして特殊の焼付装置を要せず二色彩の調和せる畫像を得る装置

森澤信夫

明石市細工町一

特許第九七八七號 映寫裝置

〔内容〕映寫に當り一定時期「フィルム」を送り而して之を止めて映寫し、この間は「フィルム」の動く事なからしめ更に順次の行程に進ましむる装置

福田眞藏

大阪市浪速區櫻川町
一丁目七十一番地

特許第三四〇九七號 自動回轉幻燈機

〔内容〕本機は回轉軸の上端に頭鑽を嵌設し之に長錐及び短錐を設け此れが頭鑽の回轉によりて臺版上に設けたる送版及び第一第二第三「カム」を順次に移動せしむることにより送版は幻燈繪畫枠を有する圓版を其送版によりて回轉せしめ且つ各「カム」は送版及び送錐をして圓版を順次送版回轉せしむるに支障なからしむる状態に復歸せしめ簡單なる機構により自動的に幻燈影寫を順次變換せしめたるものなり

を普通とし特別のレンズ又はプリズムに依り漸く毎秒三、四千回まで撮影し得るに過ぎず、尙又特殊の電氣振動によるスパークを光源として毎秒約一萬回以上の撮影をなし得と稱するものあれども、高速度を以てスパークを頻發せしむるには種々の複雑なる装置を要するに拘らず、光源として甚微弱且つ不精確なるを免れず、然るに本發明に於てはレンズを透過したる映像を被頭凸多角錐形又は柱形若しくは兩者の結合より成る反射鏡に當て、該反射映像を反射鏡と同一速度を以て進行しつゝあるフィルムに結ばせて順次に各一個宛の像を現出せしむるものなるが故に全然シャッターを使用する必要なく構造簡單にして而かも明瞭なる寫眞を撮影することを得るものなり。撮影速度は前記反射鏡の廻轉速度と其の反射面との相乗積に等しきが故に容易に毎秒數十萬回の撮影數を得べし。

〔略歴〕氏は明治四十三年東京帝國大學工科學科卒業、大正七年同大學助教、同年八月歐米各國に出張、同八年工學博士の學位を受け同大學教授となる、同十年航空研究所長に補せられ同十二年學術研究會員被仰付、同十五年國際航空會議帝國委員として歐洲に出張せらる、帝國發明協會より進歩賞を受領す。

杉村 良介
東京府豊多摩郡
高井町大宮三三七

特許第九七一九號 明靜活動寫眞映寫裝置の改良
〔内容〕映寫面上に於ける各像の變更代位に於て從來

の可能最高平均光度の約二倍の光度を得るものにして間歇移送裝置の新機能と標準回轉速度以下の映寫も明靜に映寫し得る使用の合體により便益なる映寫裝置を得る改良。

山田 廣
東京市麻布區
笹塚町六七

特許第一〇一九三號 發聲活動寫眞に於ける再生音に實感感を附與する裝置
〔内容〕再生音を大體映寫面に於ける音源個所に相當して一對の音響放出裝置より生ぜしめ且綜合することにより再生音に對し實感感殊に左右感を附與する裝置。

石田 榮
岐阜市殿町四丁目一四
日高只一方

特許第九九六五七號 活動寫眞映寫機
〔内容〕「フィルム」の切斷又は映寫終了により或は映寫中第三回路の第三閉閉器を開くことにより自動的に第一第二回路を開きて映寫操作を停止せしむる裝置。

小野 勘次郎
東京府北豐島郡
西巢鴨町二四六九

特許第九六三一號 映寫裝置
〔内容〕機臺の上方に設けたる二個の「フィルム」收容函の特別裝置により「フィルム」折斷若しくは終端と雖も映寫を中止せず、下方折斷による引火を防止し絶えず映寫孔に「フィルム」を進出せしめ得る裝置。

武井 孝祐
東京市城東區
大島町三ノ四二一

特許第九八六一五號 活動寫眞映寫裝置
〔内容〕固定溝枠内に「フィルム」働作用の爪を支持する板を綫裝し之に付隨する各種裝置によりて「フィルム」の回動と爪の掛合を同時に動作せしめざること特徴とする裝置。

丹野 茂
東京府南足立郡千住町
壽町四三、住吉成泉方

特許第九四八二四號 活動寫眞映寫機自動防火裝置
〔内容〕「フィルム」の切斷且つ進行中の媒介物に依る着火又は「フィルム」の異狀進行及電源の着火等に際し上下「フィルム」ボックスを密閉遮斷し光源消滅を完全ならしむる裝置。

山口 清次
名古屋市中區
門前町四丁目八三

特許第九七七二〇號 活動寫眞「フィルム」給送機構
〔内容〕各別の軸上に廻轉する二個の廻轉體に偏心軸を設け兩偏心軸の特殊作用による「フィルム」の給送機構。

山下 良
東京府豊多摩郡代々木
町大字神代谷八四五

特許第九六一八六號 活動寫眞器に於ける「フィルム」捲返不要捲棒
〔内容〕全く取り離し得る二部分の捲棒より成り一部は「フィルム」の捲取棒として他は「フィルム」の送出口として作用し得る裝置。

山中 直次郎
東京市淀橋區下落合町
二ノ一七一

特許第九九九九號 蓄音器
〔内容〕函型蓄音器に於て底面下に折疊自在の兩側壁板及後壁板を組み立て下部に比較的大なる開口を有する喇叭型擴音器を形成し雜音なき清澄なる發音を可能ならしむる機構。

西田 助次郎
大阪府東淀川區
今里町三八

特許第九四二四號 蓄音器に於ける自動廻轉停止裝置
〔内容〕演奏に際し始動せしめ或は停止せしむる手段を自動的に省くと同時に動力を最も有効に使用せしむる裝置。

笠木 了一
大阪府西成區
松通二ノ一

特許第九六三〇〇號 蓄音器の自動停止裝置
〔内容〕音譜線終末の急勾配過巻線の位置如何に拘はらず常に完全に動作する裝置。

辻井 文
東京府豊多摩郡中野町
字上ノ原一八

特許第九六一三三號 蓄音器自動停止裝置

藤岡 武男
東京市芝區
片門前一丁目一

特許第一〇三七四一號 「カード」式連續映寫活動寫眞機
〔内容〕多數の映寫「カード」を順次一枚宛確實に映寫位置に進出せしめ映寫後再び「カード」を同一順序の揃整状態に復し得せしめ映寫の挿替、轉換自在にして同時に必ず一枚宛の映寫を連續的行ひ得べき裝置。

五代 正友
東京市小石川區
竹早町九九

特許第一〇三〇六六號 活動寫眞攝影機
〔内容〕特殊「ドラム」型廻轉「シャッター」の内部に裝脱自在なる「フィルム」匣を装入し「フィルム」取替操作を容易迅速ならしむる裝置。

眞木 一義
姫路市山手井一五ノ六
長廣武雄方

特許第一〇〇八三五號 映寫連續機
〔内容〕一定の軌道上に映寫機を二個並列し之を左右に移動すべくし垂飯の前面中央に「レンズ」一個を設備し該飯を映寫機と離して定着し而して一個の「レンズ」に二個の映寫機を交互に向はしむる裝置。

關口 俊次
東京市目黒區下目黒町
三丁目六〇九

特許第一〇〇七二九號 活動寫眞裝置
〔内容〕兩側或は各畫面間に繰送り用通路を有せざる「フィルム」等の映寫帶を使用して其間歇的運行に連

して研磨し兩面に同心圓狀の凹凸環を形成せしめたる強靱なる振動板。

〔内容〕「レコード」の終端に達すれば自動的に廻轉盤を停止する装置。

辻 村 敬 信

東京市世田ヶ谷区
上馬町一ノ五六番地

特許第一〇〇四七二號 蓄音器自動停止装置

〔内容〕蓄音器の發音針と同時に音響盤音溝に誘導せらる可き副針を備へ運動を利用して電磁氣應用回轉盤制動器を動作せしむ可く回路を開閉ならしめ自動的に回轉盤を停止す装置。

日 高 得 二

東京市豊多摩郡大久保
町大字西大久保一三七
田 中 光 三 方

特許第九八五四一號 蓄音器發音針自動引揚及停止装置

〔内容〕廻轉板に取付けたる小齒車と「トニアム」に取付けたる棒状齒との齧合によりて爲されたる運動の變化の誘導により引揚及び停止を行ひ針の取替を便にし各種の激動を避除する装置。

廣 江 碧

東京市豊多摩郡長崎町
大和田二一三四

特許第九七四八號 蓄音機の自動停止機

〔内容〕種々なる型式の蓄音機に取付容易にして新舊の「レコード」演奏終了後或は音溝不良、針先の磨滅若しくは振動による針先の運動に變化ありたる場合直に自動停止をなす装置。

林 田 勝 一

東京市北豊島郡西里町
町大字里町七四六

特許第九六七三九號 蓄音器自動反復演奏装置

〔内容〕電氣的捕音器又は發音針の支持腕杆を演奏終了位置に於て昂上せしめ更に開始位置に持來し音針端を音響盤に降下せしめて演奏再開せしむる装置。

野 崎 音 治 郎

大阪市南區瓦屋町
四番丁五十二番地

特許第一〇〇七四號 蓄音器用發聲管自動復歸装置

〔内容〕蓄音器の發聲管に固着せる腕杆の一端を固定の接觸板に接觸せしむべく配置し「カム」車を聯動すべくなし嵌込用「ソケット」及接觸板に連結したる装置。

川 村 寅 藏

東京市京橋區
元〔港〕町二二三

特許第九七六〇四號 音響盤取換機乗装置

〔内容〕縱軸に備へられたる取出枠と棚篋の各棚との相對する部分の機構により取出枠を廻轉して棚篋内に挿入することにより音響盤の取換を自動式とする装置。

倉 岡 圭 二 郎

臺灣臺北千歲町
二ノ三

特許第九七七八號 自動蓄音器

〔内容〕音響盤を抱持する數個の運盤装置を側方の控止臺上に音響盤が垂直なる如く配列し之れを特殊の装

置によつて廻轉盤上に持來し或は反轉若しくは反對側の整理臺に移動しつゝ連続演奏をなす装置。

西 脇 喜 久 次 郎

東京市南區立郡
千住町四ノ六五

特許第九五四三號 蓄音機蓋開閉装置

〔内容〕蓋に「ガイド」版を取着し且つ自働「ストップ」の作用を利用し演奏終了と同時に蓋を開持する装置。



井 細 勇
大阪市住吉區
山崎二丁目四ノ八

特許第七八一七五號 蓄音機の摩擦車の接觸並移動を司る装置の改良

同 第九一八五七號 廻轉自動停止装置

〔内容〕從來蓄音機が廻轉盤の裏面に摩擦車を適當に壓着離脱するを得ず又之と關聯して摩擦車の送りを適當に處理する装置を缺ける爲廻轉の故障操作の複雑等により實用上不備の點あるを改良して簡易に着脱を行はしめて摩擦車の移動を容易にし、且つ此着脱装置の爲に受くる廻轉部の故障を除きて確實なる廻轉を爲さしめ普通レコードと線速度均一式レコードとを併用す

るに適せしめ、又レコード演奏中若しくは演奏終了後何等かの原因に依りて音管が急激にレコードの直徑方向に動かさるゝ場合は直ちに自動的に廻轉盤を停止せしむる様なしたるものなり。
〔略歴〕氏は明治二十四年十二月長野縣の出身縣立上伊那甲種農學校及私立明治藥學校卒業後藥劑師試験に合格し藥劑師となる、大正四年千代田化學工業會社に入社、後兩毛化學工業株式會社常務取締役兼技師長、足利發明平和會製品検査主任を経て同十五年日東蓄音器株式會社に入社、技術部長、研究部長を経て同社取締役となり今日に至る、傍ら無端循環レコード試作に従事しつゝあり、帝國發明協會より進歩賞を受領す。

竹 谷 滿 雄

山口縣阿武郡萩町
東田町二五

特許第九七六六一號 蓄音器針變更装置

〔内容〕「サウンドボックス」に受排針管を裝備し別に針倉及撰針板より成る送針装置を附加し新舊音針の自働更換をなさしむる装置。

明 石 正 之 進

合敷市廣一三三ノ一

特許第九七二二五號 蓄音器に於ける自動給針装置

〔内容〕「サウンドボックス」腕管の旋回作用を利用して音針の音針が通針管を通じて供給せらるゝ装置。

荒 木 謙 次 郎

廣州市鶴江町
三二八ノ五

特許第九八〇四五號 蓄音器自動針出装置

〔内容〕枠體上の針容器の側に附設せられたる摺動板と「トニアム」の移動に關聯して動かされる各種機構により音針の更換を自動式にする装置。

庄 野 數 馬

徳島縣那賀郡羽ノ浦町
大字中庄字梶島
四十番地

特許第一〇〇二五二號 蓄音器捲軸卷數表示装置

〔内容〕蓄音器の捲軸を巻く齒車の廻轉運動にて雄雌の「ネジ」を廻轉上下運動を示針に傳へて數字を指示せしむる装置。

友 成 用 三

東京市杉並區堀ノ内
一丁目一五五番地

特許第一〇〇六五二號 音響記録及再生装置に於ける「フィルム」誘導装置

〔内容〕「フィルムゲート」に近接せる位置に圓錐形の「フィルム」誘導「ローラー」を廻轉自在に軸支して自動的に受止片に向て押推せしめ音響記録及再生作用の正確を計る装置。

打 越 作 次

東京市南多摩郡小宮村
西中野一五六二

特許第九六二七七號 狩獵鳥類の囀に代用せしむべき「レコード」の吹込装置

〔内容〕外界の音を導入すべき透明材料を以てなる密

安 島 信 太 郎

共成縣多賀郡助川町
助川一八一八

特許第九六七三〇號 音響記録装置

〔内容〕音波電流により振動する部分と之れに架張する熱線によりて音波線を構成せしめ優秀なる「トーンキ」を得る装置。

河 嶋 政 雄

山口縣徳田郡下松町
大字東豊井七九三
株式會社日立製作所
笠戸工場内

特許第九七七六六號 蒸汽機關車用汽筒弁操作装置

〔内容〕二個の給汽弁の開閉を司る二個の「カム」の緩装と種々の機構により機關車の位置轉換及牽引力の加減を確實簡易ならしむる装置。

谷 口 敏

神戸市灘區
上野通七ノ四〇一

特許第九八二八二號 吸錐滑弁

〔内容〕吸錐滑弁を支持する弁錐上下の各座金が球面にて接觸する事を主としたる機構のものにして小型汽筒の吸錐滑弁の磨耗に因る滑面の歪に關係なく且つ錐の無理を除き故障を少からしむる装置。

小倉 義彦

東京市大森區池上
德持町四九二番地

特許第一〇二二八八號 高壓「タービン」の初段落噴

口取付部氣密定着装置の改良
〔内容〕「タービンケーシング」の端蓋の内側に間隙を設け此の間隙を大氣又は所要の低壓部に導き噴口板に對する「ケーシング」内の蒸氣壓に依り噴口板の氣密定着を補助せしめて成る装置。

土光 敏夫

東京市赤坂區高樹町三

特許第九五八一二號 彈性流體「タービン」に於ける

速度調整装置
〔内容〕調速機に依り制御する以前に於て電磁作働装置をなし速度調整率を良好ならしむる装置。

倉谷 清之信

三重縣志摩郡磯邊村
惠利原一〇一

特許第九六九九四號 機關に於ける迴轉速度調節裝置

〔内容〕船體の動搖と共に搖動する板の遠心力を利用して推進機の空轉に際し機關の迴轉速度を調節する装置。

世木 實

神戸市東區西町二ノ一五

特許第九五一八〇號 水滴の逸脱を自由にする蒸汽

「タービン」翼の改良
〔内容〕翼の背面に凝集する水滴を外周へ逸出せしめ以て水滴の制動作用を減せしめ能率を向上し又摩擦による翼損傷を少なからしむる装置。

吉江 介三

東京市品川區南品川
六丁目一四二二番地

特許第一〇三〇〇一號 蒸汽「タービン」に於ける

疎水排除装置の改良
〔内容〕動翼の外周を連結する緊締條帶環の全周に添ひ内面に流れんとする水粒を張開部分に依り水粒收集溝内に向わしむる様構成し作動能率を増大せしむる改良装置。

出原 佃

關東州大連市聖徳街
三丁目一番地

特許第一〇三三四三號 二重蒸汽器管板

〔内容〕凝汽器の管板を二重とし間の管に水切圓板をはめ漏洩水を水槽に流下せしめて冷却水と同一水壓の清浄水を充滿して「パッキング」となし汽罐の保存を計る。

加澤 藤吉

兵市西本通一ノ十三

特許第九六二九九號 轉換裝置附迴轉式原動機

〔内容〕傾斜せしめたる翼板を其迴轉により氣室内側面と直角の角度を保たしめ之を氣室内に注入する瓦斯蒸氣により壓迫迴轉し原動力を得る装置にして氣體注入の氣孔の變換のみにて逆迴轉を生ぜしめ得る装置。

小林 孝

靜岡縣志太郡
島田町四九五六

特許第九七一四五號 低熱を利用せる原動機

〔内容〕低沸騰點を有する液體の蒸發熱及有蒸氣體に

花井 嘉夫

兵東縣武東郡本庄村大
字深江字美江二三番地

特許第一〇一六九七號 低壓縮重油内燃機關

〔内容〕六衝程又は四衝程を以て「サイクル」として壓縮衝程を二回はしめ燃料を噴射し空氣との混合瓦斯を生成し燃焼を行はしめて高速度且輕重量の重油内燃機關を得る。

花田 政明

東京府佳原郡松澤村
赤堀五百二十二番地

特許第一〇三三四三號 二衝程式内燃機關の掃氣兼冷却裝置

〔内容〕筒蓋に設けたる一個又は數個の掃氣弁により導入され燃焼瓦斯は筒壁の一部の孔隙に排出なし筒蓋部及鈎頂部を有効に冷却せしむる装置。

富塚 清

東京市北豐島郡大泉村
小樽三二二〇番地

特許第九七三九六號 二衝程式機關轉向板の改良

〔内容〕轉向板の流入孔に多數の誘導板を植設をなし筒壁體に何等加工を要せず單に唧子に加工して充分強勢なる渦動を誘起せしむる機構。

小原 嘉一

京都市東區山科
馬ノ向町三十五番地

特許第一〇三〇七三號 重油發動機

〔内容〕氣筒内に上部、下部とに唧子を附設し曲柄軸に連結作用せしめて適度の重油を吸入し混合瓦斯を構成する吸氣口及給油口を設け下部部に排氣口を設けて排氣作用を行はしめて成る飛行機用其他の重油發動機。

竹崎 友吉

神戸市兵庫東
七番町四十番地

特許第九五五七號 發動機燃料氣化裝置

〔内容〕回轉軸の軸孔を通し噴出孔より燃料を遠心的に飛散せしめ羽車を以て吸入する空氣と攪拌して混合氣化せしめ發動機の機能を完全ならしむる装置。

山形 甚吉

山形縣工所
大田市西區本田
三番町六十九番

特許第六〇五三一號 小型輕油發動機

〔内容〕本機はアイゼン發動機と稱し輕油を揮發油と略ぼ同一の状態に使用し得る如く特許裝置をなしたるものなり、而して本機は永年使用に耐へ分解組立容易にして掃除簡單且つ燃料の經濟なるは輕油を完全に使用し得ることにして其消費量は一馬力一時間二合の割合にて足り殊にスローの充分可能なる効果を有す、尙一般小型モーター型發動機の特徴は清水不要、自動給油無ポンプ且つ震動非常に尠なく燒玉を燒くことなく何時にても運轉し得る事を必要とするものにして本機は是等の條件を完全に具備するのみならず前記の如くスローの充分可能なる効果を有するが故に此種發動機中の逸品と稱する事を得べし。

清水 菊平

長崎市片岡町三丁目
百八十七番地

特許第一〇〇八五八號 内燃機關の吸筒の改良

〔内容〕燃焼室に向ひ突出せる型の吸筒に於て小なる環體を設け吸筒本體との接觸部に相對して溝を設け數個の片よりなる環片を挿入して取付けて耐久力を一層増進せしむる改良方法。

中島 田正夫

久留米市東町
八十五番地

特許第九八九〇一號 高速度内燃機關

〔内容〕主「ピストン」に對し壓縮比可變裝置を有する點火「ピストン」を裝置し、空氣を吸入筒内に擴散する様燃料油を噴射せしめて壓縮爆發せしむる高速度内燃機關。

細川 正智

大阪府三島郡千里村大
字片山六百九十八番地

特許第九五四七八號 迴轉内燃機關

〔内容〕外筒内を二室とし一方に空氣吸入口及廢氣排出口を具へ他方の接觸部に開口せる壓縮空氣室を設けたる等の構造により辨裝置を要せず且つ動作を單純ならしむる機關。

八坂 宗清

大阪市西區鶴見橋
通り七丁目九番地

特許第一〇一四六六號 自動車其他走行體に用ふる内

燃機關の燃料節約裝置
〔内容〕霧化室に副噴射管を附設し内腔に開閉弁を設

高橋 正夫

宮城縣栗原郡若柳町
川原十六番地

特許第一〇二五六〇號 内燃機關の排氣壓力低下裝置

〔内容〕内燃機關の排氣管に不還氣弁附排出管を誘導管を介して「エゼクター」作用をなす如く配置連通し空氣槽を裝設して成り空氣構内の空氣を誘導排除し機關能率の増進を図る装置。

け混合瓦斯噴出管を装置し瓦斯を蓄積する「タンク」を連結して閉閉弁を自動的に作動せしめたる燃料節約装置。

大河内正敏

東京市下谷區谷中
清水町一丁目

特許第九四五五號 内燃機燃料噴射の波込衝程に於て空気若しくは氣體を波込み小氣泡と混交し消費料を節約高速の「ディーゼル」機關を完成す方法。

〔内容〕機關の燃料油中に噴油燃料噴射の波込衝程に於て空気若しくは氣體を波込み小氣泡と混交し消費料を節約高速の「ディーゼル」機關を完成す方法。

池貝杉二

東京市芝區三田四丁目
株式會社池貝鐵工所

特許第二六九八四號 石油注入位置加減装置
同 第二八三三三號 内燃機燃料噴射の衝程調整装置

〔内容〕前者は石油噴筒に作用する偏心輪の偏心位置を發動機の運轉中に任意に變更して發動機の噴射の衝程に對する石油注入位置を適宜に變更し、而かも之が爲め石油噴筒の衝程に變化を及ぼすことなからしめたる装置にして、石油の種類圓筒内の壓縮壓力の高低及び荷重の大小により石油注入位置を適宜に加減して有効に且つ完全に燃焼せしめ爆發を均一ならしむ。
後者は機關の負荷の變化に應じて給油量を迅速正確に加減し廻轉速度を一定に調整せしめ得る装置なり。

〔略歴〕氏は元曾我部氏明治十八年愛媛縣越智郡の出身、同三十九年東京高等工業學校卒業、三菱長崎造船所に入り三年の後池貝鐵工所に轉

じ内燃機關設計部製作主任となり、大正二年所主の長女と結婚して池貝姓を名乗り分家す、その發明に成る無點火有式發動機及無水式發動機は實に氏をして有名ならしめたるもの、現在同所取締役發動機部長として縦横の才腕を謳はれつゝあり。

横田久

高松市鹽屋町
一丁目十三番地

特許第九八二九九號 内燃機燃料噴射の衝程調整装置

〔内容〕取付臺に案内盤を挿入しうべく嵌合し衝程に調節彈簧を作用せしめて衝程調整機構の磨損改障の頻發を防止する装置。

上村運一

松江市御手船場町
五百六十一番地

特許第九八七二號 内燃機燃料噴射の速度調整装置

〔内容〕機關の運轉中速度の緩速に伴ひ「ガバナ」の作用により自動的に空氣吐出孔の開孔面積を變化し該孔を通過する空氣量を加減し以て速度の調整をなししめむとする機構なり。

小川久門

關東州大連市
平和臺七九番地

特許第一〇一四一八號 電氣着火器

〔内容〕放電端部が放電用加電壓に關係なく豫め加熱せる電氣發熱資料にて構成せらるゝ電極を有し嚴寒時と雖も早速に着火し得る方法。

中鹽幸次

神戸市細原
三百三十一番地

特許第九八八五六號 内燃機燃料噴射の衝程調整装置

〔内容〕排氣又は吸氣「カム」の機關に凹所を設け弁作動槓により起動する際起動空氣噴射衝程の間のみ弁を閉し管内空氣吐出により起動力を軽減する装置。

安藤十太郎

愛知縣豊田郡福地村
大字丁郎九番地

特許第一〇三三三號 「ガソリンエンジン」に於ける「シリンドラ」空氣冷却装置

〔内容〕外周に設けたる多數の平行鋸輪の各鋸輪間に兩側及後部に互に一定の角度の隙隙板を設け「シリンドラ」の外周に空氣を送らしむべくし完全に冷却機能を増長せしむる装置。

小高一郎

東京府荏原郡品川町
南品川二五二番地

特許第九七二七〇號 内燃機燃料噴射の衝程調整装置

〔内容〕回轉翼を交互に回轉自在に緩着し高速度の回轉を要する機關に裝置し回轉により廢氣を後方に導き背壓による馬力の降下を防止する消音装置。

吉川彌十郎

大阪市港區壽町
三丁目七番地

特許第一〇三三五〇號 内火機に於ける氣筒過熱防止装置

日に於ては最大にして世界に於ては第二位を下らざる最大型水車の製造所となり總馬力二百十萬馬力以上に達するの盛況を誘致するに至れり。現に同社の取締役たり、其他明治三十二年日本鉛管製造株式會社の創立に際しては其の技術部を擔任したり、帝國發明協會より有功賞、特等賞、進歩賞等を受く。

藤田榮二

鹿児島縣薩摩郡末吉村
字諏訪方六〇四〇

特許第一〇三七九六號 水力「タービン」

〔内容〕動水翼及導水翼を擺線狀に彎曲形成したる事により衝擊及反動勢力を有効に利用して能率を増進せしむべくなせる装置。

謙田康平

横濱市鶴見區平安町
二丁目三十三番地

特許第九七五四九號 發電並揚水兩用装置

〔内容〕發電機軸に水車及噴筒を連結配設してなり水槽水位の所定變化に應じて水車又は噴筒の活用狀態を自動的に制御し得る装置。

川中文吉

東京府南葛飾郡葛飾戸町
八丁目一八〇番地
株式會社日立製作所
葛飾工場内

特許第九六二八二號 水位調整装置

〔内容〕水位調節機と「サーボモートル」と複原機構とを具へ其の變化に應じて排水弁を開閉して水位を舊位に復せしめ排水弁を調整維持する装置。



田澤昌孝
東京市台東區谷町六丁目三三番地

特許第一七〇二一號 沿軸並流水車

〔内容〕従来の沿軸並流水車は一般に荷重の變化に應ずる水量及び廻轉數の適當なる調整方法なく、又空氣が水車に流入し能率を低下する缺點ありしを、本發明に於ては水の流入を垂直に導く爲に導入輪の内外兩側壁を副導水板を以て連結し、其の上部に裝置されたる通水門扉閉閉輪に依り對水扉を俯仰せしめて通水門の面積及び流水の角度を増減し、且つ特殊の遮氣板を水槽の水面上に浮べて空氣の吸入を防止したるものなり。

〔略歴〕氏は明治二十四年慶應義塾卒業後海軍省技監若山鑛吉氏に就き造船及造機學を修得し芝浦製作所に入所して各種の機械製作に従事す同四十二年本特許を得て翌年電業社水車製造所(現、電業社原動機製作所)を創立し各種大型水車の製造を開始す、歐洲大戰の際外國品の輸入杜絶の影響を蒙りて豫想外の發達を遂げ、今

長谷川利彦

大阪府東淀川區木川西
之町二丁目三十四番地

特許第七九八五四號 油壓弁自動閉閉装置

同 第七九八五七號 自動電壓均整装置

同 第八〇七八四號 自動捕速制御装置

同 第八二四四〇號 情性捕速方式

同 第八四四五〇號 複數機發電所高能率運轉装置

同 第八七三一號 自動發電所停止装置

同 第九〇一四七號 數多發電機自動操御装置

同 第九一三四四號 位相繼電方式

同 第九一三九六號 接地回路保護繼電裝置

同 第九一八〇五號 自動同期繼電器の改良

山川政雄

神戸市東須磨
大手三ノ井二五

特許第一〇〇四五五號 水車群連動制御装置

〔内容〕流入水量に応じて複数の水車を連動する水力発電所に於て水位調整機と配管装置との特殊作用により流入水量に応じて水車群の合成連動率を常に最高たらしむべき装置。

栗野義六郎

東京府南葛飾郡船橋市
町八丁目百八十番地
株式会社日立製作所
船橋工場

特許第九六二八三號 水壓継管保安装置

〔内容〕送水遮断装置と調圧機とを具へ作動せしめ調節作用に依り水壓継管を「ウォーターハンマリング」より保護をなす装置。

西郷隆興

神戸市東須磨
兼廣町三番地

特許第九六四四〇號 餘剰水排出装置

〔内容〕水壓管路に應動すべく餘剰水排出弁を具へ其調節作用を確實ならしめ所定の範囲内に保持正確ならしむる装置。

三村龜植

東京府豊多摩郡代々木町
大字代々木九五〇

特許第九六六六七號 「フロベラ、タービン」に於ける「ランナーブレード」調整用「サーモーター」壓油配給装置

〔内容〕「タービン」軸の適當の位置に配油機構を嵌装して水車軸の中間任意の點より「ランナーブレード」調整用「サーモーター」へ壓油を配給するに依り所要の作動を遂行し得る装置。

春誠道

神戸市三石通四ノ三

特許第九九〇五號 給炭装置

〔内容〕特殊「カム」の裝備によりて各火床群の移動行程中に於て火床棧の歸復行程中に其表面を石炭層と開放して移動せしめ以て給炭並に燃焼作用を確實ならしむる装置。

長谷川規矩

長崎市上小島町
三十四番地

特許第九五三四二號 移動給炭機通風加減装置

〔内容〕空氣加減板の開度を自由に調整し汽罐の負荷使用炭種及埋火等に最能率の給炭機なり。

米花安藏

京都市東山区本町
九丁目一〇八番地

特許第九七八〇五號 送炭調節装置の改良

〔内容〕「ラッチエットホキール」装置に依り字狀杆の彎曲部に枝杆を設け其の上端を前後に摺動し得る調節杆に連結したる送炭調節装置。

田熊常吉

兵庫縣武庫郡西郷町
大石十五番地

特許第九四一七〇號 給炭装置

〔内容〕送炭板を適當の裝置に依り往復運動する如く介在せしめ火床の破損を防ぐと同時に送炭運動の圓滑なる火床を得る給炭装置。

辻元徳三

大阪府住吉區
阿部野筋二ノ二八

特許第一〇三三七八號 自動給炭機に於ける爐格

〔内容〕鎖條に連結して共に移動循環せしむべくなしたる爐格支持版上に特殊主爐格を取付けたるものに關聯する特殊作用により通風佳良熱膨脹に基く故障を生ぜざらしむる構造。

宇野庫造

神戸市松原通
三ノ三七ノ一

特許第一〇一九二二號 「ストロカー」空氣調節装置

〔内容〕燃焼床の下部に隔壁を作りその扉の特殊装置により給氣室を形成せしむべくし過剰空氣を防止する装置。

前田濱五郎

長野市中御所四五

特許第一〇三三五〇號 爐内燃焼装置

〔内容〕燃料輸送用螺旋給炭機の特種作用により扇形狀に廣がれる燃料擴散室を形成し燃料輸送の圓滑と完全燃焼を計る装置。

小松大助

佐世保市白南町三

特許第一〇〇八三七號 自動給炭器

〔内容〕給炭漏斗に移動底を設け計量給炭箱と交代的に漏斗の下に來らしめ羽車によりて燃焼室内に燃料を均等に散布せしむる機構。

駒村洋三

東京府南葛飾郡船橋市
町八丁目百八十番地
株式会社日立製作所
船橋工場

特許第九五九八一號 移行爐格給炭機

〔内容〕爐格棒の間隙より落下する粉炭及灰滓を受け止め散亂することなく排出して清潔ならしめ通風を容易完全ならしめる。

江口清次

京都府河原郡鞍部町
字青野六十二番戸

特許第九七三六六號 火床調節自動給炭装置

〔内容〕燃焼状態に應ずる通氣隙と火層の厚さとを有し燃焼作用を有効にし燃料の經濟煤煙を防止し得る簡便なる装置。

門野正二

兵庫縣武庫郡大庄村
森其字蓮毛八二ノ四

特許第一〇二九二七號 火爐の水冷壁

〔内容〕燃焼室の壁に多數の溝を作り溝底に降水管、開口部に上昇管を設け之れによりて開口部を密閉し降水管に燃焼瓦斯が直接接觸することなくならしめた特殊構造。



田取武治
大阪府天王寺区山田七丁目四七

特許第七六三二號 火爐の壁

〔内容〕本發明は火爐の爐壁を縦に數個に分割して築造し之等各壁と壁との突合部の外側に設けたる保持板と保持板上の導溝に沿ひて爐壁の内部に支持せらるゝ耐火片との間に分割壁の端を支持し、其の突合せ部に若干の間隙を存せしめたる火爐の壁にして、爐壁を數個に分離せしめたることにより温度の上下に對する爐壁の膨脹收縮を各分割壁の接合部に於て吸収せしめて熱による爐壁の破壊を防止し、且つ保持板の強固なる支持によつて壁の耐久力を増大せしめたるものなり。

〔略歴〕氏は明治三十一年奈良縣五條町の出身縣立五條中學校卒業後汽車製造株式會社に入社して現在に至る、傍ら大阪工業專修學校高等部機械科を卒業し逓信省電氣主任技術者資格檢定試験第二種に合格す、在職中汽罐及火爐に關する研究に没頭し特許十件、實用新案九件を得たり、帝國發明協會より進歩賞を受領す。

楠 熊 雄

下關市大字南後地村
一 二 五 七

特許第一〇〇二八八號 焚口

〔内容〕焚口に軸を設け該軸に廻動し得べく支柱を支持せしめ支持の尖端に軸を設けて其軸に於てお玉杓子形煉炭受を廻動し得べく架設して成る構造。

天 野 匡 夫

岡崎市柱町福部池
一 番 地 一

特許第九五〇一四號 完全燃焼自動調節機

〔内容〕完全燃焼装置に於て通氣孔の開閉と同時に蒸氣管を開き蒸氣を噴出せしめ閉扉後は自動的に通氣孔と蒸氣管とを閉鎖せしむる如くなる機構。

阪口 治 郎 吉

大阪市浪速區
貝柄町一 番 地

特許第六五〇六八號 動床式鐵球燃焼装置

〔内容〕本装置は熱及燃料の權威者たる内藤博士の多年苦心研究の結果遂に理論を實現化されたるものにして従來の火床を改良したるものに係り、其構造は鐵球を其火床代用として上方より石炭を投入し、奥部に燃焼室を設け灰掻は鐵球の間隙と播板の穴より動床式にて落下する装置を有す。燃焼法は下部の赤灼コークスの火熱にて其揮發物は次第に離脱し下向通風にて赤灼コークスの火中を通過するが故に燃料自體の全熱量は合理的に完全燃焼を可能ならしむ、即ち化學と物理との合法により作られたる最も完全なる焚口なるが故に煤煙を生ぜず而も如何なる燃料如何なる焚口にも應用せらるゝ特徴を有す。

葛 西 吉 郎

小樽市花園町
東三丁目十六番地

特許第九四八六〇號 完全燃焼装置

〔内容〕放射狀の隆起を配備せる可動燃焼棒を嵌装し未燃炭瓦斯と二次熱風とを再燃焼部に合流再燃焼せしめ煤煙の排出を防止し放熱量を大ならしむる装置。

小 島 文 太

兵庫縣武庫郡御影町
字 樽 一 一 三 番 地

特許第九四八五六號 多管式船用汽罐完全燃焼装置

〔内容〕灰溜並に燃焼室に堆積する灰及煤煙の爲に「ビジョン・ホール」の閉塞することなく火橋元「クリンカー」の熔着を防ぎ維持を容易ならしむる。

佐々木 六 郎

東京府豊多摩郡千駄ヶ
谷町大字豊田五七番地

特許第九六一三六號 燃焼装置に使用する送風装置

〔内容〕火格子の下側に空氣抵抗の小なる流線形筒間或は之に類する断面を有する多孔の送風管を設けたる等の構造により風量、風速の分布状態を一様となし燃料の完全燃焼をなさしむる装置なり。

高 井 三 郎

石川縣鹿島郡西湊村
津向五十三番地

特許第九八二五七號 「セメント」廻轉窯用石炭燃焼管の改良

〔内容〕燃料燃焼管の外管先端に「ウォータージャケット」を形成せしめて爐内燒成帯を高熱に保持し燒塊の燒出量を増加して燃料の節減を得る装置。

秋 津 忠 壽

西條市船見町百九番地

特許第九六五九四號 微粉炭燃焼装置

〔内容〕彈性を利用し底板の浴離端と筒壁との間隙より筒内微粉炭を燃焼室に供給し微粉炭の約一定量を一定時間に燃焼室に確實に供給する装置。

畠 岡 喜 市

東京府荏原郡大崎町
上大崎四十九番地

特許第九五二四四號 粉炭燃焼器

〔内容〕空氣及粉炭の混合體を充分豫熱し火焰の燃焼口より噴射せしめて噴射混合體を燃焼せしむる装置。

伊 藤 兵 造

東京府芝區芝浦二一三

特許第一〇二七七八號 重油燃焼器用給油自動調節装置

〔内容〕汽罐の微細なる蒸氣壓力の變化をも縱杆に感應せしめて給油弁を調節し以て汽罐の常用壓力を一定に保持せしめ壓力、蒸氣料、給水温度の變更に應じて給油量を完全に調節し得る装置。

大 原 康 三

兵庫縣武庫郡良元村
鹿垣字樹塚四五ノ九

特許第一〇二五四號 重油瓦斯「バーナー」

〔内容〕適宜の「バーナー」を取付け特殊なる前部押版との間に多数の方形環狀中空體を設けたるものに関する特殊装置により比較的粗悪なる重油にても完全燃焼をなし得べき機構。

内 藤 秀 次 郎

名古屋市中區南平野町
字 前 田 一 〇 四

特許第一〇〇〇八一八號 一軸の捻廻に依り燃油及空氣の供給量を同時に調査する「バルブ」装置

〔内容〕壓縮空氣の加壓に依り液體燃料を使用する密閉油槽の上面に装着する弁筒の特殊工作により火焰の噴出を適確に調節し得る様なせる装置。

山 田 正 榮

東京府荏原郡荏原町
戸 越 二 一 四 〇

特許第九八九三九號 「オイルバーナー」

〔内容〕壓縮空氣又は水蒸氣等の如き壓力を有する流體により液狀若くは粉未狀燃料を噴霧狀となして噴出せしむべくなしたる特殊構造。

増 田 信 男

大阪市浪速區稻荷町
二ノ 九 三 〇

特許第一〇三三四〇號 重油燃焼方法の改良

〔内容〕水槽の水面に重油を注ぎ燃焼せしむることを特徴とするものにして水面を火床とし之に重油の薄膜的層を形成せしむる事により完全に近き燃焼をなさしむる装置。

小 高 榮

東京府豊島區西巢鴨
二ノ 一 九 五 一

特許第一〇二七八〇號 自己始動重油「バーナー」

〔内容〕「バーナー」の前方に於て火焰を貫通せしむべき通氣孔を有する蒸氣發生罐内に依り若干に區分したるものに關聯する特殊機構にして蒸氣の分離並に過熱を容易ならしめ依て重油噴射用過熱蒸氣を迅速に發生し得べき装置。

小 高 榮

東京府豊島區西巢鴨
二ノ 二 一 三 六

特許第一〇一三三九號 「ピッチ」燃焼装置

〔内容〕環狀「ピッチ」追熱室に關聯する特殊装置により「ピッチ」をして燃焼の直前に當り爐熱に依る追熱作用の爲め霧化し易き状態を呈せしめ仍て完全燃焼を行はしむる装置。

金 替 圓 三 郎

東京府豊島區高田本町
二ノ 一 四 六 七

特許第一〇〇〇三一號 重油專燃器

〔内容〕同心圓形をなして噴出する給氣により燃料油を噴霧化し低壓なる給氣にて完全燃焼を遂行せしむる装置。

貴 島 龍 男

東京府豊多摩郡
瀧谷町向山三五

特許第九九二七九號 複式自動酸化燃焼器

〔内容〕酸化する時殘渣を生ずる燃料油の殘渣をその汽流により霧化し殘渣を生ずる事なく全部を良好に燃焼せしむる燃焼器。

南 昂

東京府赤坂區丹後町一

特許第九九二七九號 複式自動酸化燃焼器

〔内容〕酸化する時殘渣を生ずる燃料油の殘渣をその汽流により霧化し殘渣を生ずる事なく全部を良好に燃焼せしむる燃焼器。

宮崎 庄七

青森縣東津輕郡一本木村字大付元六六

特許第一〇一八四五號 消火後加熱部體等内の氣化燃料を真空室部體に吸入する液體燃料燃焼裝置

〔内容〕噴出嘴に特殊開閉弁を容器内の導油管を擴大して真空室部體を設けたるものに關聯する特殊裝置にして加熱部體及び氣化部體の内部に對する熱傳導率の漸次低下を救ひ噴出孔の狹窄歪曲及び閉塞を防止する機構。

島崎 善亮

東京市麻布區本村町三六

特許第一〇二八二四號 「オイルバーナー」に於ける自動停止弁

〔内容〕送氣管より導かれたる空氣の壓力を隔膜を介して槓杆に働かしめたるものに關聯する特殊機構により送氣が停止されたる際自動的に給油を遮斷する裝置。

瀬間 巖

神奈川県鎌倉郡鎌倉町大字西町八八八

特許第一〇一四〇六號 液體燃料燃焼器に於ける瓦斯發生管

〔内容〕瓦斯發生管の開閉弁となる外管及び内管の特殊構造により發生管の加熱不十分なる場合に燃料をして管内を通過せしむる如き憂なきしむる裝置。

藤原 辰治郎

大阪府三島郡千里村大字千里山三八六

特許第一〇三七七九號 瓦斯安全燃焼裝置

〔内容〕寒止弁體内部を燃焼器に至る瓦斯管に連通する瓦斯室と瓦斯管を包圍する事に關聯する特殊裝置により未燃燒瓦斯の漏出放散を不可能ならしめ以て瓦斯漏出による窒息死を未然に防止する裝置。

山本 嘉太郎

東京府北豐多摩郡高田町雜司ヶ谷四百八十番地

特許第九四三四八號 燃焼裝置

〔内容〕罐の直下に別個の燃焼爐を設け通風を良くし乾燥の必要ある塵芥等雜物を完全燒却し大規模の蒸氣の廢物利用となる。

今泉 辰造

神戸市高羽字楠丘百一番地

特許第九七八九八號 汽罐高温空氣供給裝置

〔内容〕冷空氣を汽罐の放射熱により加熱して汽罐室上部に通せしめ且つ火爐供給給氣溫度を上昇し燃料消費量を減ずる裝置。

出原 佃

關東州大連市聖徳街三丁目一

特許第九九九九一號 機關車排煙用「ブラストノツル」

〔内容〕「ブラストノツル」の周邊を菊形となすに當り下部を圓形に夫より上部に至るに従ひ順次徐々に菊形に形成する如くなし且周圍の一部を内外に摺動し得

河野 壽衛男

東京市荏原區駒澤町新町百八十七番地

特許第九五二一八號 塵埃集收裝置の改良

〔内容〕「コレクター」の頂部に倒截頭圓錐形をなす二重壁を構成し導入管を連結其の旋回運動を完全ならしめ塵埃を分離せしむる裝置。

中村 八十八

東京府豐多摩郡杉並町字高圓寺一八八

特許第九九二二九號 煤煙除却裝置

〔内容〕煙筒の煤煙排出端が水層の水面に臨める部分と煙突の下端の同様部分との特殊工作により煤煙及有毒「ガス」の水中沈下溶解を有效ならしめ以て飛散を防止する裝置。

納多治郎左衛門

兵庫縣武庫郡本庄村深江六百七十五番地

特許第九六一〇七號 煤煙防止裝置

〔内容〕「ボイラー」より來る煤煙及不燃質物に濕氣を與へて落下せしめ排水口より除去する裝置。

小林 友吉

東京市向島區隅田町二ノ三七八

特許第一〇一四五號 煤煙防止器

〔内容〕乾燥室内と爐格の燃焼部の煙道間に吸氣流動作用を自動的に發生せしめ其間に於て煤煙を冷却し自動的に有害なる煤煙を除去し共に燃焼を助け煤煙中含有せる「タール」狀液を取除せんとする裝置。

青山 貞一郎

長崎縣長門郡北一條六四

特許第一〇二二五二號 船舶煙突の煤煙降下防止裝置

〔内容〕煙突に外筒を設け該外筒の前方に空氣の入口を後方に空氣の出口を設け航行中空氣を内外筒間を経て流出せしむべくしたる裝置。

鈴木 木要

福島縣石城郡内郷村大字宮字金坂七二

特許第一〇三一四號 自動煙突掃除器

〔内容〕煙突上部に裝置したる特殊機構により起動風翼が急速に廻轉するも煙突の内壁を摺擦して煤煙の附着を防止すべき螺旋狀機構を緩かならしめ且雨雪による錆發生するも働作不能とならざる裝置。

池田 三代吉

東京市淀橋區西大久保二ノ二三五

特許第一〇一九一五號 蒸氣過熱器兼給水熱熱裝置付水管式汽罐

〔内容〕主圓筒を有する水管式汽罐の頂部空所を利用して裝置されたるものにして同一水管式汽罐を以て所要に應じ過熱蒸氣を發生せしめ又他の目的の高壓蒸氣を多量に發生せしむる裝置。

谷口 健八

長崎縣馬場町二六

特許第一〇二八六七號 水管式汽罐

〔内容〕二「ドラム」水管式汽罐に於て上下兩「ドラム」の特殊配列よりなるものにして罐水の循環良好にして罐水下降管の設置不要なる機構。



工學博士 阿原 二 郎

特許第三〇一四號 宮原式水管汽罐

〔内容〕本發明は水と蒸氣の交換通路を正確に區別して流通を完全ならしめ、重要部分の掃除及修理を容易ならしむるために、水平に數個の圓筒を横たへ水壁を以て火室の前後壁となし、其の圓筒の最上部に在るものを汽室となし各圓筒を縱管或は短管を以て上下相連続し、この前後水壁の圓筒には交互に水管を以て相接続し上下の圓筒を除くの外他の圓筒内には水管口に對して隔壁を具へ熱水と蒸氣とを順次に運上するや之に代りて水壁内の水を下降せしめる様になしたるものなり。其他部分的には數種の特許權を併施せり。

〔略歴〕氏は安政五年東京市の出身、明治八年海軍兵學寮機關科を卒業後英國に留學を命ぜられ滯英九年大に機關に關する學理と技術の奧義を究め、更に再び製艦の急務を帯びて渡英し四年の後歸朝す、當時英國海軍に於ては水管式汽罐を採用しベルビユル式或はニコロウス式最も重用されしも、氏は水管式汽罐の研究が我海軍に對し焦眉の急なるを痛感し日夜研鑽の結果明治三十年に至り初めて優秀なる汽罐を發明し、同年四月英國の特許を得同國の非常なる賞讃を

松下勝一

八幡市前田町
六ノ三ノ一八

特許第九〇〇三號 蒸氣發生機

〔内容〕 燃焼室内の火焰を其外周に誘導して餘熱を外周二重壁間の環状水室内の水に與へて之を加熱せしむる事に係る特殊機構にして燃料をして終始均等なる燃焼を保持せしむる装置。

合田秋義

大阪市東成區
鴨野町五四六

特許第一〇二七八號 熔爐廢熱の利用汽罐

〔内容〕 汽罐内部に熔爐を收容したる小室を設け該室と罐外とを連絡する加熱管をして罐内の水を貫かしめ熔爐内の廢氣を該加熱管に流通せしむべく形成したる構造。

北代勇

京都市下京區
中堂寺南町二七

特許第一〇一九九號 瓦斯汽罐

〔内容〕 罐水を常に一定量だけ貯藏し且汽壓に應じて燃料の送給量を自動的に調整し得る特殊機構。

池木隆

大阪府豊都郡高島村
字原田一〇一

特許第一〇二〇六號 機關車用水管式汽罐

〔内容〕 上方に汽水側、下方に水側を配置し之等を水管群にて連結し之を含む特殊構造を構成したるものに關聯する特殊の機構により傳熱作用良好なる汽罐を得る構造。

分田常吉

福生市宮本町三九一

特許第九七七六號 給水加熱装置の改良

〔内容〕 「タービン」の過負荷運転に必要な低溫蒸氣を得る爲めに生蒸氣管の支管を加熱器に導き加熱器に熱蒸氣を逆流せしめて適當なる溫度低下を行ひ之を抽水部へ逆に供給し得る如くせる抽水給水加熱装置。

河本萬造

名古屋市中區
布池町一ノ八

特許第一〇三四八五號 汽罐に於ける熱給水の自動調節安全装置

〔内容〕 常時豫熱蛇管よりの蒸氣を漏水し給水に當つて漏出口を自動的に閉塞し給水力消滅と同時に再び蒸氣漏出口を自動的に開口せしむ特殊装置。

粕谷豊太郎

門司市門司一三六三

特許第九五一九三號 給水熱並に罐水循環装置

〔内容〕 煙道の熱を利用して熱したる循環水を罐外循環促進器にて熱の一部を捨て、循環をはやからしめ罐水の豫熱並に循環を良好になさしめたる装置。

武田乾太郎

大阪市西區本町通
二ノ八ノ八

特許第一〇三七〇九號 汽罐給水用空氣分離器

〔内容〕 空氣室内の水面の高さに應じて一定範圍内外降する浮子と關係的に旋回する螺旋弁弁にて該室の頂上より若干下位に設けたる空氣の出口を開閉せしむべくしたる機構。

長森貞次郎

大阪府泉南郡信達村
字市場二〇三二

特許第九五四二〇號 加熱給水に於ける自動安全装置

〔内容〕 加熱器の過熱破損を自動的に防止して管の過熱破損を絶無ならしめ而かも給水管に故障を生じた時は給水唧筒を自動的に停止せしむる装置。

山本三治郎

神戸市神戸區
再度筋三五ノ一

特許第九八七〇四號 給水加熱器に於ける給水一部循環装置

〔内容〕 加熱器内に於ける給水の巡流(フロー)を増すことなく加熱能率を増進せしめ且つ給水溫度の激増に因る給水器の故障を防止せしめたる装置。

眞方堅吉

長崎市榮町八四

特許第一〇二六四七號 蒸氣動力設備の密閉給水装置に於ける給水調整装置

〔内容〕 密閉給水罐を有する装置に於て補給水及過剰水の壓力が密閉給水罐の閉閉運動に無關係にして之等の壓力の變動に拘はらず確實に作用する辨装置を得る機構。

幸本吾一

大阪市此花區
江成町三一

特許第一〇一七六七號 汽罐注水器

〔内容〕 相對する圓板を三個以上適宜個數の圓割片を以て圓割し該圓板の外周縁と圓割片の頂面とを互ひに



熊田常吉
神戸市五番区
石番八

特許第三七五九號 蒸汽發生及罐水循環促進用受水器

〔内容〕 本發明は主罐と水室との間に装着せる水管を同一方面に傾斜し其下部を二重となし其内管を還水用とし、主罐内に半圓形の受水器を装置したる水管式汽罐にして其目的は構造を一層輕便にし且つ堅牢ならしめ、水管の傾斜を充分ならしむるを得て罐水の循環を良好にし尙受水器をして循環を促進すると共に垢の附着を豫防し且つ煉瓦壁の與熱により燃焼を完全にし燃料を省減し得るにあり、其特長は小型の鼓狀罐と水管とより成り曲折せる箇所を造らず接合部少なく簡單堅牢なる汽罐にして修繕簡便掃除及検査頗る容易なり、且つ水管を煉瓦を以て包圍せるが故に四方悉く與熱壁となり殊に前部を廣くし水管の中間に配熱壁を設けて燃焼を最も完全ならしむ、尚罐水の循環を良好ならしむる爲め主罐と水室とを特に傾斜せしめたるが故に罐水の循環は水管を熱して水の上騰するに從ひ主罐より還水管により水室に流下し水管に入り順次に上騰して主罐に還へるものとす。而して循環を充分ならしむる爲め水管の傾斜を任意ならし

め主罐内の受水器により罐内最低溫度の水を之に收容して一層循環を促進せしめ次に給水は給水管を煙道内に入れて適當に温めつゝ水室に注ぎ汚物を分離沈澱せしむるものとす。要するに本構造は一層輕便に堅牢ならしめて製作費を減じ罐水の循環を良好ならしめ蒸發を迅速にし燃焼を益々完全に燃料を省減し、殊に用途により構造据付を便宜に設計せらるゝの便ある等其特微効果多なるものあり。

〔略歴〕 氏は明治五年鳥取縣の出身、初め私塾に學び中途公立瀬戸小學校及廣谷皇學塾に學ぶこと各二ケ年、十四歳にして京都に出で後神戸に轉々して木村業を營み、明治四十二年製材用輕便汽罐の必要を感じ其製作方を某機械家に委嘱せしむるも失敗に歸し之が爲めて産を破り兄弟知友と交を絶ち失望の結果自殺を決心したることありしも大に悔悟する所あり、自ら之が發明を完成せん事を誓ひ艱難を排し辛苦を重ね超人的努力をなし研究に研究を續け、大正元年タマ式汽罐を發明し爾來専心之が完成に没頭し遂に本器の發明完成に成功することを得たるなり。

氏は自己の事業に必要な程度に於て山間に使用すべき製材用小形汽罐を得んが爲めに産を散じたと、専門の學識なきが故に本發明に對する氏の苦心は實に超人的且つ其研究はすべて獨創的なりしなり、其特許を出願するに際しても氏の當時の窮乏は權利の差押等を虞れ自己の名義を用ふることをなさず他人の名義に依りて本特許權を得たるなど當時如何に氏の窮迫の甚

加集宇太郎

神戸市兵庫區
須佐ノ通八ノ二〇

特許第一〇二二三號 水管掃除器の改良

〔内容〕 軸承體に關する特殊装置により廻轉軸と軸承體との摩擦熱を該部に流入する水により冷却せしめ器體の緩みを生ぜざらしむる機構。

井口篤郎

兵庫縣武庫郡
御影町二二二七

特許第一〇一三三三號 水管式汽罐の罐水循環装置の改良

〔内容〕 水管により上下に連通せられたる罐胴に關聯する特殊機構により給水流勢を利用し罐水の循環を良好ならしめ罐水面の擾亂を防止し熱効率を増大せしむる改良装置。

大なりしかを物語るものなり。
 愈々本特許権の確定するや氏は當初自ら資金を調達して製造に着手せし後高田商會に本實施権を許諾し同商會の手によりて相當の發展を見るに至りしが、偶々歐洲大戰の勃發に際し業界の勃興となるや本器も亦之が必要に應じ製作日に次ぎ月に倍し遂に濫造に陥り粗製品の市場提供となりて終に其の聲價を失墜するに至れり。氏は深く之を遺憾とし高田商會との契約を解き大阪市此花區島屋町汽車製造株式會社に本特許権を譲渡して同社に於て之が製作をなさしめつつ尙研究を進め優良國産品として廣く市場に提供したる結果多大なる賞讃を博して需要大に激増し、昭和七年度に於ける販賣高は五十一臺にして内一割五分を海外に輸出するの盛況を見るに至りて輸入の大部分を防止する事を得るに至れり。

氏は現在汽車製造株式會社の囑託となり斯業の爲め大に貢献する所あり、昭和三年本器發明の功に依り勳五等に叙せられ瑞寶章を授けられ又同年以來觀櫻觀菊の御宴に御召召を賜り同五年十二月畏くも宮中に召され午餐を賜ふの光榮に浴す。

柏田 武治

奈良縣宇智郡五條町大字新町一三九

特許第一〇〇四〇〇號 除煤機に於ける噴射管保護装置

〔内容〕中空筒を以て噴射管全體を包圍して該管を火

熱より遮斷し中空筒の受くる火熱は之を各水管を介して其内部の灌水に奪はしめ以て温度を低下して燒損を防止する装置。

田村 秀市

神戸市林田區池田廣町六四

特許第一〇二七〇六號 汽罐管内部掃除器

〔内容〕人水口を有する器胴内に於ける特殊機構と之に裝備する多數の羽根を有する翼鑽により水力を利用して作業能率を大ならしむる構造。

福田 竹次郎

大阪府三島郡共木町下中條三四八

特許第九九九五號 汽罐水管の外部掃除器

〔内容〕適宜の動軸に連結したる軸棒の特殊構造により多數集せる水管外面の附着物を管外より除去せしむる装置。



社會式株式製車汽 辻本 徳三
 大阪府此花區花田町四百六十八番地

特許第一〇二〇六〇號 機關車用水管式汽罐

同第一〇二九二七號 火爐の水冷壁

同第一〇三三七八號 自動給炭機の爐格

〔内容〕自動給炭機の爐格は適當なる間隙をおきて並行に移動循環する鏈鎖上に爐格支持版を裝架し之に多數の主爐格杆を定間隔に固定し、之と交互に配列せられ且つ上面と其稍下位とに擴大する部分有し此上下の擴大する部分の間に固定爐格杆の上面擴大部が位置する様に可動爐格杆を挿入し、兩種の爐格杆の上面を以て爐格面を構成し可動爐格杆は自由に上下に移動し得べく裝置したるものにして、火床は各爐格杆の接面に通風間隙を常に平等に保つを以て爐格上にある燃料層の相當厚き場合に於ても通風状態良好にして旺盛なる燃焼作用を持續せしめ得べく、交互に存在する爐格杆は自由なる可動状態に支持せらるゝを以て一層熱膨脹に對する耐久力を増大し得べし、又杆間の通風間隙に落下滞留する灰滓は一旦可動爐格に受理せしめ鎖條の下方移行時に於て爐格杆の傾斜したるとき及下向きとなりたる可動爐格の垂下により之を自動的に完全に排除し得るを以て從來爐格上の燃焼殘滓物を排除するに當り個々の爐格を機械的に動搖せしむるものに比し其構造著しく簡單にして火床を極めて輕量に而も堅牢に製作し得るものなり。

〔略歴〕本發明者辻本徳三氏は明治三十三年大阪市の出身、昭和二年東京帝國大學工學部機械工學科卒業後直に本社に入社し、現在同社設計課に勤務中なり。

木村 正孟
 東京市本郷區駒込神町九〇
 特許第一〇一一九五號 蒸發罐加熱管給氣調節装置
 〔内容〕管渠の外周に添ひ多數の案内羽根式轉向翼を首尾相接する様に併列し翼軸及把手に依り夫々離外より各個任意に其開度を加減し得るが如くせる装置。

宇平 光太郎

東京府西多摩郡大久野村幸町一八五一

特許第一〇二二六號 傳熱管

〔内容〕管の外周に之に直角の方向に流體を通ずる如き傳熱管に於て其表面に其軸線方向に並行して數條の螺旋針線を取附けたる構造。

増島 金太郎

東京市東區南砂町七丁目七八三

特許第九八四六一號 暖房用放熱器

〔内容〕對流放熱と相俟ちて輻射に依る放熱作用の旺盛にして快味ある暖房効果を齎すべき放熱器を得たる装置。



會商甲資社合 辻 頼母
 甲府市石井町

特許第一九六九〇號 乾燥機

〔内容〕本發明は實用新案十數件をも併用し節調板、消毒兼殺菌乾燥装置、消火装置、排氣管遮熱板其他各部に幾多の改良を施し以て優良なる鹵の乾燥機を得たるものなり。

〔略歴〕氏は山梨縣東山梨郡岡部村の出身、明治二十二年東京市に於て陸軍酒保に酒類煙草罐詰類を納入したるを始めとして甲斐産葡萄酒の醸造販賣を開始し、日清戰役當時牛肉罐詰製造工場二ヶ所を設置し多量の製品を糶林廠に納入し、戦後製織事業に従事しサージを製織して本邦に於けるサージ製織の嚆矢をなし、日露戰役當時は大坂市に於て大規模なる乾燥機を考案設置して多量の乾燥野菜を糶林廠に納入す、其後幾多の苦難に遭遇し而かも其の間數多の發明を完成し、就中甲信式乾燥機の如きは實に本邦發明界の元老辻頼母の英名を想起せしめ全国的に有名なるものなり。本機は數十年間苦心研究の結果發明されたるものにして大正十年迄甲式乾燥装置と稱され、帝國發明協會より表彰せらる。現在合資會社甲商會の社長たり。

香月 諭

東京府豊多摩郡千駄ヶ谷町大字千駄ヶ谷三八五

特許第一〇三三八九號 回轉「ドラム」式肥料乾燥装置

〔内容〕密閉せる加熱室を貫通する二個の「ドラム」管の特殊装置とその内部の特殊機構により半流動狀の含水肥料を無濕状態に至る迄完全なる乾燥を遂行する装置。

土井 定

福岡市吉塚町大字吉塚一〇ノ七一七

特許第一〇二二一號 穀類乾燥機

〔内容〕穀類循環用動力たる發動機の餘熱を利用し氣筒冷却水に穀物を加熱すると共に排氣により加熱されたる空氣を以て其濕分を除去する機構。

中村 義人

福岡市西小住町三矢野浩助方

特許第一〇三七〇四號 穀類乾燥機

〔内容〕上半を金網下半を鐵板を以て構成せる横置圓筒内の特殊構造により割室に導入せられたる穀類を攪拌翼にて攪拌し加熱したるものを送穀翼にて飛散せしめて連續的に乾燥せしむる機構。

大木 信一

東京市足立區千住末廣町一

特許第一〇二七五六號 「コブラ」乾燥機

〔内容〕乾燥室に於ける「コブラ」の搬入搬出を迅速容易ならしめ以て乾燥能率を増大し乾燥に要する場所を節約する機構。

小倉 幸市

靜岡縣周智郡森町五四六

特許第九八三〇二號 椎葉乾燥装置

〔内容〕覆蓋を有する火爐を中央にして其周圍を莖にて圍繞せる乾燥室内の火爐と莖との間に細竹に連通せる椎葉を並列し火爐の熱氣を間接的に使用して乾燥する装置。

大野巖

東京市赤坂區
青山南町五ノ二八

特許第一〇一三〇六號 迴轉乾燥機

〔内容〕迴轉乾燥機を傾斜して装置し原料供給装置に連結し且其一端を空気を加熱して供給する装置に結合せしめ供給装置より供給せらるゝものを反対方向よりの熱気により乾燥せしむる特殊機構。



岡原 壽一
大阪府東區正町三丁目三番地

特許第四三三四六號 穀類乾燥機

〔内容〕本發明は穀溜室の側面に熱気供給室を設け多數のへ字形隔版を列設し、更に隔版列と直角方向に同様なるへ字形隔版を設け、此隔版の一端を熱気供給室に開口せしめ他端を穀溜室の側壁外に通せしめたるものにして、熱気供給室より熱風を吹き込めば先づ一つのへ字形隔版列を通過せる熱風は次に之れと直交する他の隔版列に通じ穀粒層の各部を平均に熱せしめて斑なき乾燥を遂げしむる特徴を有す。

〔略歴〕氏は明治二十八年六月秋田縣の出身、山形縣立米澤工業學校機械科卒業、東京海軍造兵廠、兵庫縣帝國油脂株式會社、大阪市大嶺無煙炭株式會社等を経て各種乾燥機の製作に従

事す、其の間各種乾燥機の研究に没頭し遂に之を完成す。
帝國發明協會より有効賞を受領す。

加納 正平

京都府何鹿郡野田町大
字青野小字西吉美前七

特許第一〇二四七五號 粒狀物乾燥装置

〔内容〕勾玉形仕切版の特殊組合せにより無心棒にて乾燥塔の下端開口部の下部にて水平に迴轉すべく支受せしめたる輪筒の内周面に仕切版を定着せしめてなる装置。

瀧口 三雄

東京市甲野區
千光前町八

特許第一〇三八八八號 粒狀物乾燥装置

〔内容〕水平なる迴轉型乾燥筒と其内壁なる傾斜及特殊送器との特殊なる作用により比較的小容量の乾燥室により連續作業を行はしむると共に均等なる乾燥をなさしむる装置。

中川 貞雄

京都市左京區
吉田中一路一

特許第九六二二號 乾燥装置

〔内容〕乾燥室の兩側に加熱室並に吸引室を適當數配置したる隧道式熱氣循環乾燥装置に於ける特殊機構により被乾燥物に許す限りの高熱氣を以て乾燥したる後空氣を外部に排出の際には低温高湿度となし以て乾燥を速かならしむる装置。

牧 實

熊本縣飽託郡
川尻町四〇八

特許第九三三四六號 乾燥装置

〔内容〕迴轉する圓筒内に其軸心を中心とする大小數箇の圓周上に在位する如く數多の蒸氣管を配設したるものに關聯する特殊機構により傳熱面積を増大し熱効率を増進せしむる装置。

小松 豐作

東京市豊島區
駒込一ノ二八

特許第一〇〇四八六號 乾燥装置

〔内容〕内側に多數の旋風機を備ふる棚式乾燥室内に於て其旋風機の段の異なるによる關係の迴轉速度を其段に專屬する緩急装置により調節する機構。



今村 品太郎
名古屋市中區南區西區
町渡古西區南區西區
會商村今 地番七十五

特許第二〇一九六號 今村式乾燥装置

同 第二〇九八六號 同 第四〇七九一號 今村式乾燥機移乘装置
同 第四二七二〇號 乾燥機の被乾燥物配列装置
〔内容〕従来の生漚乾燥装置は極めて不合理にして其乾燥状態不均一なる等のため解舒と絲質を不良ならしむるのみならず絲量の減退、操絲

日田 建次

小樽市入舟町
七丁目二一

特許第九三三六號 燥爐

〔内容〕未燃燒瓦斯の放出を任意に調節し且一定量つつ平均に分割噴出せしめて燃焼を完全ならしめ以て燃料を節約する装置。

鈴木 豐三郎

札幌市南二條
東四丁目一番地

特許第一〇二三四九號 燥爐

〔内容〕貯炭燃燒室を備へ上端に蓋を設けて下端に「ロストル」を備へ適當の間隙を存し煙道を開口圍繞せしめ燃燒室の下端に形成せる炭殼室を煙道の外面に延長せしめ燒飯を設けて成る燥爐。

松本 爲治郎

京都市伏見區
兩替町十丁目

特許第一七九〇六號 瓦斯七輪

〔内容〕本器の特徴は
一、瓦斯消費量を著しく節約することを得。
二、空氣供給孔に「カバー」を附するの要なく取扱極めて簡單なり。

〔略歴〕氏は京都伏見の出身、始め質商を営み別に本製作所を創設して令息の經營に委せしめしも不幸令息の死去に逢ひ、遂に氏自ら之を経営して今日に至る。最初瓦斯口金の製作をなせしも漸次瓦斯器具全般に亘り、其製品は殆ど京

塚田 鎮磨

京都府何鹿郡野田町
字青野六二
郡是製絲株式會社内

特許第九九二七號 圓筒乾燥機に於ける乾漚計出装置

〔略歴〕氏は明治二年山口縣の出身、京都高等蠶業講習所を卒業し、同二十八年養蠶業兼製絲業を営み、三十二年廢業して以來蠶業方面に精勵してその製造方法を習得し、近江製絲株式會社に入り後京都蠶絲講習所助手、三十八年和歌山縣蠶病豫防吏員更に兵庫縣佐用郡技師となり同郡養蠶講習所長を兼務す、其間種々の研究を積みその目的とする發明考案の上に多大なる効果を得たるものなり。

粕谷 彌藏

大阪府港區九條北通
二丁目二六ノ一

特許第九七〇六四號 完全燃燒爐

〔内容〕最初燃料を直接燃焼することなく掃筒内に燃料を充満し粉粒塊炭の形状により自然分離を行ひ完全

三浦 若江

大阪府此花區
春日出町三三〇ノ一

特許第一〇〇六九〇號 乾燥機に於ける熱氣循環装置

〔内容〕煽風機により熱風爐に發生する熱氣を乾燥室内に吸入せしめ其排氣を乾燥室の上部に開口する放氣管に導かしむる事に關聯する特殊機構により循環乾燥を完全ならしむる装置。

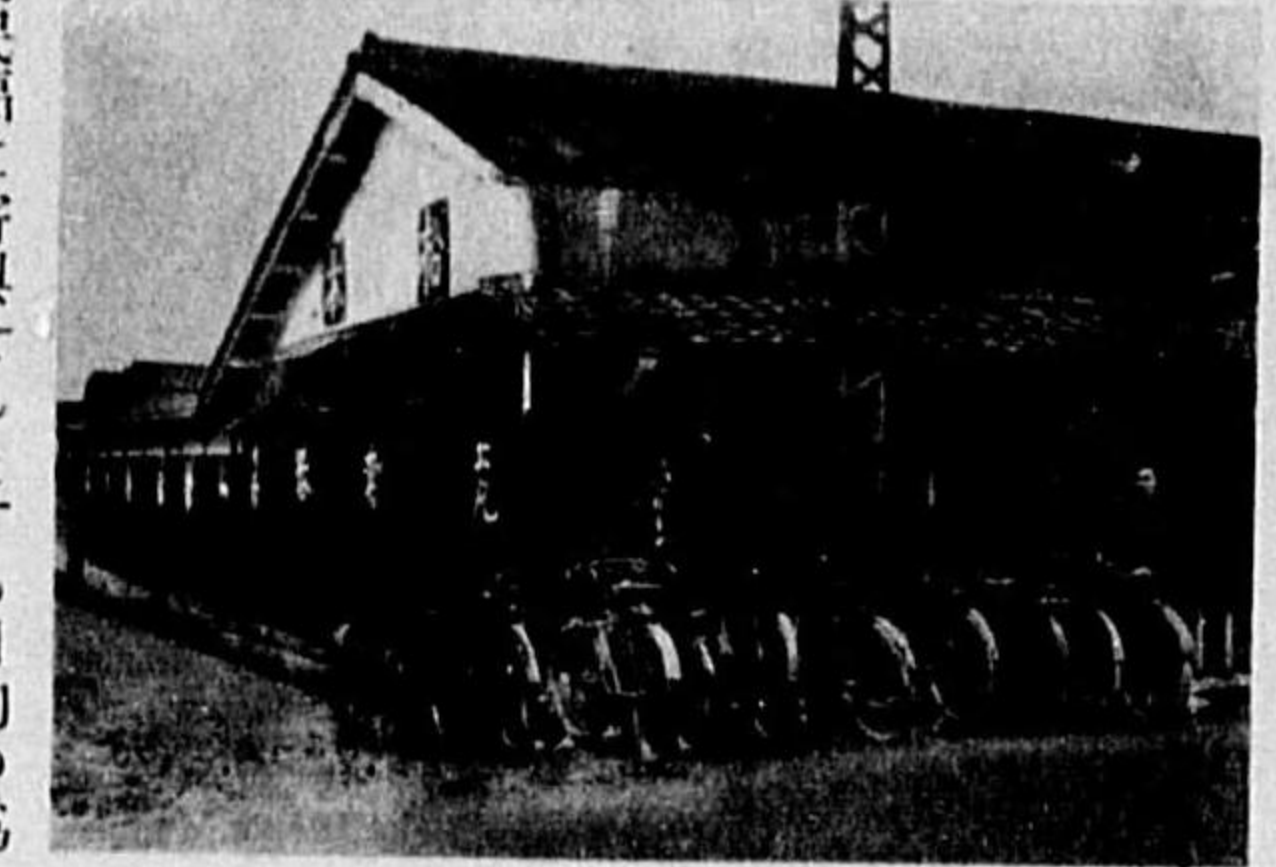
納富 英次

佐賀縣西松浦郡
有田町五八九

特許第九五五四號 穀類乾燥器用金網網の製造方法

〔内容〕被乾燥物を短時間に均等に乾燥せしむべく被乾燥物收納室と熱氣通路とを交互に無數に相接せしめたる装置複雑なる金網網を最も簡單に且つ正確強固にして低廉なる價額に製作する装置。

〔略歴〕明治廿五年四月二十四日生、明治四十二年佐賀縣立有田工業學校卒業、大正十年より發明研究に従事し各種の發明考案を得、昭和八年二月糧穀乾燥器の發明研究に對し發明獎勵費交付規則に依り商工大臣より金壹千圓の交付を受けたり。



都瓦斯會社に納入し一方朝鮮滿洲方面へ相當の輸出をなし居り、而かも目下各地の需要増大せるも經營の關係上中國方面の取引を中止し居り、本發明は瓦斯器具製作の傍ら、社會の福利に寄與せんとする目的の爲め、勃興し來れる瓦斯需用につき最も僅小の瓦斯量にて効果大なる本器の考案に着手し、多大なる犠牲を拂ひ研究努力の結果遂に完成せられたるものにして多年に亘る氏の事業界に於ける信用は各方面に認知され、その製品の優秀なる已に定評あり、滿洲方面の如き無試験に輸入を認めらるゝに至り、尙朝鮮、滿洲に代理店を置き將來の發展に資する所あり。

羽田 榮次郎
東京市下谷區
谷中坂町五二番地

特許第一〇一八二八號 暖房用温水罐
 【内容】温水罐の断面剃刀型の水室に後板前板を備へ單位水罐を組立て中央に燃料投入口と煙道管を載置し連通せしめ下方に爐格を設けてなる温水罐。

島村 利貞
東京市荏原區
中延町七百十五番地

特許第一〇〇五三〇號 瓦斯温水罐
 【内容】器外壁の下側に瓦斯吹込管と上水供給管を設け壁面に貫通孔を穿設し火氣を受くべき斜狀の翼板を取着けて成る混和管を二重壁體内の上方に取着け水管を貫通せしめてなる瓦斯温水罐。

吉田 甚一
大阪市浪速區小田町
千六百六番地

特許第九三二五五號 重油燃燒裝置
同第九八八八八號
 【内容】吉田式重油燃燒機は用途に依り種々の型式を有し其主たる部分は「エヤーコーン」及「オイルバーナー」とに依り構成す、而して其重なる特徴は、一、燃燒に伴ふ音響の絶無なること、二、燃燒完全なる爲め煤煙を發せず、三、點火の最も簡易なること、四、燃燒量の調節範圍廣きこと(特許)五、自動重油豫熱裝置を有すること(特許)六、燃料油の品質低下が何等の燃燒機能に影響なきこと、七、燃燒用二次空氣の加熱裝置を有すること、八、燃燒室の耐火物を損傷せしめぬこと、九、火焰長く噴霧狀態よく熱量が均整にして且つ大なること一〇、極く高温を容易且つ短時間に得ること。
 【略歴】本所は重油燃燒裝置耐火煉瓦に關し海軍技術官として多年學理と實際に研究を重ね數餘の特許權を有する吉田氏の獨特の技量と指導

能崎 藤 惠
東京市本所區
東兩國町二丁目八

特許第九五四三八號 浴湯自動循環加熱裝置
 【内容】單に一種の温水罐を使用し特殊構造により簡單にして極めて合理的なる浴湯温水裝置を得たるものなり。

荒川 敬
東京市麩町區
上六番町一八

特許第九五七二七號 地下温水裝置
 【内容】僅少の燃料にて多量の水を熱することを得且僅かの設備面積及設備費にて火災及危險の患ひ絶對になく取扱簡單なる等の特徴あり。
 【略歴】明治十四年七月二十九日舊水戸藩士の家に生る、日露戰役に従軍し除隊後大正三年より回漕業を創め今日に至る。昭和五年頃より家庭給湯改善を志し本件の外に特許二、新案三の權利を有し目下副業として兼營中なり。

河合 諄 太郎
東京市杉並區
天沼三丁目六四九番地

特許第一〇三九〇七號 太陽熱を利用する温水裝置
 【内容】平板上に毛細管現象を起す資料を被覆し上部を熱の良導體を以て覆ひ太陽を之に照射せしめ水の受熱面を擴大し短時間に多量の温水を得る裝置。

相見 富次
東京市目黒區上目黒
六丁目一三八三

特許第九八一三八號 ライター
 【内容】特殊裝置により閉閉蓋の開閉操作によりて自動的に發火及着火せしめ取扱極めて簡單にして且安全なる裝置。

柳澤 秀次
東京府南葛飾郡南淺瀬
町大字柳原一二二

特許第九五九五號 蚊取粉燻器
 【内容】安價にして有效なる除蟲粉を原料の儘徐々に燻せしめ立消えせしめずして蚊取線香に劣らざる效力を發生せしめ得る蚊取粉燻器。
 【略歴】明治四十二年東京藥學校卒業、同四十五年より藥局開業今日に至る。

野村 力藏
大阪府東淀川區元今里
南通一丁目七八番地

特許第一〇一〇五〇號 保冷保温器
 【内容】中間空腔内の空氣を排除真空にし得べく二重容器の内容器の外周に伸縮自由の多孔押壓筒を螺條其他適宜の手段により押着せしめてなる保冷保温器。

崎山 政千代
和歌山縣有田郡南廣村
大字名島三五〇

特許第九六九七二號 辨當保温器
 【内容】構造簡單にして携帶に便ならしめ辨當に熱氣及臭氣を附與せず且使用中絶對に消火せず使用後の消火自在なる等有效にして完全なる保温器。

岡安 治宰
大阪府西區南船場
通南船場五丁目十番地
 【略歴】明治三十五年四月二十四日生、大正十五年三月陸軍歩兵少尉任官、除隊後、在郷軍人分會會長、青年團長、青年訓練指導員等を経て現在有田郡聯合青年團長。



社會式工業工温保岡安
治宰 岡安
大阪府西區南船場
通南船場五丁目十番地

特許第四二二六七號 汽罐汽管の被覆物
 【内容】保温力絶大なる獸毛フェルト及び耐火不燃性のアスベストを結合せしめたるものにして、汽管接觸面にアスベスト面を接せしめ獸毛層の焦焼を防止且つ保護し充分之が有する保温力を發揮せしむるものなり、取付簡單にして容易且つ輕量にして取扱至便、如何なる震動にも剝落の憂なく保温効力に於て最高能率を有す製品名稱を岡安式アスベスト・ポイラー・フェルトと稱し價格低廉なり、用途は蒸氣管、ポイラー、温水管、暖房管等の保温防熱に効果を有す。

小倉 善平
戶州市大字戶畑
二九六〇番地

特許第九九七四七號 有孔仕切槽の水準備正裝置を有する取水式冷凍裝置
 【内容】冷凍室の内部に數段の仕切槽を設け底部に鹹水を滴下せしむる小孔と過剩鹹水を溢出流下せしむる溢出孔を有し直接落下することからしむる適宜の機構により仕切槽を常に水平位置に保たしむる裝置。

金子 吉五郎
東京府北多摩郡立川町
榮町二百八十三番地

特許第一〇一五八一號 航空機用放熱器の通風加減装置
 【内容】放熱器を包圍する流線形外匣を構成し上下兩壁の一部を各個に流線形をなす内外兩面を複數の可動

扉に依り夫々適當の連桿機構を介して均衡状態に開閉し得べく、適確なる温度調整装置。

村上威士

戸田市戸畑地
二十四番地
合同水産工業
株式会社内

特許第一〇二二五九號 急速冷凍装置

〔内容〕底板の内側に薄板にて箱受用突起を設け底面に冷却水流下用孔を穿設し四方へ下勾配を設けたる蓋を有する冷凍箱を装置して冷気の逸散を防止し急速冷凍に依る作業を連続的に行わしむ。

村上隆吉

東京市小石川區
茗荷谷町五十七番地

特許第一〇一八五六號 凍結方法

〔内容〕冷凍物を淺盆又は枠型等の容器内に收容し冷凍物と容器との間に金屬小球又は小片を充填し冷却力の傳導を促進して凍結を平均ならしむる方法。

芝田祥

東京市荒川區南千住町
五丁目一三六番地

特許第一〇二〇二七號 「アムモニア」壓縮機に於ける油分離器

〔内容〕金屬製の密閉室内の上下部に密閉瓦斯管を設け對設せる隔膜弁を連通して作動杆に接觸せしめ移動し得る重錘を設けし排油弁の排油に接觸せしめ夫々「アムモニア」瓦斯を充填し作動せしめて排油を自動的に行ふ分離器。

島倉吉次

東京市芝區
新堀町十二番地

特許第一〇一四五九號 冷凍機に於ける冷媒劑中より空氣等を分離排除する装置

〔内容〕冷媒劑瓦斯をして油液層のみならず油霧室内に充滿せる油霧に十分に接觸せしめ油の微分子をして排氣中に混在せる冷媒劑の最後の痕跡をも溶解捕集せしめ油に溶解せざる空氣の類のみを排氣口より排出せしむる如くなしたるものなり。

清水玄平

大阪市東成區南中津町
三丁目二十四番地

特許第一〇〇七五一號 容器入「ボマード」製造用冷却装置

〔内容〕冷却管を以て上段室内の液及下段室内の空氣を冷却し室内を通過する「トロツコ」上に「ボマード」の熔融原料液を注加し連續的に冷却處理をなし作業能率を高むる装置。

茂木忠次

千葉縣東葛飾郡
八幡町字八幡一九八一

特許第九四〇四五號 冷房用碎氷式空氣冷却装置

〔内容〕碎氷間に金網類を以て形成せる通風路を通して空氣を進行せしむる場合の冷却能率を良效ならしむる装置。

鈴木直辰

東京市在野區程原町
字中延源氏前七七七

特許第九九五五號 急速冷凍装置

〔内容〕作業操作を容易にして新陳代謝する冷却鹹水を

を容器の上下四周に滞留しつゝ能く接觸流下せしめ被冷凍物を上下四周より均等に急速に冷凍せしめ得る装置。

松田健壽

戸田市戸畑地
二十四番地
戸畑冷蔵株式会社内

特許第一〇三八〇九號 細片及細粉氷連續製造装置

〔内容〕冷却液循環用冷却管を配置し水槽中に一定度の鹽水を充たし整流器により淡水分を凍結せしめ鋼帶輸送機より脱水機に送り鹽水を脱却して經濟的に細片及細粉氷を得る装置。



矢野正都

大阪市東區吉住市
四丁目七十五番地

特許第六〇五二號 深井唧筒

〔内容〕特許第六〇五二號は往復運動により揚水をなす深井戸唧筒にして、唧筒桿の半に張力のみが作用する様にして從來最も多き故障の原因たる唧筒桿の切斷を防止したるものなり、後者は上方に設けたる比較的大徑の水壓管と之に連通せしめて下方に設けたる比較的小徑の水壓管との上記連通部内に於て互に連繋せる點を特徴とせるものにして、上下兩唧筒の間に水を充

滿せしめたる儘上方唧筒に昇降動を附與することに依り唧筒連結機構部をして兩唧筒の上昇行程に於ても伸張力の作用を受けしめ、下降行程より上昇行程に移る場合に於ける行程を防止し依て高速度を以て支障なく所要の機能發揮し得べくなしたるものなり。

〔略歴〕氏は明治二十六年三月愛媛縣大洲町の出身、大正五年明治專門學校機械科を卒業、三井物産株式會社、ヒールンク商會、高田商會等を経て今日に至る、昭和四年大阪市立工業研究所より前記ポンプの試作援助を受けて完成し、同九年大阪府工業獎勵館より水壓傳動裝置試作費の交付を得て目下製作中なり、昭和八年四月帝國發明協會より進歩賞を授けらる。

西村仙太郎

大阪市西淀川區
蒲島町一〇

特許第九七四四號 迴轉唧筒

〔内容〕渦卷唧筒の如く急速度の迴轉を要せず往復動「ウキングポンプ」の如き變裝置を要せざる能率高き迴轉式「ポンプ」なり。

〔略歴〕明治十九年六月二十七日生、同四十五年船舶機關士勤務中汽機水準計を發明したることあり、現在鐵工場に於て機械工として勤務の傍ら各種機械の改良發明に専念しつゝあり。

和田義信

仙臺市北三番丁一〇〇

特許第九八四二號 唧筒

〔内容〕特殊構造により一定不斷の壓力に依り流體を

輸送せしめ注射器其他醫療用唧筒として極めて好適なるものなり。

小尾義次

茨城縣猿島郡古河町
横山町七二七〇

特許第九八六二八號 唧筒

〔内容〕特殊構造により泥土、石等の夾雜物を有する液を唧筒するも廻轉子を損傷することなく且唧筒の加熱を防ぐ装置。

水野金雄

岡山縣高松郡中洲村
大字酒津一六五二

特許第九四四二五號 多輪車を有する人造絹絲紡絲用齒車「ホンフ」

〔内容〕主齒車と從齒車との割合せ及逃穴等を加減し「ビスコース」の紡出量を一定ならしめ均一なる人造絹絲を紡出する装置。

〔略歴〕大正十二年東大工學部機械工學科卒業後倉敷紡績株式會社に入社し大正十五年より人造絹絲の研究の爲歐洲出張を命ぜられ歸朝後昭和二年より倉敷絹絲株式會社に轉じ現在同工場機械課長たり。

莊司左男 治

愛知縣幡豆郡西尾町
龜澤町管住宅甲二號

特許第九八八六八號 迴轉式流體推進裝置

〔内容〕唯一個の推進器を有する簡單なる装置により二種若くは夫以上の流體を殆んど互に混合せしむることなく別々に推進し然も其の輸送量の比を一定に保持せしめ得る装置。

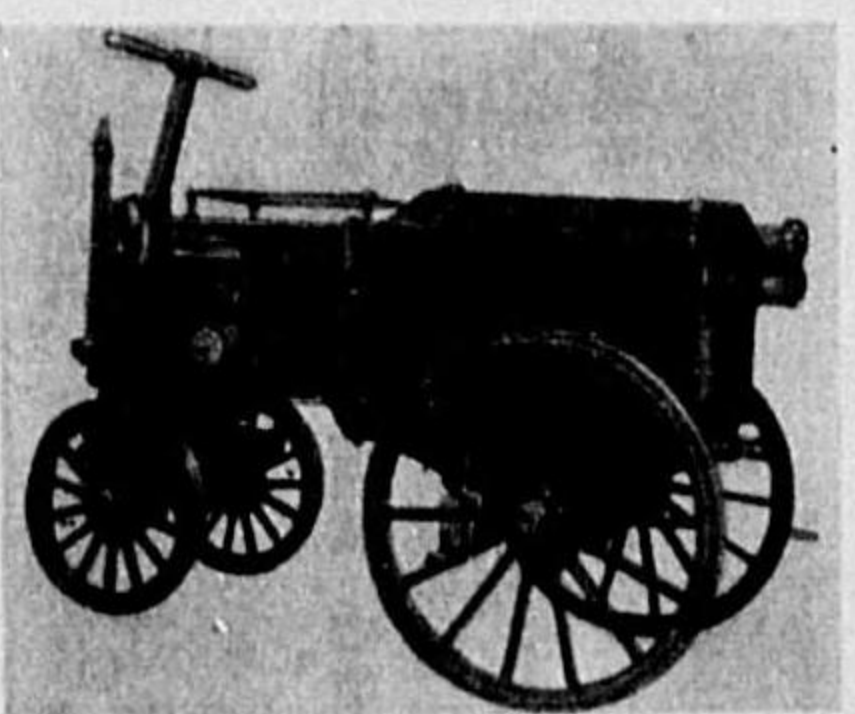
株式會社

森田ガソリン唧筒製作所

大阪市東區八雲町
五丁目十七番地

特許第六五二八六號 ウエアレス唧筒

〔内容〕森田式ウエアレス唧筒は齒先に特殊合金製の鋸を挟み或る程度まで此鋸を出入する様装置し、唧筒の運轉中は遠心力の作用により鋸が側に飛出すが故に唧筒室内側及びギヤが如何に磨滅するも唧筒回轉中は常に間隙を生ぜず爲めに永年使用するも吸水能力は不變且つ放水能力も低下することなし、又ギヤの回轉によりて一部の水の壓縮せらるゝ爲めには特殊の減壓法を講じ居



〔略歴〕本所は大正元年より消防唧筒の製作に専念し研究に研究を重ね工作機械の具備と相俟ち業務彌々發展し、曩に大阪府の一〇〇〇ガロン消防唧筒自動車を製作し其能率に於て緻密確實なる工作に於て而も體裁の調和と美觀に到りても遙かに舶來品を凌駕するとの定評を得、益々技術の向上に専念し遂に現在の盛業を見るに至りしものなり。



井口 啓士博士
井 在 屋

特許第二五三六一號 めのくち式唧筒

〔内容〕本發明は渦巻唧筒、フラス及水車等に於ける翼車に關するものにして、廻轉羽根の外周を圍繞せる誘導部を停止體となし以て誘導部表面と流動體との廻轉摩擦に基く損失を無くし廻轉體の軸線方向に作用する推力を平衡せしめ廻轉羽根と流動體との衝突に基く損失を避けしめたるものなり。

〔略歴〕井口在屋氏は明治十五年工部大學機械科を卒業後工部省に入り工務局教授補工部大學教授を歴任し、同二十九年東京帝國大學工學部教授に任ぜられ三十二年工學博士の學位を受與せらる。博士は大學教授として四十年に及ぶ學生薰陶の外工學學校、實業學校を創設して育英事業に盡瘁せらる、本發明は博士の多數の發明中世界の學界を震動せしめたる大發明なり。

尙本發明は畠山一清氏と共同研究なるものにして畠山氏は明治三十九年東京帝國大學工學科卒業後大正元年故井口博士を主幹とする、めのくち機械事務所を創して其の所長となり大正九年株式會社在原製作所に事業を繼承して其の専務取締役となり現在に至る。

帝國發明協會より特等賞、有功賞を受領す。

飯塚 忠 雄

東京府北豐島郡
瀧野町字田端四三三

特許第九五二五八號 深井戸「ポンプ」

〔内容〕特殊構造により土砂類を各「クリヤランス」内に停滯すること無からしめ且つ兩「クリヤランス」間の壓力差を小ならしむる装置。

原 重 太 郎

川崎市池田町二番地

特許第九六八一號 送風機唧筒及其の類似機に於ける羽根車

〔内容〕送風機、唧筒及類似機に於ける羽根の面に垂直なる方向へ分速度を各部分毎に流動體に對し所要の加速度を附與するに適合せしめ其の作用に依り羽根車の能率を増大せしむる。

瓦 田 友 次 郎

福岡縣田川郡漆田町
大字庄一六一六九
藏田鐵業株式會社
本 部 社 宅

特許第九六一三三號 低水位を有する水を繼續的に揚水し得る唧筒

〔内容〕水位を可及的低く保ちつゝ揚水をなす場合に於て水溜の水を吸切りて唧筒吸揚管内に空氣を吸込み爲めに揚水を停止せんとすることあるも直ちに揚水を自動的に繼續し得る特殊構造を加へたる装置。

格す、現在藏田鐵業株式會社中央工場主任に在職中なり。

村 上 禎 佑

東京市本所區綠町
四丁目三三五

特許第九五〇七號 深井戸唧筒に於ける自動注油並に應油排出装置

〔内容〕唧筒軸に使用せる油の注人と排出とを自動的になし揚水に際し油を絶対に揚水中に混入なさせしめざる装置。

平 井 直 治

東京市王子區赤羽町
三丁目千三十五番地

特許第一〇二七三四號 唧筒漏液防止装置

〔内容〕唧筒軸に環輪を嵌合し遠心力に因り該環輪より振り切らるゝ漏液の滯溜する貯溜室又は噴射室内に噴射嘴を設け之を唧筒匣又は吐液管に連通せしめて漏液を自動的に輪邊液に歸還せしむべくしたるもの。

平山工業所

平 山 京 平

大阪市西區江戶堀南通
二丁目四十六番地

特許第八三一八八號 無辨ポンプ

〔内容〕本機は主として地下室食衛生淨化装置排水用として考案設計せられたるものにして離心動式ポンプにしてフートバルブ無く呼水を用ひず絶えずケーシング内に一定の水を貯へしめ自動的に空氣排出始動揚水をなさせしむるものなり。其構造は簡單堅牢を旨とし水の流路は卒

小 林 幸 太 郎

東京市芝區三田松坂町
三十一番地

林 松 造

東京府豊多摩郡
千駄ヶ谷町六七八

特許第一〇〇九二九號 油槽洗滌油水分離用唧筒

〔内容〕唧筒の反對動作に依り出油孔より護誤管を通して噴油吸油兩用器に送り口徑を狭小したる十數口の噴油孔より噴出し油槽の隅々迄充分洗滌すべくしたるもの。

若 林 貞 雄

岡山 市 大 供
一八六番地の二

特許第九四二六五號 自動揚水機活動調節装置

〔内容〕射出管の先端に流水の速度に應じて流水の方向を變化すべき嘴弁を具へ其れに對向せる位置に流水の衝撃によりて閉ざすべき吐水弁を設けたる装置。

石 川 周 作

東京府南葛飾郡龜戸町
八丁目一八〇
株式會社日立製作所
龜戸工場内

特許第九四三二二號 眞空「ポンプ」運轉装置

〔内容〕複働或は多段型等の如く複数の「ポンプ」單位を具へ其の一部の單位に之を眞空室に斷續せしむべき装置を設け該装置を眞空室内の眞空度に應動せしむる装置。

直圓滑にして混合物等閉塞の憂なからしむると共に能率を高め音響振動を避け其形狀を簡潔にして設置場所に便にし、特に主體を取付けたるまゝにて要部の分解及び組立を自由になさせたるを以て點檢修理等頗る容易なり。材料は凡て精撰して大體を鑄鐵製となし翼板及び廻轉體を支ふる部分は夫々特種砲金及びホワイトメタルを用ひシヤフトは高級ニツケル鋼を以てし工作は精密なるゲージ式に依り充分の注意を拂ひ絶對自動運轉に於ても破損又は故障等の憂なからしめたる優秀品なり。

合名 山本式スチームポンプ製作所

山 本 初 之 助

廣 島 市 豐 屋
四百六十番地

特許第二七〇二〇號 山本式唧筒機械滑瓣

同 第七一六五六號 分油器

同 第七三二九二號 機關車給水加熱器

同 第七一七六五號 高壓罐用給水唧筒機械

〔内容〕本發明は蒸氣室内の溫度を主徑に均等

本 多 庄 作

東京市京橋區本八丁堀
五丁目一〇一

特許第九八四七五號 斜板式唧筒機構に關する改良

〔内容〕傾斜板の傾角に關せず唧子杆の自由端に一定の角速度を與へ唧筒をして震動なき圓滑なる作用をなさせしむると共に機構簡單なるを特長とす。

田邊機械製作所
田邊 照 三
大阪市浪速區橋川
四丁目百三十九番地

特許第八一七四號 瓦斯壓搾機

〔内容〕本機は氣筒頂壁の外側中央に排氣室と之を圍みて吸氣室を設け頂壁の吸氣口を排氣口の外周に於て之と同心圓狀に配し吸氣用瓣座及排氣用瓣座を同心圓上に上下に而して一體に構成し、排氣口を上面より開閉する排氣瓣は上部の支筒を導きとして昇降する様爲し且つ吸氣口を下部より塞く版狀吸氣瓣は瓣杆を排氣瓣内の導孔に貫きて昇降する様爲し杆頭と排氣瓣の一部間に撥條を裝したるものにして、排氣口に比し吸氣口面積を相當大ならしめ得ると、此排氣口及排氣室を小にし壓縮の際の「クリアランス」を可及的減少せしめ得ることにより機の効率を著しく優秀ならしめ得る効果あり、又氣筒頂部は全一體となり吹氣瓣の導面の如き簡易に形成せられて全體の構造簡單となり製作及使用の共に容易なる且つ壓縮により高めらるる排氣室の昇熱は之を圍む吸氣室の冷氣により冷却し壓縮熱の増加を低減し得べく、尙兩瓣に働く撥條を共通ならしむることにより各自の動作を相扶けて一層迅速鋭敏ならしめ得る利益あるものとす。

特許第七三三三號 空氣壓縮機

〔内容〕本機は一個のシリンドラーカパー内に排氣、吸氣及び冷却の三室を區分してバルブボツクスを形成せしめ、此等三室の筒に面する壁に各全周に亘り數個の通孔を設け、其のカパーの内側に各排氣孔を同時に閉すべき一枚の版弁を發條にて壓定せしめ、別に弁面に内外二列の同心圓上の切抜孔を對稱位置にあらしめて穿孔し該二列の切抜孔を兩端部に於て隣接のものとなし切割線にて連絡せしめたる吸氣弁を作り、之等吸氣弁及び版弁の中心部を一本のボルトによりてカパーと共にシリンドラーに取付けたるものにして、漏氣を少くすると同時にクリヤランスを殺減し而かも開閉動作迅速にして且つ正確なる特徴を有す。



所工鐵國三社會式株
郎 太 源 村 田
區 川 淀 東 市 阪 大
二 四 三 本 國 三

至る、博愛共同のために餼金を吝まらず、昭和五年二月大阪府より、同八年四月帝國發明協會より執れも發明功勞者として表彰せられ、同七年十一月特別大演習賜儀に、同八年十一月觀菊御會に、同九年四月觀櫻御會に召さる。又同十年二月再び大阪府知事より公共事業功勞者として表彰せらる。

尙氏は二十餘年來空氣壓縮機の研究製作に没頭して幾多の發明を完成し現在一ケ年の製産額壹百萬圓に及び陸軍及各官廳に使用せられ、販路は内地、滿洲、支那、南洋、シヤム等に及びり。

田 中 諧 武

大阪市港區南市岡町
二丁目二十一番地

特許第一〇五七五號 迴轉壓縮機

〔内容〕同轉子の軸心と數個の中空部を貫通する「ステーポルト」に依り同轉子に密接せしめ内周壁面に「アブリード」鈎止用の溝環に同轉子の同轉を與へて一定の氣密を保持する壓縮機。

木 村 政 次

東京市東區戸町
八丁目一八〇番地
株式會社日立製作所
藤 戸 工 場 内

特許第一〇三五八二號 壓縮機冷却裝置の改良

〔内容〕壓縮機の冷却水供給路に開閉を司る弁を設け起動及停止に關聯して閉鎖運動を抑制すべき裝置を具へて成る冷却最も有効適切な改良方法。

奥 村 文 藏

和歌山縣海草郡中之嶋
村字小路三八番地

特許第一〇〇八三六號 扇風機風向調節

〔内容〕二枚の金屬調節板を屏風形に螺旋し任意の開角度を保持せしめ通風孔を列穿し自在に開塞し得べき開閉板を裝備して成る風量調節裝置。

高 橋 政 見

東京市小石川區
原町百二十五番地

特許第九九五六號 苗床撒水器

〔内容〕末廣狀に上部を擴大し底邊に小孔を穿ち扁平筒形の水口上部に撒水管支脚を装着せしめて水勢を調節緩和し垂直に落下せしめる撒水器。

犬 塚 伊 三 郎

東京市原郡品川町大
字南品川留七九二番地

特許第一〇〇一四七號 洗濯自動車用道路側溝洗濯裝置

〔内容〕車枠側方に道路洗滌用壓力水管の一端を連結し壓力水噴射嘴子を有する水管を振着して道路洗滌自動車に使用なし道路側溝を洗滌し得る裝置。

芳 川 覺

廣島市仁保町
向洋九七六番地

特許第一〇三五〇八號 撒水車

〔内容〕水槽内に設けたる「ロータリーポンプ」の廻轉軸の一端を水槽の側面に突出せしめ起伏自在に把手を鎖車に固定して「フリー」式鎖車に連絡動作せしめ迅速に撒水し得る裝置。

田邊機械製作所
田邊 照 三
大阪市浪速區橋川
四丁目百三十九番地

特許第九八二五五號 瓦斯壓縮機に於ける軸密封鎖裝置

〔内容〕運轉中は軸窓は開放に依りて轉軸の回轉を自由ならしめ停轉中は軸窓の封鎖に依りて轉軸より機内に外氣の侵入することを防止する裝置。

島 倉 吉 次

東京市芝區新堀町二二

特許第九八二五五號 瓦斯壓縮機に於ける軸密封鎖裝置

〔内容〕運轉中は軸窓は開放に依りて轉軸の回轉を自由ならしめ停轉中は軸窓の封鎖に依りて轉軸より機内に外氣の侵入することを防止する裝置。

末 廣 恭 二

東京市小石川區
富田町一七一番地

特許第一〇二四六七號 遠心送風機消音裝置

〔内容〕送風機吸吸部の翼車に中心線となす角「ピッチ」を二分の一とすることに依り正調音を機内に於て二系統に發生せしめて不快音を簡單に消音す構造。

神 原 吉 三

茨城縣多賀郡日立町
大字宮田五〇〇

特許第九六〇三六號 真空裝置に於ける弁裝置

〔内容〕真空槽と排氣唧筒との間を連絡する排氣管の途中に補助水銀槽を設け特殊構造に依り唧筒の運轉停止時唧筒或は弁を通じて真空槽に外氣の漏洩するを完全に防止する裝置。

吉 松 元

大阪市天王寺區
寺田町二十一番地

特許第一〇三五七九號 唧筒用氣泡分離吸込管

〔内容〕底弁に連續したる吸込管内に充液する氣泡導昇管を設け階段的に垂直なる阻留片を數多形成して成る分離吸込管により氣泡を可及的分離せしむる方法。

藤 伊 魁

東京府原郡那珂野町
新町一〇三

特許第九八三六三號 船用海水唧筒の空轉を防止する裝置

〔内容〕船體の動搖に依り吸入口が水面上に露出せる場合電磁弁を開きて著水槽内の水を供給し吸入口が水面下に復位するや電磁弁を閉ぢ再び海水を吸入し以て唧筒の空轉を防止する裝置。

菊 谷 甚 太 郎

富山縣射水郡
新湊町六一九

特許第九六五五三號 首振扇風機

〔内容〕螺旋發條を原動力となし扇風機羽根を回轉すると共に齒杆を有する摺動盤の往復運動と水平方向に旋回自在なる軸承の組合により羽根を左右に旋回せしめ簡易に首振を行ふ裝置。

矢 島 有 香

東京市麩町區
中六番町五二

特許第九八〇〇二號 扇風機の改良

〔内容〕一定量の水を反覆循環せしめて翼車の附近に於ける空氣を冷却して冷風を送る如く爲し特殊裝置に依り翼車は水に依りて廻轉せしめらるる如く見せ噴水と相俟ちて涼感を覺えしむる等の効果ある裝置。

芳 川 覺

廣島市仁保町
向洋九七六番地

特許第一〇三五〇八號 撒水車

〔内容〕水槽内に設けたる「ロータリーポンプ」の廻轉軸の一端を水槽の側面に突出せしめ起伏自在に把手を鎖車に固定して「フリー」式鎖車に連絡動作せしめ迅速に撒水し得る裝置。

深澤 幸作

東京市京橋區
京橋一丁目七番地

特許第一〇一八七四號 遠心撒水機

〔内容〕皿形内底板の中央通水口の弁に調整器を設け多数の斜孔を穿附せる圓筒より成り機を聯動し遠心力により自動的に廣く撒水し得るものなり。

米澤 秀太郎

東京市牛込區
若宮町三十七番地

特許第六二五八號 噴霧器

〔内容〕本發明は頂心に圓錐狀の噴出口を有する冠蓋の内部に側面の下部に切線狀の小孔を穿ち、且つ底に冠蓋の噴出口に對して突嘴を附したる小筒を装着し之を導管に取付くべき口金に嵌合したるものにして、小筒内に切線方向に入り来る液は突嘴の周圍に螺旋的流動をなすつゝ圓錐狀に射出せんとして突嘴よりの噴液に衝突するが故に一層微細なる霧を噴出せしめ得るものなり。

〔略歴〕本器は氏多年に亘る慘憺たる苦心研鑽の結果發明完成されたるものにして米澤式スプレー唧筒とも稱し、從來の如き使用難解にして不合理なるものと全然其の性質を異にし簡單且つ容易に使用し得る特徴を有し、各方面より多大なる好評を博し居れり。

大石 俊雄

福島縣伊達郡原町
七丁目五番地ノ一

特許第一〇三四一〇號 噴霧器

〔内容〕密閉氣室内に空氣唧筒と貯液室を有し廻動辨を廻動して貯液室を液槽内と氣室とに交互に連通せしめ液の吸入及排出を行ひ得ることに依り噴霧を微細に擴散の範圍を大ならしむる方法。

杉浦 營之助

青森縣南津輕郡大鰐町
大字大鰐字前田五二

特許第九八〇五三號 噴霧器

〔内容〕沈澱し易き液體を伸縮筒の伸縮を利用し該液體を均一濃度で爲し以て撒布液に含有する有効成分を齊一ならしむる装置。

杉本 庄万

岡山縣上道郡平島村
字南古郡二一〇

特許第九五〇五三號 害蟲驅除用噴霧装置

〔内容〕圓筒等の各部に亘り遺洩なく藥液を配給したる後空氣唧筒の使用に依り導管内の藥液を排出し藥液の使用を經濟的ならしむると共に残留液に依る導液路内面の腐蝕を防止し得る装置。

小林 益三

東京市日本橋區
岩附町七番地

特許第一〇一三〇九號 香水容器

〔内容〕噴射孔を開口すべくしたる細管を香水容器用圓筒に嵌合し口邊は「パッキンゲ」を介して覆蓋を螺着し套管内に螺旋彈機を容れ毛細管の引力を利用し香水の漏出を防止せしめたるものなり。

高浦 正夫

東京市王子區
豊島町二四八番地

特許第九九八二〇號 噴霧器

〔内容〕周壁に多数の細孔を有する同心二層電球型筒を互に回轉せしめ遠心力を二重に利用し水滴を微沫として飛散せしむる如くなせる噴霧器。

鈴木 代吉

神奈川県足柄下郡片浦村
米津四百八十八番地

特許第九九八四三號 噴霧器類の注油装置

〔内容〕噴霧器用「ポンプ」の上端に油室を設け内部に上下動を爲す圓筒内壁を螺合し油透部分を設け注油調節機能を具備せる栓を備へて注油効果を良好ならしむ。

渡邊 常正

横浜市中西區杉山町
一丁目十二番地

特許第九九一七七號 給濕装置

〔内容〕中空金屬罐に給水管を設備し開閉辨を具へ給水源と放水装置とを連通し働杆を配置し作動せしめ辨の開閉を自動的に給濕を停止する装置。

河本 萬造

名古屋市東區
布池町一ノ八

特許第一〇〇五九二號 給濕装置

〔内容〕昇降水面に對向出沒せる垂直管に依り吸入する水と空氣とを衝突飛散せしむる扁平圓錐狀管と管内に生じたる飛沫を微粒狀に噴出する回轉噴出管を具備したる装置。

平松 留吉

兵庫縣武庫郡御影町
字字柳二四二ノ一

特許第九九〇〇六號 自動間隔氣體噴出器

〔内容〕金具の頂部の周壁に適當の角度を伴てる噴氣口を有し之を發條に連結し噴出する氣體の反動力に依り濕度及温度の自動的調節をなす噴出器。



所工鐵井石社合式深

吉 太 井 石

島月橋京市京東
地番一十目丁五通仲西

特許第七四二一三號 無水槽瓦斯溜氣密装置

同 第七四三六一號 均壓多層瓦斯溜

同 第八〇四三二號 石井式圓型無水槽瓦斯溜

同 第八八三五六號 無水槽瓦斯溜氣密装置

同 第八八三五七號 同右

同 第八八三五八號 同右

同 第八八八〇〇號 多層瓦斯溜氣密装置

同 第九〇四三一號 瓦斯溜導車装置

同 第九一八二八號 瓦斯溜ノ填料装置

〔内容〕特許第八八三五六號は無水瓦斯溜の唧子間隙の溜液部を形成し伸縮性可撓板の環狀帶と填料環狀體との伸縮變形自在なる作用に依り氣密に保持せしむる爲めに唧子の上下運動中伸縮變形の押壓作用に槽の半徑なる水平方向に正確に動作する様なしたるもの、特許第八八三五

七號は唧子の外周に加壓室を設け此膨脹收縮に伴ふて加壓室の外周壁に固定せる填料環狀體を無水槽の内側壁に押壓して氣密となし、且つ加壓室の膨脹收縮に連れて加壓室内へ通ずる加壓氣體の流通管の開閉を制御する様になしたるもの、特許第八八三五八號は氣密室の環狀體に固定せる誘導杆又は給油兼用誘導管を其杆又は管が貫通せる隔壁其の他の壁部に對し氣密に固定し且つ可撓的ならしむる爲め其杆又は管の周圍の壁部を取去り其部分を軟質體を以て氣密に保持せしめたる點を特徴とし、特許第九一八二八號は瓦斯溜と周縁に氣密室を繞らせるピストンとの間に滲透性の布筒内にコイルターの如き比較的粘稠性に富む液を充し、之に多少の壓力を保たしめ且つ其外側布片と金屬網層等を設けて滲出液を貯藏することによりピストンと瓦斯溜とを密接せしめて無水瓦斯溜としてピストンの上下を充分氣密に遮斷し得る様爲したるものなり。

〔略歴〕氏は明治十三年横濱市の出身、夙に上京して石井鐵工所を經營し瓦斯製造機械及び化學工業用諸機械の製造に従事す、大正八年業務發展の爲め資本金壹百萬圓の株式會社に組織を變更し自ら其の社長に就任して引續き現在に至り、其間起重機製造株式會社取締役、高岡瓦斯株式會社社長たりしことあり、現在東洋酸素箱根水電、月島衛生、伊東瓦斯各社の取締役に兼ぬ、尙東京工場協會三島支部長、月島警察後援會理事、三島工業會常任理事、工政會、東京鐵工機械同業組合各評議員の公職にあり。趣味

として機械の發明考案に専念し前記特許の外賣用新案無水槽瓦斯溜氣密装置、無水槽瓦斯溜安全装置、無水槽瓦斯溜唧子填料環、無水式瓦斯溜唧子平衡装置、瓦斯溜氣密装置、瓦斯溜組立装置、石井式水性並に完全瓦斯化瓦斯發生装置、瓦斯溜薄板用鑽孔装置、環狀鉛パッキンゲ、無水或は有水瓦斯溜の氣密接手、瓦斯溜氣密装置、瓦斯溜歪防止装置、多段瓦斯溜氣密装置、無水槽瓦斯溜、瓦斯溜、多段瓦斯溜槽装置、瓦斯溜槽の修理装置等十七件を所有し、特許、新案共に悉く之を實施し、有水無水各種瓦斯溜、水性瓦斯發生装置の製品名稱のもとに之を製作し、瓦斯事業用、化學工業用、其他一般工業用として用途を有す。

瓦斯工業に要する諸機械は明治初年始めて本邦に輸入せられて以來殆ど全部外國品を必要とし爲に年々巨額の輸入を見たりしが漸次瓦斯事業の全國的勃興の機運あるを豫知し、夙に國産品を以て之が代用に着眼し苦心研究を重ねること多年、常に自ら職工の間に伍して努力する所あり、遂に前記の發明考案を完成することを得し以て輸入を防遏することを得たり。

販路は内地、朝鮮、臺灣、滿洲とし年平均生産高約壹萬噸を算す、市内京橋區月島及城東區龜戸町に工場を有し盛業を極め、尙更に目下研究考案中のもの十數種あり、以て益々化學工業界並に瓦斯事業界の進歩發達に貢献裨益する所あらんとしつゝあり。